



THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO
国立新美術館

NACT REPORT
APRIL 2008-MARCH 2009
平成20年度 活動報告

平成20年度
国立新美術館 活動報告

NACT REPORT
April 2008 - March 2009
The National Art Center, Tokyo

※ 本 PDF 版では、刊行された『平成 20 年度 国立新美術館活動報告』の記載内容を一部変更し、「サポート・スタッフ名簿」は掲載していません。

目次 Contents

1	平成20年度主要記事	Record of Events April 2008 – March 2009	5
2	展覧会	Exhibitions	7
2-1	平成20年度展覧会一覧	Exhibitions List April 2008 – March 2009	8
2-2	平成19年度までの展覧会一覧	Past Exhibitions List to March 2008	10
2-3	展覧会記録	Exhibition Details	13
3	美術団体等への展覧会会場提供	Provision of Exhibition Venues to Artist Associations	33
4	教育普及	Education and Public Programs	41
4-1	講演会等	Lectures, etc.	42
4-2	ワークショップ	Workshops	47
4-2	インターン、ボランティア	Internships and Volunteering	49
4-4	その他の教育普及事業	Other Education and Public Programs	49
5	情報資料収集・提供	Collection and Provision of the Library and Information Services	51
5-1	美術関連資料の収集と公開	Collection and Provision of the Library Materials	52
5-2	JACプロジェクト	JAC Project	54
5-3	展覧会情報の収集と提供	Collection and Provision of the Information Services	54
6	広報・出版	Publicity and Publications	55
6-1	印刷物	Publications	56
6-2	ホームページ	Website	62
6-3	広報活動	Publicity Activities	62
7	調査・研究	Research	65
8	その他の事業	Other Programs and Events	69
9	記録	Records	71
9-1	入場者数	Number of Visitors	72
9-2	予算	Expenditure	72
9-3	企業協賛	Corporate Support	72
9-4	来館者サービス	Visitor Services	72
9-5	国際交流	International Exchanges	73
9-6	展覧会出品リスト	List of Works	79
9-7	名簿	The NACT Council and Staff List	108

主な事業

平成20(2008)年

- 5月28日 『エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家』開催(～7月28日)
- 7月2日 『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』開催(～9月15日)
- 8月4日 国立新美術館評議員会(平成20年度第1回)開催
- 8月20日 『アヴァンギャルド・チャイナ—中国当代美術二十年—』開催(～10月20日)
- 10月4日 『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』開催(～12月14日)
- 12月13日 『未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2008 文化庁芸術家在外研修の成果』開催(～1月26日)

平成21(2009)年

- 1月21日 『加山又造展』開催(～3月2日)
- 2月4日 『平成20年度[第12回]文化庁メディア芸術祭』開催(～2月15日)
- 3月4日 『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』開催(～5月6日)
- 3月5日 国立新美術館評議員会(平成20年度第2回)開催
- 3月25日 『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』開催(～6月1日)

協力等

平成20(2008)年

- 8月21日 港区ミュージアムネットワークへの参加(主催：港区)
- 9月18日 「全席シートベルト着用推進キャンペーン」への協力(主催：麻布警察署)
- 10月11日 「'08みなと区民まつり」(～10月12日)協賛(主催：みなと区民まつり実行委員会)
- 10月24日 六本木“Art&Designの街”推進会議に参加(主催：六本木商店街振興組合)
- 11月8日 「キッズゲルニカプロジェクト」への協力(主催：六本木商店街振興組合)

平成21(2009)年

- 2月1日 「みなとギャラリー2009」(～3月15日)への協力(主催：港区)

トピックス

平成20(2008)年

- 5月12日 延べ展覧会入場者数400万人を達成
- 5月19日 高円宮妃殿下『日本新工芸展』御観覧
- 5月27日 高円宮妃殿下『エミリー・ウングワレー展』開会式御臨席
- 6月10日 オーストラリア連邦ケヴィン・ラッド首相『エミリー・ウングワレー展』御視察
- 7月2日 皇太子同妃両殿下『エミリー・ウングワレー展』御観覧
- 7月24日 皇后陛下『エミリー・ウングワレー展』御観覧
- 8月29日 山内文部科学副大臣御視察
- 9月4日 天皇后両陛下『第93回 二科展』御観覧
- 10月8日 『2008年度グッドデザイン賞』受賞(主催：財団法人日本産業デザイン振興会)
- 10月16日 延べ展覧会入場者数500万人を達成
- 11月19日 『第49回BCS賞(作品賞)』受賞(主催：社団法人建築業協会)
- 11月19日 第3回アジア美術館長会議開催(～21日)
- 11月27日 塩谷文部科学大臣『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展御視察

平成21(2009)年

- 3月28日 延べ展覧会入場者数600万人を達成



11月19日～21日 第3回アジア美術館長会議

2

展覧会

Exhibitions

2-1 平成20年度展覧会一覧

Exhibitions List April 2008 – March 2009

2-2 平成19年度までの展覧会一覧

Past Exhibitions List to March 2008

2-3 展覧会記録

Exhibition Details

2-1 平成20年度展覧会一覧 Exhibitions List April 2008 - March 2009

アーティスト・ファイル 2008—現代の作家たち
Artist File 2008—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成20(2008)年3月5日(水)～5月6日(火)
日数：55日(うち20年度；31日)
入場者数：29,823人(うち20年度；16,818人)(1日平均542人)
入場：有料
種別：自主企画展



モディリアーニ展
Modigliani et le Primitivisme

会期：平成20(2008)年3月26日(水)～6月9日(月)
日数：66日(うち20年度；60日)
入場者数：260,117人(うち20年度；243,381人)(1日平均3,941人)
入場：有料
種別：共催展



エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家
Utopia : the Genius of Emily Kame Kngwarreye

会期：平成20(2008)年5月28日(水)～7月28日(月)
日数：54日
入場者数：100,221人(1日平均1,856人)
入場：有料
種別：共催展



ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密
European Still-Life Painting from the Kunsthistorisches Museum Wien

会期：平成20(2008)年7月2日(水)～9月15日(月)
日数：66日
入場者数：132,403人(1日平均2,006人)
入場：有料
種別：共催展



アヴァンギャルド・チャイナ—〈中国当代美術〉二十年—
AVANT-GARDE CHINA : Twenty Years of Chinese Contemporary Art

会期：平成20(2008)年8月20日(水)～10月20日(月)
日数：54日
入場者数：18,570人(1日平均344人)
入場：有料
種別：自主企画展



巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡

Picasso : Sa vie et sa création

会期：平成20(2008)年10月4日(土)～12月14日(日)

日数：62日

入場者数：312,390人(1日平均5,039人)

入場：有料

種別：共催展



未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008 文化庁芸術家在外研修の成果
"DOMANI : The Art of Tomorrow 2008" Exhibition, The Achievements of the
Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency
for Cultural Affairs

会期：平成20(2008)年12月13日(土)～平成21(2009)年1月26日(月)

日数：28日

入場者数：14,985人(1日平均535人)

入場：有料

種別：共催展



加山又造展

KAYAMA Matazo Retrospective

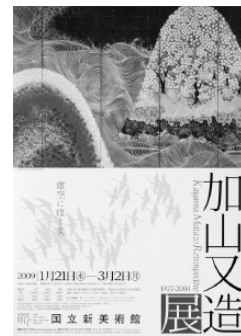
会期：平成21(2009)年1月21日(水)～3月2日(月)

日数：36日

入場者数：123,065人(1日平均3,418人)

入場：有料

種別：共催展



平成20年度[第12回]文化庁メディア芸術祭
2008[12th] Japan Media Arts Festival

会期：平成21(2009)年2月4日(水)～2月15日(日)

日数：11日

入場者数：51,505人(1日平均4,682人)

入場：無料

種別：共催展



アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち

Artist File 2009—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成21(2009)年3月4日(水)～5月6日(水)

日数：56日(うち20年度：24日)

入場者数：18,493人(3月31日まで)(1日平均771人)

入場：有料

種別：自主企画展



ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち
L'enfant dans les collections du musée du Louvre

会期：平成21(2009)年3月25日(水)～6月1日(月)
日数：60日(うち20年度；6日)
入場者数：20,641人(3月31日まで)(1日平均3,440人)
入場：有料
種別：共催展



2-2 平成19年度までの展覧会一覧 Past Exhibitions List to March 2008

国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語—
Living in the Material World—‘Things’ in Art of the 20th Century and Beyond

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)
日数：51日
入場者数：89,475人(1日平均1,754人)
入場：有料
種別：自主企画展

黒川紀章展—機械の時代から生命の時代へ
KISHO KUROKAWA : From the Age of the Machine to the Age of Life

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)
日数：51日
入場者数：166,793人(1日平均3,270人)
入場：無料
種別：共催展

文化庁メディア芸術祭10周年企画展 日本の表現力
The Power of Expression, JAPAN

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～2月4日(日)
日数：14日
入場者数：52,093人(1日平均3,721人)
入場：無料
種別：共催展

エトランジェ
異邦人たちのパリ1900-2005 ポンピドー・センター所蔵作品展

Paris du monde entier : Artistes étrangers à Paris 1900-2005. Exposition organisée par le Centre Pompidou

会期：平成19(2007)年2月7日(水)～5月7日(月)
日数：79日
入場者数：315,266人(1日平均3,991人)
入場：有料
種別：共催展

大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産
Claude Monet : L'art de Monet et sa postérité

会期：平成19(2007)年4月7日(土)～7月2日(月)
日数：76日
入場者数：704,420人(1日平均9,269人)
入場：有料
種別：共催展

スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション
Skin + Bones : Parallel Practices in Fashion and Architecture

会期：平成19(2007)年6月6日(水)～8月13日(月)
日数：60日
入場者数：60,056人(1日平均1,001人)
入場：有料
種別：自主企画展

日展100年
The 100th Anniversary of NITTEN

会期：平成19(2007)年7月25日(水)～9月3日(月)
日数：36日
入場者数：135,486人(1日平均3,764人)
入場：有料
種別：共催展

パーソナル フォト アーカイブス
安齊重男の“私・写・録”1970-2006
ANZAI : Personal Photo Archives 1970-2006

会期：平成19(2007)年9月5日(水)～10月22日(月)
日数：42日
入場者数：15,895人(1日平均378人)
入場：有料
種別：自主企画展

アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展
Milkmaid by Vermeer and Dutch Genre Painting—Masterworks from the Rijksmuseum Amsterdam

会期：平成19(2007)年9月26日(水)～12月17日(月)
日数：72日
入場者数：493,886人(1日平均6,860人)
入場：有料
種別：共催展

文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 『旅』展—異文化との出会い、そして対話—
The 40th Anniversary of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs :
Journey—Encounters and Dialogues with Foreign Cultures

会期：平成19(2007)年12月15日(土)～平成20(2008)年1月28日(月)
日数：27日
入場者数：18,772人(1日平均695人)
入場：有料
種別：共催展

没後50年 横山大観—新たなる伝説へ

YOKOYAMA TAIKAN Fifty Years On—A legend in the making

会期：平成20(2008)年1月23日(水)～3月3日(月)

日数：36日

入場者数：223,671人(1日平均6,213人)

入場：有料

種別：共催展

平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭

11th Japan Media Arts Festival

会期：平成20(2008)年2月6日(水)～2月17日(日)

日数：11日

入場者数：40,553人(1日平均3,687人)

入場：無料

種別：共催展

2-3 展覧会記録 Exhibition Details

アーティスト・ファイル 2008—現代の作家たち
Artist File 2008—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成20(2008)年3月5日(水)～5月6日(火)
日数：55日(うち20年度；31日)
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：29,823人(うち20年度；16,818人)(1日平均542人)
入場：有料
主催：国立新美術館
協力：日本航空

講演会等：

●アーティスト・トーク「私のロマンティズム」

日時：4月6日(日)14時～16時

講演：祐成政徳(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：65人

●アーティスト・トーク

日時：4月26日(土)14時～16時

講演：白井美穂(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：60人

関連事業：

●アーティスト・ワークショップ「空想の場所をつくってみよう」

日時：4月12日(土)13時～16時30分

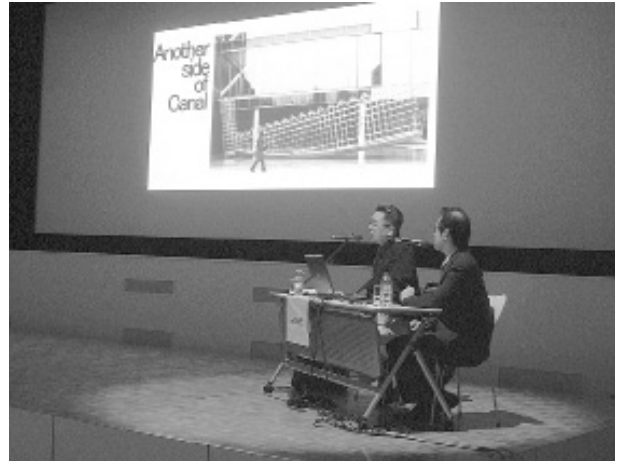
講師：さわひらき(出品作家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

対象：8～15歳

参加者数：12人

※本展の平成19年度開催記録及び出品リストは、
「平成19年度 国立新美術館年報」に記載した。



4月6日 アーティスト・トーク



4月12日 ワークショップ

モディリアーニ展 Modigliani et le Primitivisme

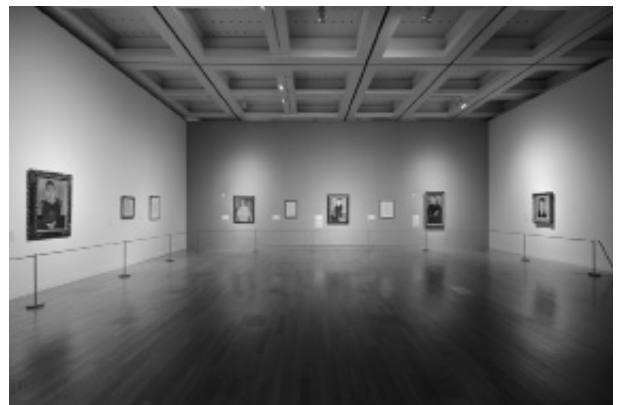
エコール・ド・パリを代表する画家アメデオ・モディリアーニ(1884-1920)の画業を、プリミティヴィスムという新たな視点を切り口にしながら、149点(油彩56点・素描93点)の作品でたどる大規模な回顧展。従来、モディリアーニは35歳で病死した悲劇的なボヘミアン画家という伝記的なイメージが強調されることが多く、ともすれば作品そのものの特徴が見過されがちであった。本展は、20世紀初頭のパリの芸術界に芽吹いたプリミティヴィスムの流れのなかにモディリアーニを位置づけることによって、その作風の独自性をとらえ直そうとした。

第1章ではパリ到着直後の初期作品、第2章ではアフリカやオセアニアなどの民族美術の影響を強く反映した〈カリアティッド〉の作品群、第3章では実際の人物をモデルにした肖像画への転換期の作品、そして第4章で独自の様式を確立した肖像画を展示し、編年的に画風の展開を跡づけた。プリミティヴ美術から得た着想を、革新的な創造に結びつけたモディリアーニの前衛的な側面が明らかとなった。

This large-scale retrospective of the works of Amedeo Modigliani (1884-1920), a figure representative of the School of Paris group of artists, featured 149 of the artist's works (56 oil paintings and 93 drawings). It also served as a means of presenting his artwork from a fresh perspective—that of primitivism. Up to now the image of Modigliani as a tragic, bohemian artist whose life was cut short by illness at age 35 has been so strong that there has even been a tendency to overlook the works themselves. By placing Modigliani in the context of the wave of primitivism that swept through the art scene in early twentieth century Paris, this exhibition focused on the artist's avant-garde side, which evolved as he channeled the ideas gleaned from primitivism into highly creative works, and sought to reaffirm the uniqueness of his artistic style.

The exhibition was divided into several parts, providing an examination of Modigliani's artistic development in chronological order. Part one featured works done in the period immediately following Modigliani's arrival in Paris. Part two exhibited his *Caryatid* series of paintings and drawings, which strongly reflect the influence of indigenous art from Africa and Oceania. Part three featured works from a period in which Modigliani transitioned to portrait paintings of live models. Finally, part four featured the portraits that confirm Modigliani's trademark artistic style.

会期：平成20(2008)年3月26日(水)～6月9日(月)
日数：66日(うち20年度；60日)
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：260,117人(うち20年度；243,381人)(1日平均3,941人)
入場：有料
主催：国立新美術館、日本経済新聞社
後援：フランス大使館
協賛：NEC、花王、KDDI、損保ジャパン、ダイキン工業、
大日本印刷、トヨタ自動車、三井物産
協力：日本航空
監修：マルク・レストリニー(パリ・ピナコテーク美術館館長)
巡回展：国立国際美術館
平成20(2008)年7月1日(火)～9月15日(月)



関連事業：

●ワークショップ

・「仮面(マスク)を作ろう！」(小学校高学年対象)

日時：4月3日(木)10時～13時

講師：塩野麻里(明星大学造形芸術学部造形芸術学科准教授)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：16人

・「仮面(マスク)を作ろう！」(小学校低学年対象)

日時：4月3日(木)14時30分～17時30分

講師：塩野麻里(明星大学造形芸術学部造形芸術学科准教授)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：20人



●モディリアーニ映画特別上映会

・「モンパルナスの灯」

日時：4月4日(金)15時～ 上映時間104分

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：130人

・「モディリアーニ 真実の愛」

日時：5月10日(土)13時～ 上映時間126分

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：232人

●日経WagaMagaフォーラム

シリーズ第9回～フランス文化—映画・美術～

「名作映画の『モディリアーニ』VS 芸術の革新者『モディリアーニ』」

日時：4月20日(日)13時～16時

13時～14時50分 映画上映「モンパルナスの灯」

15時～16時 対談「名作映画の『モディリアーニ』VS 芸術の革新者『モディリアーニ』」

対談：野崎敏(フランス文学者、映画評論家)

港千尋(写真家、多摩美術大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：218人

カタログ：『モディリアーニ展』

B5変型、256ページ、図版カラー156点・白黒7点、

10,000部(初版部数)、14,000部(再版)

出品目録：仕上りA4判、二つ折、100,000部(初版部数)、100,000部(再版)、46,000部(三版)

フランス語版：1,000部(初版部数)、1,000部(再版)

ポスター：B1判、200部

B2判、10,200部

B3判、1,000部

チラシ：A4判、800,000部(うち割引券付；500,000部)、

先行配布；A4変型、30,000部

関連記事：

美の巨人たち(テレビ東京)／3月29日

J-WAVE GOOD MORNING TOKYO／4月2日

婦人公論／4月7日

MODERN LIVING／5月号／堀江令子

サライ／5月15日／菅谷淳夫

朝日新聞(夕刊)／5月14日／古賀太

他 多数

※出品リスト：pp.79-82



4月3日 ワークショップ

エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家
Utopia: the Genius of Emily Kame Kngwarreye

本展は、オーストラリアを代表するアボリジニの画家エミリー・カーメ・ウングワレーの芸術の全容を紹介する、日本で初めての回顧展であった。オーストラリア中央の砂漠地帯でアボリジニの伝統的な生活を送っていたエミリー・ウングワレーは80歳を目前に初めてカンヴァス画を手がけるが、西洋美術と全く無縁な環境にありながら、その作品はモダニズムにも通じる自由で革新的なものとして、今日国際的にも高い評価を得ている。本展では代表作を含む100点余りの作品を「原点」「点描」「色彩主義」「身体に描かれた線」「ヤムイモ」「神聖な草」「ラストシリーズ」の7章に分け、年代順及びテーマ別に紹介した。さらに、作品の背景にあるアボリジニ独自の世界観を紹介する目的で資料コーナー等を設置し、作家の故郷であるユートピア地域とそこに伝わるアボリジニ文化についても紹介した。これまでアボリジニ作家の作品はプリミティブ・アートの範疇で語られることが多かったが、本展は、エミリー・ウングワレーの作品を西欧美術の巨匠の作品にも比肩する革新的かつ普遍的な価値をもつものとして評価するものであった。

This exhibition presented an overview of the works of aboriginal painter Emily Kame Kngwarreye, one of Australia's most renowned artists, and was the first such retrospective to be held in Japan. Having lived a traditional aborigine way of life in Australia's central desert region, Kngwarreye was nearly 80 years old when she began working on a canvas. Her works, created in an environment far removed from Western artistic influences, exhibit the kind of freedom and originality conveyed in many modernist works, and as such are held in high regard in international art circles. The more than 100 works featured in this exhibit—including some of her best-known pieces—were organized into seven different categories in accordance with chronology and themes: Origins, Fields of Dots, Colorism, Body Lines, Yam, Sacred Grasses, and Last Series. With the aim of introducing visitors to the distinct worldview of the Australian aboriginal people, an educational room was set up to allow guests to interact with the cultural traditions that permeate Kngwarreye's birthplace of Utopia. In the past, aboriginal artwork has largely been confined to the concept of "primitive art"; this exhibition, however, allowed Kngwarreye's works to be appreciated on the basis of their innovative and universal merits, with a significance comparable to the creations of great Western artists.

会期：平成20(2008)年5月28日(水)～7月28日(月)

日数：54日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：100,221人(1日平均1,856人)

入場：有料

主催：国立新美術館、読売新聞東京本社

企画構成：オーストラリア国立博物館

後援：外務省、文化庁、オーストラリア大使館

協賛：ウッドサイド、MIMI、国際石油開発、関西電力、ダイワボウ情報システム

協力：豪日交流基金、オーストラリア外務貿易省、オーストラリア政府観光局、ノーザン・テリトリー政府観光局、NHK

監修：マーゴ・ニール(オーストラリア国立博物館シニア・キュレーター)、建畠哲(国立国際美術館長)

巡回展：国立国際美術館

平成20(2008)年2月26日(火)～4月13日(日)



講演会等：

●アートフォーラム

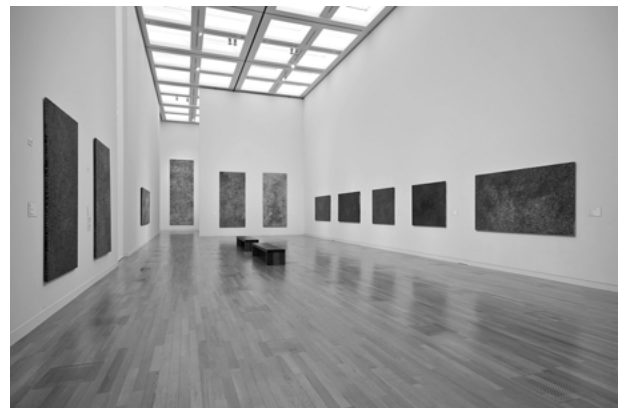
「インポッシブル・モダニスト "The Impossible Modernist"」

日時：2008年6月1日(日)10時～13時

出演：サリー・バトラー(クィーンズランド大学講師)、クリストファー・ホッジズ、(アーティスト、ユートピア・アート・シドニー ディレクター)、マーゴ・ニール(オーストラリア国立博物館シニア・キュレーター)、建畠哲(国立国際美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：100人



●トークショー「天才の謎 エミリーの世界 “the Enigma of Emily”」

日時：6月1日(日)15時～17時

出演：サリー・バトラー(クィーンズランド大学講師)、クリストファー・ホッジズ(アーティスト、ユートピア・アート・シドニー ディレクター)、石井竜也(アーティスト)、北川フラム(アートディレクター)、マーゴ・ニール(オーストラリア国立博物館シニア・キュレーター)、建島哲(国立国際美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：260人

関連事業：

●アボリジニの伝統楽器 ディジュリドゥ・ミニコンサート

日時：6月22日(日)11時～11時30分/15時～15時30分(2回公演)

出演：哲J(ディジュリドゥ奏者)

会場：国立新美術館 1階アトリウム

参加者数：500人(午前200人、午後300人)

●ワークショップ「体験！ディジュリドゥ」

日時：6月22日(日)11時～13時15分/15時～17時15分

講師：哲J(ディジュリドゥ奏者)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：24人/31人

●ダンス・パフォーマンス

「The Rhythm of Emily(ザ・リズム・オブ・エミリー)」

日時：6月27日(金)18時～18時30分

出演：杏奈(ダンサー)、沢田穠治(音楽家)

会場：国立新美術館 1階アトリウム

参加者数：300人

●「鑑賞ワークショップ～ことばで楽しむエミリー展～」

日時：7月6日(日)15時～17時

講師：白鳥健二

会場：国立新美術館 企画展示室2E他

対象：一般

参加者数：22人

カタログ：『エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家』

A4判、256ページ、図版カラー132点・白黒4点、21,000部
(先行巡回会場分を含む)

出品目録：仕上り296×140mm、経本折、60,000部

ポスター：B1判、750部

B2判、11,000部

B3判、17,000部

チラシ：A4判、420,000部、先行配布；A4判、250,000部

関連記事：

読売新聞/平成20(2008)年5月27日

毎日新聞(夕刊)/6月10日

芸術新潮/7月号/新潮社

ミセス/7月号/文化出版局

新日曜美術館(NHK教育)/6月22日

美の巨人たち(テレビ東京)/6月7日

他 多数

※出品リスト：pp.83-85



6月1日 トークショー



6月22日 ミニコンサート

ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密

European Still—Life Painting from the Kunsthistorisches Museum Wien

本展は、ウィーン美術史美術館の所蔵品から、静物画をテーマとする75点の作品を展示し、静物画という絵画ジャンルの成立史とその展開、また風俗画や物語画に描かれた静物がつまざまな意味を紹介した。17世紀前後のオランダ、ドイツ、イタリア、スペインで制作された作品を中心とする出品作のなかには、ヤン・ブリューゲル(父)作《青い花瓶の花束》や、アントニオ・デ・ペレダ作《静物：虚栄(ヴァニタス)》などのよく知られた作品のほか、通常は公開されていない隠れた名作も多数含まれる。特別出品として、日本初公開のディエゴ・ベラスケス作《薔薇色の衣裳のマルガリータ王女》を展示した。

花や果物、器物などを主題とする静物画は、現代においてももっとも身近な絵画ジャンルであるが、日本でこれまでに開催された静物画の展覧会はそれほど多くはない。本展は、静物画の知られざる歴史と魅力を、質の高い作品を通して紹介する稀有な機会となった。

This exhibition showcased 75 still lifes from the Kunsthistorisches Museum in Vienna, introducing to visitors the history and evolution of these paintings as well as the various meanings behind the objects as depicted in various genre and narrative paintings. Most of the works in the exhibition were from the Netherlands, Germany, Italy, and Spain from around the seventeenth century. Among them were paintings of wide renown, including Jan Brueghel the Elder's *Flowers in a Blue Vase* and Antonio de Pereda's *Allegory of Vanity*, in addition to a number of "hidden masterpieces" that are rarely shown. As a special feature, the exhibit also included Diego Velázquez's *Infanta Margarita Teresa in a Pink Dress*, marking the first time this work was shown to the public in Japan.

Though still lifes of flowers, fruits, bowls, and other inanimate objects constitute a highly accessible genre of art in the modern age, there have been few exhibitions to showcase such works in Japan. "European Still-Life Painting from the Kunsthistorisches Museum Wien" thus represented a rare opportunity to introduce the little-known history and appeal of still-life paintings through a number of outstanding works.

会期：平成20(2008)年7月2日(水)～9月15日(月)

日数：66日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：132,403人(1日平均2,006人)

入場：有料

主催：国立新美術館、東京新聞

後援：オーストリア大使館

協賛：日本写真印刷

協力：オーストリア航空、Lufthansa Cargo AG

監修：カール・シュッツ(ウィーン美術史美術館副館長、絵画部長)
木島俊介(共立女子大学教授)

巡回展：宮城県美術館

平成20(2008)年10月7日(火)～12月14日(日)

兵庫県立美術館

平成21(2009)年1月6日(火)～3月29日(日)

青森県立美術館

平成21(2009)年4月11日(土)～6月14日(日)



講演会等：

●講演会「ヨーロッパの静物画」

日時：7月5日(土)14時～16時

講演：カール・シュッツ(本展監修者、ウィーン美術史美術館副館長、
絵画部長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●講演会「静物画の深い魅力『静止する時間・回帰する時間』」

日時：7月19日(土)14時～16時

講演：木島俊介(本展監修者、共立女子大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●講演会「知られざる静物画の魅力」

日時：8月16日(土)14時～16時

講演：宮下規久朗(神戸大学大学院准教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：150人



7月5日 講演会

カタログ：『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密展』

A4変型、208ページ、図版カラー134点・白黒41点、6,500部

カタログドイツ語版：『Stilleben aus der Gemäldegalerie des
Kunsthistorischen Museums Wien』

A4変型、56ページ、図版白黒11点、300部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、130,000部

ポスター：B1判、700部

B2判、2,500部

B3判、8,000部

チラシ：仕上りA4判、200,000部、先行配布；A4判、340,000部

関連記事：

東京新聞／平成20(2008)年7月2日／木島俊介

朝日新聞／7月30日／古賀太

美術の窓／7月号(No. 298)／本橋弥生(学芸課研究員)、小林明子(学
芸課研究補佐員)

SANKEI EXPRESS／8月14日／黒沢綾子

美の巨人たち(テレビ東京)／8月2日

新日曜美術館アートシーン(NHK教育)／8月10日

他 多数

※出品リスト：pp.86-87

アヴァンギャルド・チャイナ—中国当代美術二十年—
AVANT-GARDE CHINA : Twenty Years of Chinese Contemporary Art

中国現代美術の独自性が芽生え始めた1980年代中ごろを出発点に、ここ20年間の流れをたどりつつ、すでに評価を確立した美術家から、今後活躍が期待される若手まで、特筆すべき14作家、2グループに焦点をあてて、その代表作48点を展覧した。

これまでわが国で開催された中国現代美術の展覧会は、いずれもその時々話題となっていた動向を紹介するものだった。こうした状況を踏まえた本展は、中国の現代美術を歴史的、系統的な視点から紹介した点で画期的であった。

本展を企画、構成するにあたっては、中国全土で一連の先鋭的なグループが活動した八五美術運動を起点にして、社会主義体制と資本主義経済の狭間で揺れる中国を揶揄したポリティカル・ポップ、民主化運動の敗北と挫折を味わった世代のシニカル・リアリズム、身体の問題を追及するパフォーマンス・アート、近年世界的に大きな注目を集めるビデオ・アートと、各時代を代表する動向を網羅的、通史的に展覧できるようつとめた。中国の現代美術家の中には、日本や欧米に活動の拠点を移して活動している者も多いが、今回の展覧会では、あえて中国国内で制作、発表された作品を紹介することにした。中国の現代美術が、この国が歩んできた激動の時代の中でしか生み出され得ない特性を持つこと、作品が、中国の歴史、社会、文化を映す鏡でもあることを重視したからである。

展示においては、中国の現代美術になじみのない来館者が多いことを想定し、各出品作家、出品作品について簡単な解説を作成し、キャプションとともに会場内に掲示した。また、中国現代美術の展開を分かりやすく示した年表を作成し、会場内に掲示した。作品によって押さえ切れなかった動向については、展覧会カタログなどの関連資料を展示することで補填し、系統的紹介につとめた。

本展に合わせて開催した、国際的に活躍している研究者を招いてのシンポジウムは、展覧会という視覚的な検証の場を補うかたちで、中国現代美術史を複数の視点から考察する絶好の機会となった。また、出品作家自らが語るアーティスト・トークでは、作品の魅力だけでなく、作家が置かれた環境と制作との関係までを掘り下げる、貴重な場を提供できた。

“Avant-Garde China” featured 48 major works by 14 artists and 2 artistic groups—ranging from established veterans to rising young stars—created during a 20-year period beginning in the mid-1980s, when Chinese contemporary art began to come into its own. Previous exhibitions of Chinese contemporary art in Japan have all been concerned with showcasing the artistic movements in vogue at the time; therefore “Avant-Garde China” broke new ground in its historical and systematic presentation of contemporary Chinese art.

In planning and organizing the exhibition, particular care was taken to present an all-encompassing overview of the representative trends from each of several periods in China’s recent art history. Works from the ’85 New Wave Movement, the name given to the simultaneous groundswell of radical artists across the country, served as the exhibition’s starting point. These were followed by works in the Political Pop, which ridicule a China vacillating between a socialist system and capitalist economy; Cynical Realism, the term applied to works reflecting a generation frustrated with the failure of the democratization movement; performance art, which seeks answers to the questions of our physical being; and works of video art, a genre that has been gathering much attention in recent years. While many Chinese contemporary artists have moved their activities to Japan, Europe, or the United States, this exhibition expressly focused on works that were created and unveiled in China. This is because many of the defining characteristics of Chinese contemporary are closely intertwined with the country’s turbulent recent history, and importance was given to the role of art as a mirror of a country’s history, society, and culture.

Since it was anticipated that many visitors would be unfamiliar with contemporary Chinese art, explanatory captions were created for each artist and work, and an easy-to-understand chronology of the evolution of contemporary art in China was created and displayed. In an effort to provide a systematic presentation of contemporary Chinese art, exhibition catalogs and other supplementary reference materials were displayed as supplementary information on artistic movements that fell outside the scope of the exhibition.

A symposium featuring international researchers was held in conjunction with the exhibition, providing a splendid opportunity to supplement these visual works with an examination of China’s contemporary art from various viewpoints. And artist talks by the creators themselves provided invaluable opportunities to go beyond the surface appeal of the works and gain an understanding of the environment under which the artists worked and the impact it had on their work.

会期：平成20(2008)年8月20日(水)～10月20日(月)

日数：54日

会場：国立新美術館 企画展示室 2 E

入場者数：18,570人(1日平均344人)

入場：有料

主催：国立新美術館、国際交流基金

協力：パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

巡回展：国立国際美術館

平成20(2008)年12月9日(火)～平成21(2009)年3月22日(日)

愛知県美術館

平成21(2009)年4月3日(金)～5月24日(日)



講演会等：

●アーティスト・トーク「自作を語る」

日時：8月20日(水)14時～15時30分

講演：孫原・彭禹(出品作家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：45人

●アーティスト・トーク「新刻度小組の活動について」

日時：8月22日(金)17時～18時30分

講演：顧徳新、王魯炎、陳少平(いずれも元・新刻度小組メンバー、出品作家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：33人

●シンポジウム

日時：8月23日(土)13時～16時

・基調講演「中国現代美術、激動の30年」

高名潞(ピッツバーグ大学美術史・建築史学部教授、四川美術学院高名潞現代芸術研究所所長)

・シンポジウム「中国現代美術の今とこれから」

高名潞(ピッツバーグ大学美術史・建築史学部教授、四川美術学院高名潞現代芸術研究所所長)、牧陽一(埼玉大学教授)、建畠哲(国立国際美術館長)

司会進行：平井章一(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：64人

●担当研究員による解説会

日時：9月15日(月)14時～15時

解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：47人

●担当研究員による解説会

日時：10月11日(土)14時～15時

解説：平井章一(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：30人

関連事業：

●関連映画上映会「胡同のひまわり」

(監督・脚本：チャン・ヤン、配給：ショウゲート、2005年、中国)

日時：9月13日(土)14時～16時30分

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：72人

カタログ：『アヴァンギャルド・チャイナ―中国当代美術二十年―』

A4変型、186ページ、図版カラー93点・白黒12点、

9,150部(巡回会場分も含む。当館の使用分4,000部)

出品目録：A4判、50,000部

ポスター：B1判、1,500部

B3判、4,000部

B3変型(インターサイズ)、1,500部

チラシ：A4判、100,000部



8月23日 シンポジウム

関連記事：

東京新聞／平成20(2008)年8月22日／内田真由美

読売新聞／9月10日／菅原教夫

図書新聞／10月11日／後小路雅弘

Weekly ぴあ／8月28日

New Media／10月号

美術手帖／10月号

メトロポリス／9月12日

artdaily.org／10月9日

他 多数

※出品リスト：pp.88-89

巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡 Picasso: Sa vie et sa création

本展は、20世紀美術最大の巨匠の一人、パブロ・ピカソ(1881-1973)の大規模な回顧展である。パリ国立ピカソ美術館の大規模改修工事を機に可能となったもので、同美術館の全面的な協力により、170点近い作品が出品された。5000点におよぶ同館のピカソ作品コレクションは、各時代を網羅し、さまざまな素材やメディアによる作品を含んでいる。本展では、青の時代からキュビズム、新古典主義、シュルレアリスム、そして晩年まで、ピカソの生涯にわたる達成をバランスよく見渡し、また絵画・彫刻ばかりか、コンストラクション、パピエコレ、素描、版画、挿絵入り本など、その実践の多様性にも光を当てる作品選択を心掛けた。展示構成は、時代順にシンプルな展示をおこない、資料写真や年表、家系図の展示も加えて、巨匠の全貌を見やすく紹介するように努めた。

また、特記すべきこととして、同じくパリ国立ピカソ美術館のコレクション50数点により構成し、ピカソの自画像に焦点を当てた「巨匠ピカソ魂のポートレート」展(サントリー美術館)と同時開催となったことが挙げられる。一人の作家に回顧展とテーマ展という二つの異なったアプローチを試みることで、今までにない広がりを持ったピカソ像を提示することが可能となった。

This was a large-scale retrospective of the works of Pablo Picasso (1881-1973), one of the greatest artists of the twentieth century. It was made possible through the full cooperation of the Musée National Picasso in Paris, which provided the nearly 170 works on display while its facilities were being renovated. The French museum houses as many as 5,000 of Picasso's works, covering each period in his career and representing a variety of media and materials. The exhibition endeavored to provide a balanced examination of the artist's lifelong accomplishments. It included works from his Blue Period and those created in cubist, neo-classicist, and surrealist styles, as well as artwork from his later years. Moreover, efforts were made to select works that highlight Picasso's artistic diversity; as such, his constructions, collages, sketches, prints, and illustrations were represented in addition to his paintings and sculptures. The exhibition was arranged in a simple, straightforward manner according to the different periods of Picasso's career, and photographs, a chronology, and Picasso's family tree were also displayed to provide an accessible overview of this legendary artist.

Shown concurrently was an exhibition at the Suntory Museum of Art of over 50 of Picasso's works, also on loan from the Musée National Picasso. The exhibition, titled "Picasso: Portrait d'une âme," focused on the artist's self-portraits. The two differing approaches to the presentation of Picasso's works—a retrospective and a themed exhibition—enabled a much broader presentation of the artist.

会期：平成20(2008)年10月4日(土)～12月14日(日)

日数：62日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：312,390人(1日平均5,039人)

入場：有料

主催：国立新美術館、朝日新聞社、テレビ朝日

後援：フランス大使館

協賛：キャノン株式会社、大日本印刷

特別協力：AXA Art

協力：AIR FRANCE、三井不動産、Tokyo Midtown、みずほ銀行

監修：アンヌ・バルダサリ(パリ国立ピカソ美術館館長)



講演会等：

●トークショー「私にとってのピカソ」

日時：10月5日(日)14時～15時30分

出演：佐藤可士和(アートディレクター・SAMURAI代表)

コメンテーター：南雄介(学芸課主任研究員)

聞き手：高橋真紀子(テレビ朝日アナウンサー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：180人



●講演会「天才ピカソの変貌—スペイン・地中海・女たちへ—」

日時：10月11日(土)14時～15時30分

講演：大高保二郎(早稲田大学文学学術院教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：104人

●シンポジウム「ピカソ—今日の展望—」

日時：11月15日(土)14時～16時

出演：林道郎(上智大学教授)

田中正之(武蔵野美術大学准教授)

河本真理(京都造形芸術大学准教授)

松浦寿夫(東京外国語大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：182人

カタログ：『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡／魂のポートレート』

A4変型、365ページ、図版カラー249点・白黒23点、30,000部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、180,000部、英語版；10,000部

ポスター：B1判、460部

B2判、500部

B3判、1,170部

B3変型(インターサイズ)、3,960部

チラシ：A4判、400,000部、仕上りB5判、経本折(サントリー美術館
と共通)、40,000部

先行配布；仕上りA4判、四つ折(サントリー美術館と共通)、
260,000部

関連記事：

サライ／平成20(2008)年10月16日

日本経済新聞／11月5日／宝玉正彦

しんぶん赤旗／11月6日／大井健地

The Japan Times／11月13日／NONOYAMA Junko

毎日新聞(夕刊)／11月18日／岸桂子

J-WAVE GOOD MORNING TOKYO／10月28日

迷宮美術館(NHK)／11月9日

他多数

※出品リスト：pp.90-93



11月15日 シンポジウム

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 2008 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2008” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

文化庁では、将来の我が国芸術界を支える芸術家を支援するため、若手芸術家を海外に派遣し、その専門とする分野について研修の機会を提供する、「芸術家在外研修(新進芸術家海外研修制度)」を昭和42年度から実施している。

同制度における成果発表の場として平成9年度から実施してきた「DOMANI・明日展」を、本年度より国立新美術館に会場を移して開催することとした。今回は、これまで同展において紹介されていなかった作家、近年に派遣された研修生を中心として、中井貞次(染色)/田中信太郎(彫刻)/原直久(写真)/石井勢津子(ホログラフィ)/舟越桂(彫刻)/山本富章(絵画)/ヒグマ春夫(映像)/小林浩(絵画)/馬場磨貴(写真)/開発好明(現代美術)/駒形克哉(切り紙)/伴戸玲伊子(日本画)/山本晶(絵画)/菱山裕子(立体)/小山利枝子(絵画)の15名の作家を紹介した。

With the aim of supporting young artists who will sustain the future of Japan's art world, the Agency for Cultural Affairs has provided overseas study opportunities in these artists' respective areas of expertise since fiscal 1967 through the Japanese Government Overseas Study Program for Artists.

In fiscal 2008, the National Art Center, Tokyo began serving as the venue for “DOMANI: The Art of Tomorrow,” an exhibition launched in 1997 to showcase the achievements of the program. This most recent exhibition introduced 15 artists who recently participated in the program and whose works had not yet appeared in the show: NAKAI Teiji (textile dyeing), TANAKA Shintaro (sculpture), HARA Naohisa (photography), ISHII Setsuko (holography), FUNAKOSHI Katsura (sculpture), YAMAMOTO Tomiaki (painting), HIGUMA Haruo (video), KOBAYASHI Hiroshi (painting), UMABA Maki (photography), KAIHATSU Yoshiaki (contemporary art), KOMAGATA Katsuya (*kirigami*, or “papercutting”), BANDO Reiko (Japanese painting), YAMAMOTO Aki (painting), HISHIYAMA Yuko (sculpture), and KOYAMA Rieko (painting).

会期：平成20(2008)年12月13日(土)～平成21(2009)年1月26日(月)

日数：28日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：14,985人(1日平均535人)

入場：有料

主催：文化庁

共催：国立新美術館、読売新聞社

制作：アート・ベンチャー・オフィス ショウ

講演会等：

●ギャラリー・トーク

日時：12月13日(土)14時～

出演：田中信太郎、石井勢津子、開発好明、伴戸玲伊子

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：約50人

●ギャラリー・トーク

日時：12月21日(日)14時～

出演：山本富章、小林浩、菱山裕子

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：約70人



●ギャラリー・トーク

日時：1月11日(日)14時～

出演：舟越桂、小山利枝子、馬場磨貴

会場：国立新美術館 企画展示室 2 E

参加者数：約170人

●ギャラリー・トーク

日時：1月12日(月)14時～

出演：中井貞次、原直久、駒形克哉、山本晶

会場：国立新美術館 企画展示室 2 E

参加者数：約150人

●アートパフォーマンス

日時：12月21日(日)、1月11日(日)各日15時30分～

出演：ヒグマ春夫

会場：国立新美術館 企画展示室 2 E ヒグマ春夫展示スペース内

参加者数：各回約40人

●アートパフォーマンス

日時：1月16日(金)15時30分～

出演：Low-Tec(開発好明+高安利明) ※開発氏は映像による出演

会場：国立新美術館 企画展示室 2 E 開発好明展示スペース内

参加者数：約30人

カタログ：『未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2008(文化庁芸術家在外研修の成果)』

A 4 変型、102ページ、図版カラー158点、発行部数：2,000部

出品目録：仕上りA 4 判、8 ページ、20,000部

ポスター：B 1 判、100部

B 2 判、800部

B 3 変型(インターサイズ)、820部

チラシ：A 4 判、100,000部

関連記事：

月刊美術 12月号／平成19(2008)年11月20日

美術の窓 12月号／11月20日

クロワッサン12月10日号／11月25日

読売新聞／12月18日

朝日新聞／1月21日

新美術新聞／12月11日

他 多数

※出品リスト：pp.94-97



1月11日 ギャラリートーク

加山又造展

KAYAMA Matazo Retrospective

本展は、現代日本画を代表する画家のひとりである加山又造(1927-2004)の回顧展であり、絵画と工芸、デザイン等、合わせて約100点の作品を通して、加山又造の創作の全容を紹介した。西洋絵画の影響を強くうかがわせる初期の動物画から、琳派など日本の古典に倣った華麗な屏風絵、線描の美しさを追及した裸婦像を経て、北宋山水画に学んだ晩年の水墨作品に至るまで、常に新しい表現様式を追求し続けた加山又造は、戦後の日本画壇に常に新風を吹き込んだ革新的な画家として知られる。一方、絵画以外にも着物や陶器の絵付けをはじめ、ジュエリーのデザインや祇園祭山鉦の見送り綴織の意匠を手がけるなど、その創作活動は多岐にわたる。本展では加山又造の画業の全軌跡をたどるとともに、絵画以外の作品を併せて展示することにより、その芸術の真髄をあらためて見つめ直すものであった。

This exhibition was an overview of the artistic career of KAYAMA Matazo (1927-2004), a leading artist in the world of Japanese-style painting. It featured roughly 100 works, including paintings, crafts and designs, providing a thorough overview of Kayama's career. The exhibition featured works from various phases, including the animal paintings of his early years, during which he was heavily influenced by Western paintings; his elegant folding screen paintings, executed in the style of the Rimpa school and other classical Japanese influences; his female nudes, beautifully rendered in line art; and the ink paintings of his later years, which arose from his study of landscapes from the Northern Sung dynasty. Kayama was an artist who constantly pursued new forms of expression and is remembered as an innovator who brought fresh perspectives to the postwar Japanese art world. Moreover, Kayama used a variety of mediums for his artistic expressions, including ceramic and kimono decorations, jewelry designs, and designs for tapestries hung from traditional floats in the Gion Festival. In addition to examining his work as a painter, the "KAYAMA Matazo Retrospective" provided a thorough overview of his other creations in a rediscovery of their quintessential aesthetic.

会期：平成21(2009)年1月21日(水)～3月2日(月)

日数：36日

会場：国立新美術館 企画展示室 1E

入場者数：123,065人(1日平均3,418人)

入場：有料

主催：国立新美術館、日本経済新聞社

出品協力：東京国立近代美術館

協賛：旭硝子、大和ハウス工業、三井物産

協力：日本航空

監修：尾崎正明(東京国立近代美術館特任研究員)

巡回展：高松市美術館

平成21(2009)年4月17日(金)～5月31日(日)



講演会等：

●記念講演会「加山又造—その芸術の変遷」

日時：1月31日(土)14時～15時30分

講演：尾崎正明(本展監修者、東京国立近代美術館特任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：190人

●関連トーク「父 又造の仕事の周辺から」

日時：2月8日(日)14時～15時30分

出演：加山哲也、加山英利子、加山文子

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：249人



カタログ：『加山又造展』、A4変型、202ページ、図版カラー109点・
白黒25点、16,500部

出品目録：仕上りA4判、経本折、80,000部、英語版；2,000部

ポスター：B1判、250部
B2判、9,300部

チラシ：A4判、322,000部

関連記事：

日経新聞／平成21(2009)年1月21日

毎日新聞(夕刊)／2月2日

新美術新聞／2月11日／西野華子(学芸課主任研究員)

美の巨人たち(テレビ東京)／1月30日

新日曜美術館(NHK教育)／2月22日

他 多数

※出品リスト：pp.98-99



2月8日 関連トーク

平成20年度[第12回]文化庁メディア芸術祭
2008[12th]Japan Media Arts Festival

文化庁メディア芸術祭は、優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、これを鑑賞する機会を提供することにより、メディア芸術の創造とその発展を図り、もって我が国文化の向上と振興に資する。こうした趣旨に基づき、受賞作品展において受賞作品および審査委員会推薦作品の展示を行うとともに、アートとエンターテインメントの融合および表現とテクノロジーの進化から「未来をつなぐ」意識を実体験することができる展示環境を構築し、国内外の優秀なメディア芸術作品の展示・紹介を行うための関連事業を開催した。

The Japan Media Arts Festival, organized with Japan's Agency for Cultural Affairs, and Computer Graphic Arts Society serves as a venue for showcasing outstanding works of media arts. By providing audiences with the chance to appreciate such works, it both encourages creation and development of media arts and helps to enhance and promote Japanese culture. Based on this concept, an exhibition of award-winning and jury-recommended works was held. Related events were also held to display and introduce visitors to outstanding works of the media arts from both in and outside Japan, enabling visitors to experience firsthand the sense of being "Connected with the Future" through the synthesis of art and entertainment and the evolution of technology and expression.

会期：平成21(2009)年2月4日(水)～2月15日(日)
日数：11日
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：51,505人(1日平均4,682人)
入場：無料
主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会(文化庁、国立新美術館、CG-ARTS協会)



講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●受賞者シンポジウム

・アート部門受賞者シンポジウム

日時：2月6日(金)18時～19時30分

司会：原田大三郎(アート部門主査/多摩美術大学教授)

出演：マルシオ・アンブロジーオ(大賞『Oops!』ブラジル)、田口行弘(優秀賞『Moment-performatives spazieren』ドイツ)、アレキサンダー・メンデレビッチ(優秀賞『OUTSIDE』イスラエル)

参加者数：65人

・アニメーション部門受賞者シンポジウム

日時：2月7日(土)13時～14時30分

司会：鈴木伸一(アニメーション部門主査/アニメーション監督)

出演：加藤久仁生(大賞『つみきのいえ』)、木村卓(優秀賞『KUDAN』)、湯浅政明(優秀賞『カイバ』)

参加者数：122人

・エンターテインメント部門受賞者シンポジウム

日時：2月14日(土)15時～17時

司会：田中秀幸(エンターテインメント部門主査/アートディレクター)、榎山寛(エンターテインメント部門審査委員/コンテンツ・プロデューサー)

出演：岩井俊雄/西堀佑(大賞『TENORI-ON』)、中村勇吾(優秀賞『FONT PARK 2.0』)

参加者数：259人

・マンガ部門受賞者シンポジウム

日時：2月11日(水)13時30分～15時

司会：ちばてつや(マンガ部門主査/マンガ家)、藤本由香里(マンガ部門審査委員/明治大学准教授)

出演：さそうあきら(優秀賞『マエストロ』)

参加者数：105人

●テーマシンポジウム

・「写真×ビデオアート×メディア芸術」

日時：2月6日(金)15時30分～17時

司会：原田大三郎(アート部門主査／多摩美術大学教授)

出演：中谷美二子(アーティスト／功労賞)、濱崎好治(川崎市市民ミュージアム学芸員)

参加者数：72人

・「テクノロジーが支える日本のメディアアートの魅力」

日時：2月9日(月)16時～17時30分

出演：原島博(東京大学大学院教授／アート部門審査委員)、岩田洋夫(筑波大学大学院教授)、橋本典久(科学技術振興機構さきがけ研究者)、森山朋絵(東京都現代美術館学芸員)

参加者数：109人

・「マンガとアニメの未来」

日時：2月13日(金)14時～15時30分

出演：幾原邦彦(アニメーション監督／アニメーション部門審査委員)、浜野保樹(東京大学大学院教授／メディア芸術祭運営委員)、細萱敦(マンガ研究者)

参加者数：122人

関連事業：

●Media Art in the World プレゼンテーション+作品上映会

会場：国立新美術館 講堂

・「Ars Electronica(アルスエレクトロニカ／オーストリア)」

日時：2月4日(水)13時～14時30分

出演：小川英明(新アルスエレクトロニカセンター企画担当)

参加者数：43人

・「CICDAF:China International Animation and Digital Arts Festival(中国国際アニメーション&デジタルアートフェスティバル／中国)」

日時：2月5日(木)13時30分～15時

出演：ルー・バイシャン(中華人民共和国文化部、中外文化交流センター副代表)

参加者数：16人

・「SICAF(シカフ／韓国)」

日時：2月5日(木)16時～17時30分

出演：キム・スー・ヨン(SICAFプランニング・コーディネーター)

参加者数：30人

・「SIGGRAPH Asia Electronic Theater(シーグラフ・アジア・エレクトロニックシアター)」

日時：2月9日(月)13時30分～15時

出演：ジニー・チュウ(シーグラフ・アジア2008・コンピュータアニメーション・フェスティバル・チェア)、森山朋絵(東京都現代美術館学芸員、シーグラフ・アジア2008・アートギャラリー&エマージングテクノロジー・チェア)

参加者数：58人

・「SIGGRAPH Computer Animation Festival(シーグラフ・コンピュータアニメーションフェスティバル／アメリカ)」

日時：2月13日(金)17時～19時30分

出演：ジル・スモリン(シーグラフ2008・コンピュータアニメーション・フェスティバル・チェア)

参加者数：143人



●作品上映

上映日：2月4日(水)、5日(木)、6日(金)、11日(水)、12日(木)、13日(金)、14日(土)、15日(日) 全21回

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,278人

●学生MVコラボレーション発表会

日程：2月5日(木)オリエンテーション、2月9日(月)～10日(火)撮影・編集(1泊2日)、2月12日(木)発表会

講師：寺井弘典(映像クリエイター)、木津裕史、諏訪大助

参加：日本人学生 8名

参加校：大阪電気通信大学、多摩美術大学、東京学芸大学、東京藝術大学、武蔵野美術大学

発表会参加者数：54人

会期中、下記の特別展示を行った。

●第14回学生CGコンテスト 受賞作品展

主催：CG-ARTS協会

協力：キャノンマーケティング株式会社、日本シーゲイト株式会社、日本AMD株式会社

●Media Art in the World展示

合計50のメディア芸術関連フェスティバル及び10の国際巡回フェスティバル・学会についてのパネル、PC、映像による展示。

●先端技術ショーケース'09—未来のアート表現のために—

主催：文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構

協力：日本バーチャルリアリティ学会 アート&エンタテインメント研究委員会

カタログ：『第12回文化庁メディア芸術祭受賞作品集』

A4判、100ページ、図版カラー340点・白黒93点

ポスター：B1判

チラシ：A4判

関連記事：

王様のランチ(TBS)／平成21(2009)年2月7日

他 多数

※出品リスト：pp.100-104

アーティスト・ファイル 2009—現代の作家たち
Artist File 2009—The NACT Annual Show of Contemporary Art

「アーティスト・ファイル」展は、国立新美術館の学芸スタッフが日頃のフィールドワークの中で注目する作家たちを取り上げ、それぞれを個展形式で紹介する展覧会である。本展は、「さまざまな美術表現を紹介し、新たな視点を提供する美術館」という当館の活動方針に沿って、毎年定期的で開催する展覧会の第2回目にあたり、国内外で活動する9名に参加を呼びかけた。このたび選ばれたペーター・ボーゲルス(映像)、平川滋子(インスタレーション)、石川直樹(写真)、金田実生(絵画)、宮永愛子(インスタレーション)、村井進吾(彫刻)、大平實(彫刻)、齋藤芽生(絵画)、津上みゆき(絵画)ら作家の年齢は30代前半から50代後半までとかなりの幅があり、また作品の有りようも様々だが、いずれも自身の道を真摯に追求し、独自の表現スタイルを獲得するに至っている。彼らの仕事を通じて、今日の美術状況を紹介すると共に、現代の作家たちがいかに社会に向き合い、どのようなまなざしを持って制作を続けているか確認できるような展示を試みた。各作家の新作・近作や代表的な作品を集め、それぞれのもつ凝縮された世界が堪能できるような展示となった。

また本展は、美術情報の収集事業の一環として、展覧会に参加した作家の資料を将来にわたりアーカイブ化し、広く社会に提供していくことも構想している。同時に、普及事業にも力を入れ、出品作家全員がアーティスト・トークワークショップの講師をつとめるイベントを開催した。

The Artist File exhibitions introduce artists that have drawn the attention of NACT's curatorial staff in the course of their fieldwork, presenting each artist's work as though it were a solo exhibition. *Artist File 2009* was the second in the series for the Center, which, as an innovative art facility, seeks to hold regular exhibitions of works introducing diverse forms of artistic expression and providing new perspectives. *Artists File 2009* featured works from nine artists active both inside and outside Japan: Peter BOGERS (video), HIRAKAWA Shigeko (installation), ISHIKAWA Naoki (photography), KANEDA Mio (painting), MIYANAGA Aiko (installation), MURAI Shingo (sculpture), OHIRA Minoru (sculpture), SAITO Meo (painting), and TSUGAMI Miyuki (painting). The age of the artists ranged from their early thirties to late fifties, and the works, too, represented a diverse range of media. Each artist has dedicated themselves to pursuing their own path, resulting in unique modes of expression. *Artist File 2009* not only presented visitors with the state of contemporary art today but also resulted in a fuller understanding of the extent to which contemporary artists engage with society and the vision with which they pursue their creative works. *Artist File 2009* assembled new, recent, and defining works from each artist, presenting them in such a way as to allow visitors to fully appreciate each of the unique worlds encapsulated within.

As part of the Center's information-gathering activities, materials from the participating artists were archived with the intention of making them widely available to the public. There will be many public programs: each of the nine is scheduled to appear as a lecturer at an artist talk or workshop.

会期：平成21(2009)年3月4日(水)～5月6日(水)
日数：56日(うち20年度：24日)
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：18,493人(3月31日まで)(1日平均771人)
入場：有料
主催：国立新美術館
協力：NECディスプレイソリューションズ株式会社、株式会社イトーキ
展示協力：エプソン販売株式会社
助成：モンドリアン財団



講演会等：
●アーティスト・トーク
日時：3月7日(土)14時～16時
講演：ペーター・ボーゲルス、平川滋子(出品作家)
会場：国立新美術館 研修室A, B
参加者数：45人

●アーティスト・トーク
日時：3月28日(土)20時～21時
講演：村井進吾、宮永愛子(出品作家)
会場：国立新美術館 企画展示室2E
参加者数：488人



関連事業：

●アーティスト・ワークショップ

「ミニチュア・ムシワールド～虫からみた世界をつくろう～」

日時：3月8日(日)13時30分～16時30分

講師：大平實(出品作家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：17人

●六本木アートナイト

日時：3月28日(土)

・22時まで開館延長

・出品作家(石川直樹、大平實、村井進吾)による「3つのアートキューブ」の実施

・出品作家(村井進吾、宮永愛子)によるアーティスト・トークの実施

・出品作家(平川滋子)による野外での夜間映像投影の実施



3月7日 アーティスト・トーク

カタログ：『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』

A4変型、10分冊、箱付き、作家ファイル各32ページ×9冊・イントロダクション4ページ(計292ページ)、図版カラー331点・白黒55点、4,000部

記録集(『展覧会ドキュメント』)：A4変型、48ページ、図版カラー27点・白黒19点、2,000部

出品目録：仕上り280×210mm、二つ折、30,000部

ポスター：B1判、950部

B3判、3,000部

B3変型(インターサイズ)、1,000部

チラシ：A4判、100,000枚

関連記事：

毎日新聞(夕刊)／平成21(2009)年3月24日／岸桂子

産経新聞／3月25日／渋谷和彦

朝日新聞／3月28日／高階秀爾

装苑／4月号／中島亮平

BOOM TOWN(J-WAVE)／3月10日

他 多数



3月8日 ワークショップ

※出品リスト：pp.105-107

ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち
L'enfant dans les collections du musée du Louvre

会期：平成21(2009)年3月25日(水)～6月1日(月)
日数：60日(うち20年度；6日)
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：20,641人(3月31日まで)(1日平均3,440人)
入場：有料
主催：国立新美術館、ルーヴル美術館、朝日新聞社、テレビ朝日
後援：フランス大使館
協賛：ソシエテ ジェネラル グループ、大日本印刷
協力：ニッセイ同和損害保険、日本航空、日本通運
監修：ギユメット・アンドルー＝ラノエ(ルーヴル美術館古代エジプト美術部長)
大野芳材(青山学院女子短期大学芸術学科教授)
巡回展：国立国際美術館
平成21(2009)年6月23日(火)～9月23日(水)

講演会等：

●講演会「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち 記念講演会」
日時：3月25日(水)14時～15時30分
講演：ギユメット・アンドルー＝ラノエ(ルーヴル美術館古代エジプト美術部長)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：110人

関連事業：

●六本木アートナイト
日時：3月28日(土)
・22時まで開館延長

カタログ：『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』
A4変型、280ページ、図版カラー272点・白黒77点、20,000部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、100,000部(初版部数)
フランス語版；A4両面、200部

ポスター：B0判、24部
B1判、170部
B1判(6種)、各30部
B2判、500部
B3判まど上・中吊り、3,270部
B3変型(インターサイズ)、3,000部

チラシ：A4判、300,000部、先行配布；A4判、200,000部

※本展の平成21年度開催記録及び出品リストは、
『平成21年度 国立新美術館活動報告』に記載する。

3

美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to
Artist Associations

3 美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to Artist Associations

平成19(2007)年度より、全国的な活動を行っている美術団体等が実施する公募展等に展覧会会場の提供を、平成20(2008)年度も引き続き実施した。平成20年度は、69団体に展覧会会場を提供し、公募展等の入場者数は合計1,309,747人であった。

また、前年度の経験を踏まえ、更なる運営並びに施設・備品の管理等の改善に取り組んだ。

Beginning in fiscal 2007, NACT began making its exhibition spaces available for exhibitions held by artist associations active throughout Japan. This policy was continued in fiscal 2008, during which 69 organizations held exhibitions at NACT, drawing a total of 1,309,747 visitors.

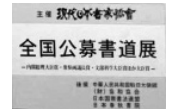
In addition, based on its experiences from the previous fiscal year, NACT is undertaking efforts to further improve its management and the maintenance of its equipment and facilities.

平成20年度使用団体一覧

団体名：社団法人 創元会
 展覧会名：第67回創元展
 会期／日数：4月2日(水)～4月14日(月)／12日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D
 入場者数：21,675人



団体名：現代日本書家協会
 展覧会名：第24回全国公募書道展
 会期／日数：4月16日(水)～4月29日(火)／13日
 展示室：3A
 入場者数：5,338人



団体名：社団法人 示現会
 展覧会名：第61回示現会展
 会期／日数：4月2日(水)～4月14日(月)／12日
 展示室：2A, 2B, 2C, 2D
 入場者数：18,921人



団体名：国画会
 展覧会名：第82回国展
 会期／日数：5月1日(木)～5月12日(月)／11日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
 3A, 3B, 野外展示場A, B, C, D
 入場者数：73,312人



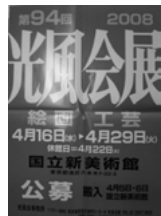
団体名：水彩連盟
 展覧会名：第67回水彩連盟展
 会期／日数：4月2日(水)～4月14日(月)／12日
 展示室：3A, 3B
 入場者数：15,446人



団体名：社団法人 日本新工芸家連盟
 展覧会名：第30回日本新工芸展
 会期／日数：5月14日(水)～5月25日(日)／11日
 展示室：3A, 3B
 入場者数：8,811人



団体名：社団法人 光風会
 展覧会名：第94回光風会展
 会期／日数：4月16日(水)～4月29日(火)／13日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D
 入場者数：20,932人



団体名：社団法人 太平洋美術会
 展覧会名：第104回太平洋展
 会期／日数：5月14日(水)～5月26日(月)／12日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D
 入場者数：18,037人



団体名：社団法人 春陽会
 展覧会名：第85回春陽展
 会期／日数：4月16日(水)～4月29日(火)／13日
 展示室：2A, 2B, 2C, 2D, 3B
 入場者数：27,279人



団体名：三軌会
 展覧会名：第60回記念三軌展
 会期／日数：5月14日(水)～5月26日(月)／12日
 展示室：2A, 2B, 2C, 2D
 入場者数：15,414人



団体名：現代美術家協会
展覧会名：第64回現展
会期/日数：5月28日(水)～6月9日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 1C
入場者数：9, 119人



団体名：書象会
展覧会名：第47回書象展
会期/日数：6月12日(木)～6月22日(日)/10日
展示室：2C, 2D
入場者数：9, 769人



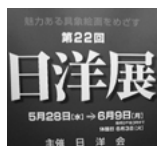
団体名：第一美術協会
展覧会名：第79回第一美術展
会期/日数：5月28日(水)～6月9日(月)/12日
展示室：1D, 2C, 2D
入場者数：16, 795人



団体名：日本教育書道藝術院
展覧会名：第28回日本教育書道藝術院同人書作展
会期/日数：6月25日(水)～7月6日(日)/11日
展示室：2C, 2D
入場者数：6, 000人



団体名：日洋会
展覧会名：第22回日洋展
会期/日数：5月28日(水)～6月9日(月)/12日
展示室：2A, 2B, 3A, 3B
入場者数：20, 210人



団体名：財団法人 陶芸文化振興財団
展覧会名：全国公募2008陶芸財団展
会期/日数：6月25日(水)～7月6日(日)/11日
展示室：3B
入場者数：8, 270人



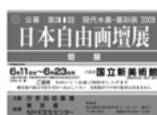
団体名：日本水墨院
展覧会名：公募第23回日本水墨院展
会期/日数：6月11日(水)～6月22日(日)/11日
展示室：3A
入場者数：17, 548人



団体名：アート未来
展覧会名：2008・13th国際公募アート未来展
会期/日数：6月25日(水)～7月7日(月)/12日
展示室：1A, 野外展示場A
入場者数：12, 649人



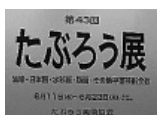
団体名：日本自由画壇
展覧会名：第34回日本自由画壇展
会期/日数：6月11日(水)～6月23日(月)/12日
展示室：2A, 2B
入場者数：18, 418人



団体名：秋耕会
展覧会名：第33回秋耕展
会期/日数：6月25日(水)～7月7日(月)/12日
展示室：1B
入場者数：10, 730人



団体名：たぶろう美術協会
展覧会名：第43回たぶろう展
会期/日数：6月11日(水)～6月23日(月)/12日
展示室：3B
入場者数：11, 241人



団体名：蒼騎会
展覧会名：第48回蒼騎展
会期/日数：6月25日(水)～7月7日(月)/12日
展示室：1C, 1D
入場者数：12, 507人



団体名：財団法人 全国書美術振興会
展覧会名：第36回「日本の書展」東京展
会期/日数：6月12日(木)～6月22日(日)/10日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：12, 788人



団体名：財団法人 日本余暇文化振興会
楽習フォーラム アートクレイ倶楽部
展覧会名：銀粘土でつくるシルバーアクセサリー
コンテスト 2008
会期/日数：6月25日(水)～7月7日(月)/12日
展示室：2A
入場者数：5, 423人



団体名：有限責任中間法人 国際墨画会
展覧会名：第8回国際公募国際墨画会展
会期/日数：6月25日(水)～7月7日(月)/12日
展示室：2B
入場者数：9,578人



団体名：社団法人 二科会
展覧会名：第93回二科展
会期/日数：9月3日(水)～9月15日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
3A, 3B, 野外展示場A,B,C,D
入場者数：146,233人



団体名：社団法人 日本彫刻会
展覧会名：第38回日彫展
会期/日数：6月25日(水)～7月7日(月)/12日
展示室：3A
入場者数：8,538人



団体名：新制作協会
展覧会名：第72回新制作展
会期/日数：9月17日(水)～9月29日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A, 3B,
野外展示場A,B
入場者数：22,264人



団体名：財団法人 毎日書道会
展覧会名：第60回毎日書道展
会期/日数：7月9日(水)～8月3日(日)/23日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
3A, 3B
入場者数：71,264人



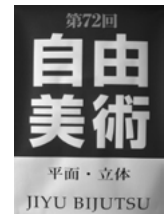
団体名：行動美術協会
展覧会名：第63回行動展
会期/日数：9月17日(水)～9月29日(月)/12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C,D
入場者数：16,802人



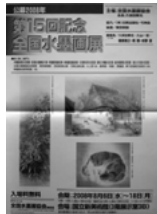
団体名：貞香会
展覧会名：第43回貞香書展
会期/日数：8月6日(水)～8月18日(月)/12日
展示室：3A
入場者数：7,268人



団体名：自由美術協会
展覧会名：第72回自由美術展
会期/日数：10月1日(水)～10月13日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 野外展示場A,B
入場者数：10,096人



団体名：全国水墨画協会
展覧会名：第15回記念全国水墨画展
会期/日数：8月6日(水)～8月18日(月)/12日
展示室：3B
入場者数：7,698人



団体名：一陽会
展覧会名：第54回一陽展
会期/日数：10月1日(水)～10月13日(月)/12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C,D
入場者数：15,218人



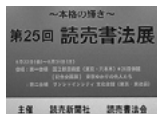
団体名：財団法人 日本通信美術学園
展覧会名：日美展(第13回総合水墨画展・
第9回日美絵画展)
会期/日数：8月7日(木)～8月16日(土)/9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：28,812人



団体名：一期会
展覧会名：第43回一期展
会期/日数：10月1日(水)～10月13日(月)/12日
展示室：3A, 3B
入場者数：17,362人



団体名：読売書法会
展覧会名：第25回読売書法展 東京展
会期/日数：8月22日(金)～8月31日(日)/9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
3A, 3B
入場者数：23,593人



団体名：独立美術協会
展覧会名：第76回独立展
会期/日数：10月15日(水)～10月27日(月)/12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A
入場者数：20,341人



団体名：社団法人 二紀会
 展覧会名：第62回二紀展
 会期/日数：10月15日(水)～10月27日(月)/12日
 展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 3B,
 野外展示場C,D
 入場者数：33,780人



団体名：土日会
 展覧会名：第33回土日会展
 会期/日数：12月10日(水)～12月23日(火)/13日
 展示室：3A
 入場者数：6,499人



団体名：AJAC
 展覧会名：Go ahead! AJAC
 第2回 AJAC野外展
 会期/日数：10月30日(木)～11月9日(日)/10日
 展示室：野外展示場A, B
 入場者数：2,535人



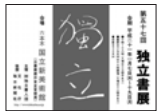
団体名：日本表象美術協会
 展覧会名：第35周年記念展日象展
 会期/日数：12月10日(水)～12月23日(火)/13日
 展示室：3B
 入場者数：6,354人



団体名：社団法人 日展
 展覧会名：第40回日展
 会期/日数：10月31日(金)～12月7日(日)/33日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
 2E, 3A, 3B
 入場者数：175,465人



団体名：財団法人 独立書人団
 展覧会名：第57回独立書展
 会期/日数：1月7日(水)～1月19日(月)/12日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
 3A, 3B
 入場者数：15,115人



団体名：雪舟国際美術協会
 展覧会名：第15回雪舟国際美術協会展
 会期/日数：12月10日(水)～12月22日(月)/12日
 展示室：1A, 1B
 入場者数：9,737人



団体名：特定非営利活動法人 平泉会
 展覧会名：第21回平泉展 ～楽しい手作り～
 会期/日数：1月21日(水)～2月2日(月)/12日
 展示室：1A
 入場者数：10,669人



団体名：有限会社 全日本書芸文化院
 展覧会名：第37回全書芸展
 会期/日数：12月10日(水)～12月22日(月)/12日
 展示室：2B, 2C, 2D
 入場者数：8,325人



団体名：国際書画連盟
 展覧会名：第31回国際書画展
 会期/日数：1月21日(水)～2月2日(月)/12日
 展示室：1B, 1C, 1D
 入場者数：8,602人



団体名：白峰社
 展覧会名：第26回白峰社書展
 会期/日数：12月10日(水)～12月23日(火)/13日
 展示室：1C, 1D
 入場者数：9,988人



団体名：亜細亜太平洋水墨画会
 展覧会名：アジア創造美術展
 会期/日数：1月21日(水)～2月2日(月)/12日
 展示室：2A
 入場者数：3,167人



団体名：特定非営利活動法人 国際架橋書会
 展覧会名：第21回国際架橋書展
 会期/日数：12月10日(水)～12月23日(火)/13日
 展示室：2A
 入場者数：4,658人



団体名：産経国際書会
 展覧会名：第25回産経国際書展(新春展)
 会期/日数：1月21日(水)～2月2日(月)/12日
 展示室：2B, 2C, 2D
 入場者数：4,996人



団体名：Heart Art Communication
 展覧会名：Heart Art in TOKYO 2009
 第12回エイズチャリティー美術展
 会期/日数：1月22日(木)～2月2日(月)/11日
 展示室：3A, 3B
 入場者数：4,338人



団体名：日本書作院
 展覧会名：第49回日本書作院展
 会期/日数：2月5日(木)～2月16日(月)/11日
 展示室：2B, 2C, 2D
 入場者数：16,574人



団体名：立軌会
 展覧会名：第61回立軌展
 会期/日数：2月4日(水)～2月16日(月)/12日
 展示室：1A
 入場者数：11,234人



団体名：学校法人専門学校 東洋美術学校
 展覧会名：第60回東洋美術学校卒業制作展
 会期/日数：2月18日(水)～3月1日(日)/11日
 展示室：3A
 入場者数：6,654人



団体名：新槐樹社
 展覧会名：第53回新槐樹社展
 会期/日数：2月4日(水)～2月16日(月)/12日
 展示室：1C, 1D
 入場者数：8,449人



団体名：現日会
 展覧会名：第49回現日選抜書展
 会期/日数：2月18日(水)～3月2日(月)/12日
 展示室：3B
 入場者数：4,622人



団体名：あきつ会
 展覧会名：第34回あきつ会書道展
 会期/日数：2月4日(水)～2月16日(月)/12日
 展示室：2A
 入場者数：4,303人



団体名：東京五美術大学連合卒業・修了制作展
 展覧会名：平成20年度第32回東京五美術大学連合卒業・修了制作展
 会期/日数：2月19日(木)～3月1日(日)/10日
 展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D,
 野外展示場A, B, C
 入場者数：58,522人



団体名：美術団体 等迎会
 展覧会名：第41回等迎展
 会期/日数：2月4日(水)～2月16日(月)/12日
 展示室：3A
 入場者数：3,193人



団体名：全国水墨画美術協会
 展覧会名：第33回全日本水墨画秀作展
 会期/日数：3月4日(水)～3月15日(日)/11日
 展示室：3A, 3B
 入場者数：6,558人



団体名：社団法人 日本中国水墨交流協会
 展覧会名：第26回日本中国水墨画合同展
 会期/日数：2月4日(水)～2月16日(月)/12日
 展示室：3B
 入場者数：5,933人



団体名：汎美術協会
 展覧会名：2009汎美展
 会期/日数：3月4日(水)～3月16日(月)/12日
 展示室：1A
 入場者数：6,482人



団体名：全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会
 展覧会名：第18回全日本アートサロン絵画大賞展
 会期/日数：2月5日(木)～2月16日(月)/11日
 展示室：1B
 入場者数：3,737人



団体名：社団法人 創玄書道会
 展覧会名：第45回記念創玄展
 会期/日数：3月5日(木)～3月15日(日)/10日
 展示室：1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
 入場者数：16,932人



団体名：社団法人 日本南画院
展覧会名：公募第49回日本南画院展
会期／日数：3月18日(水)～3月29日(日)／11日
展示室：3A, 3B
入場者数：25,759人



団体名：白日会
展覧会名：第85回記念白日会展
会期／日数：3月18日(水)～3月30日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：14,079人



団体名：日本美術会
展覧会名：第62回日本アンデパンダン展
会期／日数：3月18日(水)～3月30日(月)／12日
展示室：2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：10,789人



入場者数合計 1,309,747人

公募展開催に関わる取り組み

●平成20年度使用団体実績

使用団体：69団体

●平成22年度使用団体の決定

決定時期：6月

決定団体：69団体

●平成23年度使用団体の募集

募集時期：2月1日～2月28日

●使用団体等への支援

「展示室等利用の手引き」「公募展備品カタログ」の修正・追加等を行った。また、ホームページに、開催中の公募団体等の展覧会のポスターを掲載し、使用団体等の展覧会開催支援を行った。

●展覧会観覧者への情報提供

定期的に公募展開催案内チラシを作成・配布、併せてホームページで展覧会開催の情報を提供した。

公募展開催案内：年5回発行、A4判(297×210mm)、各20,000部

●企画展との相互割引の導入

自主企画展(『アーティスト・ファイル2008』展、『アヴァンギャルド・チャイナ』展、『アーティスト・ファイル2009』展)及び共催展(『モディリアーニ展』、『エミリー・ウングワレー展』、『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展、『巨匠ピカソ』展、『DOMANI・明日展』、『加山又造展』、『ルーヴル美術館展』)において、公募展の観覧券持参者に対する割引観覧を行った。また、自主企画展及び共催展の観覧券持参者に対する公募展における割引又は無料観覧の協力を依頼し、実施に努め、相互割引制度の体制を図った。

●平成19年度使用団体に対するアンケートの実施

平成19年度に会場提供した69団体に対し、展覧会開催に際しての具体的な取り組み等や当館に対する意見・要望を把握し、今後の管理運営等の参考とするために平成20(2008)年4月3日～25日の期間実施した。調査項目は入場者数、応募人数、陳列点数、教育普及活動、国内外の美術界との連携活動、美術鑑賞以外の活動、その他新たな取り組み、要望や意見で、69団体中59団体から回答を得た。

教育普及事業に対する公募団体等との連携

●『第82回国展』

「第2回国展トークイン ―作家の目 作者の心―」

主催：国画会、国立新美術館

日時：5月6日(火)

会場：国立新美術館 第82回国展会場

参加者数：300人

●『第40回日展』

主催：社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：11月1日(土)、2日(日)、3日(月)、8日(土)、24日(月)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：848人(全5回)

・映像による作品解説

開催日：11月1日(土)、2日(日)、3日(月)、8日(土)、24日(月)、29日(土)、30日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,964人(全11回)

・親子鑑賞教室

開催日：11月9日(日)、16日(日)、23日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：140組362人(全15教室)

・らくらく鑑賞会

開催日：11月10日(月)、17日(月)、12月1日(月)

会場：国立新美術館 研修室他

参加者数：43人(全3回)



5月6日



11月16日

4

教育普及

Education and Public Programs

4-1 講演会等

Lectures, etc.

4-2 ワークショップ

Workshops

4-3 インターン、ボランティア

Internships and Volunteering

4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

来館者の作品鑑賞の充実とサポートを目的に、展覧会に合わせた講演会やアーティスト・トークなどを開催したほか、無料の鑑賞ガイドブックを作成・配布した。また、美術に触れ、美術に親しむ機会を提供するために、子どもから大人まで幅広い層を対象にワークショップやイベントを実施した。さらに、インターンや学生ボランティアの受け入れを継続的に行い、美術館活動への理解の促進や人材育成を図った。

In order to help visitors fully appreciate the works of art displayed at NACT, lectures, artist talks, and other educational programs were held in conjunction with exhibitions, and guidebooks on appreciating the featured works were published and distributed free of charge. In addition, in order to provide opportunities to experience and enjoy art, workshops and events were held to popularize art among a broad segment of the public, including children. Furthermore, the museum continued to accept interns and student volunteers with the intention of promoting understanding of the Center's activities and developing human resources.

4-1 講演会等 Lectures, etc.

展覧会関連企画

『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』

●アーティスト・トーク「私のロマンティズム」

日時：4月6日(日)14時～16時

講演：祐成政徳(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：65人

●アーティスト・トーク

日時：4月26日(土)14時～16時

講演：白井美穂(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：60人



4月26日

『モディリアアーニ展』

●日経WagaMagaフォーラム

シリーズ第9回～フランス文化—映画・美術～

「名作映画の『モディリアアーニ』 VS 芸術の革新者『モディリアアーニ』」

日時：4月20日(日)13時～16時

・13時～14時50分 映画上映「モンパルナスの灯」

・15時～16時 対談 野崎敏(フランス文学者、映画評論家)

港千尋(写真家、多摩美術大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：218人

『エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家』

●アートフォーラム

「インポッシブル・モダニスト “The Impossible Modernist”」

日時：6月1日(日)10時～13時

講演：サリー・バトラー(クィーンズランド大学講師)、クリストファー・ホッジズ(アーティスト、ユートピア・アート・シドニー ディレクター)、マーゴ・ニール(オーストラリア国立博物館シニアキュレーター)、建畠哲(国立国際美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：100人

●トークショー「天才の謎 エミリーの世界 “The Enigma of Emily”」

日時：6月1日(日)15時～17時

出演：サリー・バトラー(クィーンズランド大学講師)、クリストファー・ホッジズ(アーティスト、ユートピア・アート・シドニー ディレクター)、石井竜也(アーティスト)、北川フラム(アートディレクター)、マーゴ・ニール(オーストラリア国立博物館シニアキュレーター)、建畠哲(国立国際美術館長)、

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：260人

『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』

●講演会「ヨーロッパの静物画」

日時：7月5日(土)14時～16時

講演：カール・シュッツ(ウィーン美術史美術館副館長・絵画部長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●講演会「静物画の深い魅力『静止する時間・回帰する時間』」

日時：7月19日(土)14時～16時

講演：木島俊介(共立女子大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●講演会「知られざる静物画の魅力」

日時：8月16日(土)14時～16時

講演：宮下規久朗(神戸大学大学院准教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：150人

『アヴァンギャルド・チャイナ—中国当代美術二十年—』

●アーティスト・トーク「自作を語る」

日時：8月20日(水)14時～15時30分

講演：孫原・彭禹(出品作家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：45人

●アーティスト・トーク「新刻度小組の活動について」

日時：8月22日(金)17時～18時30分

講演：顧徳新、王魯炎、陳少平(いずれも元・新刻度小組メンバー、出品作家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：33人

●シンポジウム

日時：8月23日(土)13時～16時

・基調講演「中国現代美術、激動の30年」

高名潞(ピッツバーグ大学美術史・建築史学部教授、四川美術学院

高名潞現代芸術研究所所長)

・シンポジウム「中国現代美術の今とこれから」

高名潞(ピッツバーグ大学美術史・建築史学部教授、四川美術学院

高名潞現代芸術研究所所長)、牧陽一(埼玉大学教授)、建畠哲(国立

国際美術館長)

司会進行：平井章一(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：64人

●担当研究員による解説会

日時：9月15日(月)14時～15時

解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：47人

●担当研究員による解説会

日時：10月11日(土)14時～15時

解説：平井章一(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：30人



10月11日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』

●トークショー「私にとってのピカソ」

日時：10月5日(日)14時～15時30分

出演：佐藤可士和(アートディレクター、SAMURAI代表)

コメンテーター：南雄介(学芸課主任研究員)

聞き手：高橋真紀子(テレビ朝日アナウンサー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：180人

●講演会「天才ピカソの変貌—スペイン・地中海・女たちへ—」

日時：10月11日(土)14時～15時30分

講演：大高保二郎(早稲田大学文学学術院教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：104人

●シンポジウム「ピカソ—今日の展望—」

日時：11月15日(土)14時～16時

出演：林道郎(上智大学教授)、田中正之(武蔵野美術大学准教授)、河本真理(京都造形芸術大学准教授)、松浦寿夫(東京外国語大学教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：182人

『加山又造展』

●記念講演会「加山又造—その芸術の変遷」

日時：1月31日(土)14時～15時30分

講演：尾崎正明(東京国立近代美術館特任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：190人

●関連トーク「父 又造の仕事の周辺から」

日時：2月8日(日)14時～15時30分

出演：加山哲也、加山英利子、加山文子

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：249人

『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』

●アーティスト・トーク

日時：3月7日(土)14時～16時

講演：ペーター・ボーゲルス、平川滋子(出品作家)

会場：国立新美術館 研修室A, B

参加者数：45人

●アーティスト・トーク

日時：3月28日(土)20時～21時

講演：村井進吾、宮永愛子(出品作家)

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：488人

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』

●講演会「ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち 記念講演会」

日時：3月25日(水)14時～15時30分

講演：ギユメット・アンドルー＝ラノエ(ルーヴル美術館古代エジプト美術部長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：110人

共催企画等

●『第82回国展』関連イベント

「第2回国展トークイン ―作家の目 作者の心―」

主催：国画会、国立新美術館

日時：5月6日(火)

会場：国立新美術館 第82回国展会場

参加者数：300人

●ミナ ヘルホネンとデザイン プログラム1

講演会「アーカイブと未来のデザイン」

日時：5月18日(日)10時30分～12時

講演：皆川明(ミナ ヘルホネン デザイナー)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：235人

●連続セミナー「建築・都市・アートの視点から考える環境」

主催：日本設計、国立新美術館

会場：国立新美術館 講堂

・第1回「文化と環境の持続可能性」

日時：8月29日(金)17時30分～19時30分

講演：村上周三(建築研究所理事長、建築環境・省エネルギー機構理事長、慶應義塾大学教授)

参加者数：196人

・第2回「21世紀の都市の形と暮らし」

日時：9月5日(金)17時30分～19時30分

講演：大野秀敏(建築家、都市デザイナー)

参加者数：234人

・第3回「アートが環境問題に取組む可能性とは」

日時：9月19日(金)17時30分～19時30分

講演：南條史生(森美術館館長、CIMAM(国際美術館会議)理事、AICA(美術評論家連盟)会員、慶應義塾大学非常勤講師)

参加者数：203人

・第4回「地球環境から探る21世紀型建築と都市」

日時：10月2日(木)15時30分～17時30分

講演：安井至(東京大学名誉教授、国際連合大学名誉副学長、科学技術振興機構研究開発戦略センター上席フェロー)

参加者数：184人

●マイケル・シェリダン氏講演会「デンマークの建築とデザイン」

主催：フリッツ・ハンセン、国立新美術館

日時：9月11日(木)16時～18時「アルネ・ヤコブセン」

9月12日(金)18時～20時「ポール・ケアホルム」

講演：マイケル・シェリダン(建築家、『ポール・ケアホルム展』(2006年、ルイジアナ近代美術館)監修者)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：11日266人、12日237人



5月18日



9月11日

●ICAF(Inter College Animation Festival)2008

主催：インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル実行委員会
共催：国立新美術館、日本アニメーション協会(JAA)、日本アニメーション学会(JSAS)

協賛：アドビ システムズ 株式会社、オートデスク株式会社、日本
ヒューレット・パッカード株式会社、マイクロソフト株式会社、
ジェネオンエンタテインメント株式会社、株式会社プロダク
ション・アイジー、ブーク人形劇場

参加校：多摩美術大学、東京工芸大学、東京造形大学、武蔵野美術大
学他

協力：韓国・PISAF(プチョン国際学生アニメーション・フェスティバ
ル)組織委員会、Les e・magiciens、Chambre de commerce et
d'industrie de Valenciennes、オフィスH

・作品上映

会期：9月25日(木)～28日(日)

会場：国立新美術館 講堂

・基調対談「押井守はかく語りき！～アニメーションを学ぶということ」

日時：9月25日(木)15時30分～17時30分

出演：押井守(映画監督)、木船徳光(ICAF2008フェスティバルディ
レクター、東京造形大学准教授、アニメーション作家)

会場：国立新美術館 講堂

・シンポジウム

「中島信也吼える！～今注目のアニメーション作家3人を迎えて」

日時：9月28日(日)12時～14時30分

出演：中島信也(CMディレクター)、加藤久仁生(ICAF2002出品作
家)、森田修平(ICAF2002出品作家)、田中紫紋(ICAF2003出
品作家)、片山雅博(ICAF代表実行委員、多摩美術大学教授、
日本アニメーション協会理事・事務局長、アニメーション作
家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,947人(4日間合計)

●日仏交流150周年記念 クリスチャン・ボルタンスキー講演会

「ボルタンスキー 人生と芸術を語る

—La vie possible de Christian Boltanski—」

主催：国立新美術館

協力：フランス大使館

日時：10月19日(日)14時～16時

講演：クリスチャン・ボルタンスキー(美術家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：242人

●『第40回日展』関連イベント

主催：社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：11月1日(土)、2日(日)、3日(月)、8日(土)、24日(月)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：848人(全5回)

・映像による作品解説

開催日：11月1日(土)、2日(日)、3日(月)、8日(土)、24日(月)、
29日(土)、30日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,964人(全11回)

・親子鑑賞教室

開催日：11月9日(日)、16日(日)、23日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：140組362人(全15教室)

・らくらく鑑賞会

開催日：11月10日(月)、17日(月)、12月1日(月)

会場：国立新美術館 研修室他

参加者数：43人(全3回)



10月19日

●にっぽんらいふデザインプロジェクト

主催：にっぽんらいふデザインプロジェクト実行委員会、国立新美術館

・講演第1回「木とデジタル—その融合—」

日時：11月7日(金)13時30分～15時

講演：原島博(東京大学教授)、苗村健(東京大学准教授)、鈴木康広
(東京大学先端科学技術センター)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：35人

・講演第2回「日本の伝統文化とモダン」

日時：11月14日(金)17時30分～19時

講演：若林広幸(建築家)、蜷川有紀(女優、画家、映画監督)、近藤
高弘(造形美術家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：43人

・関連展示

会期：11月5日(水)～17日(月)

会場：国立新美術館 2階ホワイエ

●国立新美術館・政策研究大学院大学共催特別セミナー

「ルーブル美術館の経済評価分析～『伝統的』ミュージアムから『創造的』ミュージアムへ」

主催：政策研究大学院大学、国立新美術館

日時：3月4日(水)16時～17時30分

会場：国立新美術館 研修室

参加者数：38名

4-2 ワークショップ Workshops

●『モディリアアーニ展』ワークショップ

・「仮面(マスク)を作ろう！」

日時：4月3日(木)10時～13時

講師：塩野麻里(明星大学造形芸術学部造形芸術学科准教授)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：小学校高学年

参加者数：16人

・「仮面(マスク)を作ろう！」

日時：4月3日(木)14時30分～17時30分

講師：塩野麻里(明星大学造形芸術学部造形芸術学科准教授)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：小学校低学年

参加者数：20人

●『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』

アーティスト・ワークショップ「空想の場所をつくってみよう」

日時：4月12日(土)13時～16時30分

講師：さわひらき(『アーティスト・ファイル2008』展出品作家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：8～15歳

参加者数：12人

●ミナペルホネンとデザイン プログラム2

ワークショップ「ミナペルホネンでつくる未来生活」

日時：5月18日(日)13時30分～17時

講師：皆川明(ミナペルホネン デザイナー)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：子どもから大人まで

参加者数：20人

ワークショップ記録写真スライドショーを、館内3階のディスプレイで上映。



5月18日

●『エミリー・ウングワレー展』関連企画
ワークショップ「体験！ディジュリドゥ」
日時：6月22日(日) 11時～13時15分／15時～17時15分
講師：哲J(ディジュリドゥ奏者)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム
対象：小学生以上
参加者数：24人／31人



7月6日

●『エミリー・ウングワレー展』関連企画
「鑑賞ワークショップ～ことばで楽しむエミリー展～」
日時：7月6日(日)15時～17時
講師：白鳥健二
会場：国立新美術館 企画展示室2E他
対象：一般
参加者数：22人

●夏休みワークショップ
「アイスベキモノたち～発見！おもしろデザイン！～」
日時：8月24日(日)10時～14時30分
講師：清水久和(インダストリアルデザイナー、SFTギャラリー出品作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生以上の親子
参加者数：8組21人



9月28日

●「デザインってなんだろう?? ～やってみよう！イスのデザイン～」
日時：9月28日(日)13時～17時
講師：紺野弘通(プロダクト・デザイナー)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生
参加者数：29人
ワークショップ記録写真スライドショーを、館内3階のディスプレイで上映。

●「六本木をつづる～散策を“手紙”にたくして～」
日時：12月21日(日)10時30分～16時
講師：秋山さやか(美術作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生以上
参加者数：20人
ワークショップ記録写真スライドショーを、館内3階のディスプレイで上映。



12月21日

●「作ろう！オリジナル・モビール」
日時：2月14日(日)13時～17時
講師：藤城成貴(プロダクト・デザイナー)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：一般(中学生以上)
参加者数：22人

●『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』
アーティスト・ワークショップ
「ミニチュア・ムシワールド～虫からみた世界をつくろう～」
日時：3月8日(日)13時30分～16時30分
講師：大平實(『アーティスト・ファイル2009』展出品作家)
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他
対象：小学生
参加者数：17人

4-3 インターン、ボランティア

Internships and Volunteering

インターン

美術館事業に関心のある若手研究者や大学院生に、実践的な研究や活動の場を提供し、人材育成を図るためのインターンシップを引き続き行った。平成20年度は7人を受け入れた。

熊本晃順／篠田怜美／杉浦央子／杉田このみ／沼下桂子／平田樹里／アリーネ・ララ・ヘゼンデ

サポート・スタッフ

美術館の活動に関心を持つ学生にボランティアによる活動支援を呼びかけ、実務体験の機会を提供するサポート・スタッフ制度を引き続き実施し、ボランティアの受け入れを行った。

平成20年度サポート・スタッフ 70人

4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

●国立新美術館ガイドブック『アートのとびらVol.3』

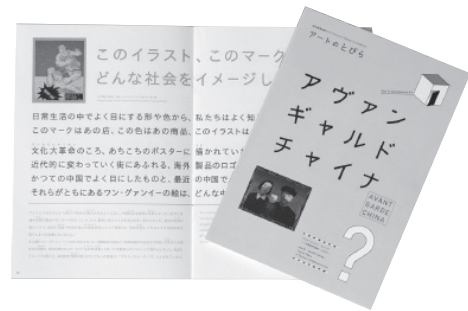
作品鑑賞の充実を図るため、『アヴァンギャルド・チャイナ〈中国当代美術〉二十年一』の開催に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞ガイドブックを作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成20(2008)年8月20日発行、A5判、16ページ、図版カラー7点、30,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘、鳥居茜

デザイン：田中竜介、川上恵莉子



●『ちいさなアーティスト・ファイル2009』

作品鑑賞の充実とサポートを目的に、『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』の開催に合わせて、小学校高学年以上を対象とした鑑賞用ツールを作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成21(2009)年3月4日発行、A5判、四つ折、図版カラー9点、27,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘

デザイン：梯耕治



●「夏休みこどもたんけんツアー2008～美術館のひみつをさがそう!～」
小学校3～6年生の児童を対象として、美術館のバックヤードを紹介するツアーを実施した。

日時：7月31日(木)、8月8日(金)、15日(金)、21日(木)、29日(金)
参加者数：62人(全5回)

●鑑賞ガイダンス

学生・生徒・児童を対象に、作品鑑賞前に展示会のレクチャーを行った。

参加：14団体 376人

●施設ガイダンス

学生・生徒・児童を対象に、国立新美術館の建築や施設などを紹介する施設ガイダンスを行った。

参加：9団体 188人

●美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

全国の小・中学校等の教員と美術館の学芸員等を対象に、美術館を活用した鑑賞教育の充実と、学校と美術館との連携を図ることを目的とした指導者研修を行った。

主催：独立行政法人国立美術館

日時：7月28日(月)～30日(水)

会場：東京国立近代美術館(28日)、国立新美術館(29日、30日)

参加者数：131人

●SFTギャラリーへの企画協力

より多くの方がアートやデザインに触れる機会を設けるとともに、アーティストやデザイナーを支援し、発表の場を提供することを目的に、館内地下1階にあるSFTギャラリーへの展示企画の協力を行った。



8月21日

5

情報資料収集・提供

Collection and Provision of the Library
and Information Services

5-1 美術関連資料の収集と公開

Collection and Provision of the
Library and Materials

5-2 JACプロジェクト

JAC Project

5-3 展覧会情報の収集と提供

Collection and Provision of the
Information Services

ホームページを通じて国立新美術館に関する基本情報を国内外に発信するとともに、全国の展覧会情報を収集し、ホームページ内に設けた検索システム「アートコモンズ」や館内で提供した。

美術資料については、引き続き日本の展覧会カタログの網羅的収集に努め、今年度、単館としては日本最大の所蔵館となった。また、美術に関する図書、特に近現代美術、デザイン、建築を中心とした図書を収集した。収集にあたっては、関係機関、全国の美術館、博物館、個人から、展覧会カタログ、図書、雑誌等の寄贈を受けた。これら資料は、ライブラリーを通じて一般の利用に供するとともに、1969年以前の古い展覧会カタログ、紀要・年報、貴重資料については、別館1階特別資料閲覧コーナーで利用に供した。一方、当館が刊行した企画展カタログ等の印刷物を、全国約400箇所、海外約100箇所の美術館、博物館、大学図書館等関係機関に送付した。

「JACプロジェクト」(全国から寄贈いただいた日本の美術に関する展覧会カタログを、海外の美術研究機関4箇所に送付する事業)については、海外の研究者に対し、日本での展覧会活動と日本美術研究の成果を紹介するだけでなく、先方からも「JAC II プロジェクト」として海外での日本の美術に関する展覧会カタログの寄贈を受けた。また、2月に平井情報資料室長、白鳥研究補佐員がハイデルベルグ大学ほか関係機関を訪問し、今後のヨーロッパでのJACプロジェクトの展開について意見交換を行った。

In the past year, in order to reach potential visitors within and outside of Japan, the National Art Center made efforts to impart information on all kinds of activities through its website. The Center has also been gathering information on temporary exhibitions held in Japan; accumulated information is made accessible to the public on-site and online through a searchable database, "Art Commons".

With respect to the development of the library collection, the Center has become the largest repository of exhibition-related publications, while sustaining ongoing endeavors to maintain a comprehensive collection. We have also been developing the library collection in the fields of modern and contemporary art, design, and architecture. The library acquisitions have been generously supported by books and periodicals donated from museums, individuals, and pertinent organizations. All of these materials have been made accessible to the public via the Art Library, with the exception of pre-1969 exhibition catalogs, bulletins, annual reports, and fragile materials which have been accessible by appointment at the reading room located on the first floor of the Annex. The Center has also distributed its 2008 publications to 400 national and 100 international museums and university libraries.

As to the Japan Art Catalog (JAC) Project (i.e. The project to collect exhibition-related publications published in Japan and to distribute them to 4 partner institutions overseas.), the Center has not only contributed Japanese publications to international researchers, but also received catalogs of exhibitions on Japanese art that were published overseas from the U.S. partners. In February, HIRAI Shoichi, Chief, Information and Library Services, and SHIRATORI Mariko, Research Associate, have visited University of Heidelberg and other institutions to exchange ideas about the future development of the JAC Project in Europe.

5 - 1 美術関連資料の収集と公開

Collection and Provision of the Library Materials

美術関連資料の収集

●収集方針

日本で開催された展覧会のカタログの網羅的収集を目指す。また、図書については、都内の既存国立美術館のライブラリー蔵書との重複を避け、特に近現代美術、デザイン、建築、メディアアートに関するものを積極的に収集する。

●受贈 以下の方々から特に大口の寄贈を受けた(順不同)

岡村勇夫氏(展覧会カタログ501冊)、高橋亨氏(展覧会カタログ979冊、図書120冊、雑誌165冊ほか)、西澤恭子氏(展覧会カタログ821冊、図書71冊)、国際交流基金ローマ日本文化会館(展覧会カタログ270冊)

●所蔵資料数

図書・カタログ登録冊数

		図書		カタログ		合計冊数	
和書	購入	9,173	(1,094)	571	(263)	9,744	(1,357)
	受贈	9,632	(1,636)	53,421	(10,393)	63,053	(12,029)
	小計	18,805	(2,730)	53,992	(10,656)	72,797	(13,386)
洋書	購入	3,046	(417)	1,625	(241)	4,671	(658)
	受贈	1,894	(589)	3,955	(1,681)	5,849	(2,270)
	小計	4,940	(1,006)	5,580	(1,922)	10,520	(2,928)
計	23,745	(3,736)	59,572	(12,578)	83,317	(16,314)	

※()内は平成20年度増加冊数

逐次刊行物登録タイトル数

和雑誌	洋雑誌	年報・紀要類
873	118	570

※雑誌の中にはマイクロ資料、AV資料、ニュースレターを含む

美術関連資料の公開

1. アートライブラリー (3 階)

●利用統計

	開室日数	入室者数	閉架書庫出納冊数	コピー枚数
平成20(2008)年 4月	25	5,680	329	1,293
5月	27	8,932	432	2,054
6月	26	5,432	304	1,631
7月	26	6,222	398	1,490
8月	27	5,741	559	1,979
9月	25	5,037	583	3,737
10月	27	3,987	379	1,710
11月	26	5,398	530	2,010
12月	20	3,462	272	1,183
平成21(2009)年 1月	22	2,350	516	1,937
2月	24	4,103	308	1,041
3月	26	2,971	385	1,345
合計	301	59,315	4,995	21,410

●利用時間

開室時間：11時～18時

休室日：毎週火曜日(祝日又は休日に当たる場合は開室し、翌日休室)、
年末年始、特別整理期間

●アートライブラリー内所蔵資料紹介コーナー「話のたね」

- ・『「ターナー賞」受賞者関連資料』平成20(2008)年 5月29日～8月4日
- ・「美術館へ行こう！～資料でめぐる美術館～」8月5日～10月14日
- ・「六本木周辺の建物」10月15日～12月26日
- ・「情報資料室インターン生 活動紹介：ANZA「フォトアーカイブと展覧会カタログ 調査」平成21(2009)年 1月7日～3月2日
- ・「新進作家を紹介するシリーズの展覧会～全国の国公立美術館による」3月4日～

2. 特別資料閲覧コーナー (別館 1 階)

●利用統計

開室日数：99日

利用者数：10人

●特別資料閲覧の対象となっている資料

1969年以前に国内で刊行された展覧会カタログ：2,416冊
国内の美術館・博物館の年報・紀要：570タイトル
すでに終刊した日本の美術雑誌：186タイトル
痛みがひどく取り扱いに注意を要する資料：38冊
マイクロ資料：83タイトル

●利用時間

事前予約制

開室日時：毎週木曜日・金曜日、13時～17時

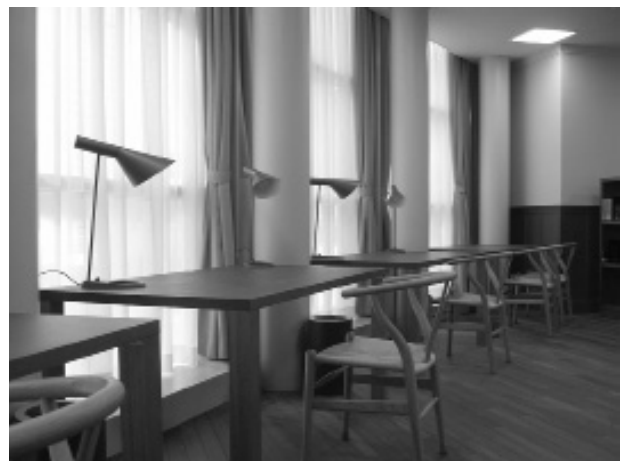
(木・金曜日が祝日又は休日に当たる場合、及び年末年始は休室)

3. 資料の貸し出し

- ・『財団法人啓明會創立十年記念展覧會圖録』、『工藝』100号、『工藝』106号／「沖繩・プリズム 1872-2008」展／平成20(2008)年10月31日～12月21日／東京国立近代美術館
- ・『MAVO染織圖案集』／「あら、尖端的ね。一大正末・昭和初期の都市文化と商業美術」展／平成21(2009)2月14日～3月29日／岡崎市美術博物館

4. 「書架のあいだから」(国立新美術館ニュース)

- ・「資料にみる美術団体連合展」『国立新美術館ニュース』No. 6(4月)
／橋川英規



- ・「雑誌・新聞記事から国立新美術館を知る」『国立新美術館ニュース』No. 7 (7月)／奥村嘉子
- ・「〈展覧会カタログの網羅的収集〉をめぐる活動の報告」『国立新美術館ニュース』No. 8 (10月)／カ丸彩子
- ・「展覧会後の印刷物」『国立新美術館ニュース』No. 9 (1月)／高橋麻衣子

5-2 JACプロジェクト

JAC Project

●送付先

フリーア美術館／アーサー・M.サックラー美術館図書室(スミソニアン協会)
 コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
 ハイデルベルク大学東洋美術史研究所図書室
 シドニー大学フィッシャー図書館

●送付資料数：2,258冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	フリーア	919
	コロンビア	457
	ハイデルベルク	418
	シドニー	464

●「JACⅡプロジェクト」による受入資料数：154冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	北米日本研究資料調整協議会	75
	フリーア	65
	コロンビア	14
	ハイデルベルク	0
	シドニー	0

●関連機関の訪問

平成21(2009)年2月17日～25日に、平井情報資料室長、白鳥研究補佐員が以下の機関を訪問し、JACプロジェクトのヨーロッパでの今後の展開について意見交換を行った。

- ・ハイデルベルク大学東洋美術史研究所(ドイツ)
- ・ライデン大学人文学部地域研究研究所(オランダ)
- ・セインズベリー日本藝術研究所(イギリス)



5-3 展覧会情報の収集と提供

Collection and Provision of the Information Services

アートコモンズ(展覧会情報検索システム)

平成20(2008)年度には全国の美術館、博物館、美術団体、画廊等(701館)の展覧会情報2,429件を収集、平成13(2001)年1月から平成21(2009)年2月までの展覧会情報15,057件を「アートコモンズ」に登録し、インターネットで提供した。

展覧会チラシ、ポスターの収集と展覧会情報提供

全国の美術館や博物館、美術団体、画廊などから送付される広報物、展覧会チラシやポスターの一部を、館内複数個所に設けたポスターやチラシの掲示、配付場所で掲示、配付し、来館者への情報提供を行った。



6

広報・出版

Publicity and Publications

6-1 印刷物

Publications

6-2 ホームページ

Website

6-3 広報活動

Publicity Activities

6-1 印刷物 Publications

カタログ Catalogue

●『エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家』

展覧会カタログ

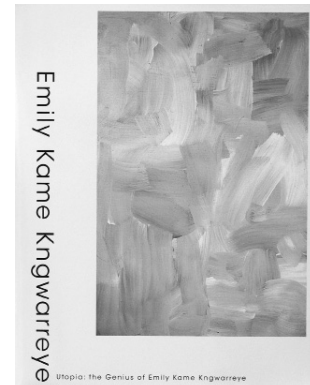
A4判、256ページ、図版カラー132点・白黒4点、21,000部(先行巡回会場分を含む)

編集：ベニータ・タンクス、ソーニャ・バラガ、中井康之、西野華子、加藤絢、読売新聞東京本社文化事業部

執筆：マーゴ・ニール、トニー・エルウッド、建畠哲、中井康之、西野華子

翻訳：クリストファー・スティヴンズ、橋本啓子、西野華子、加藤絢
デザイン・制作：美術出版デザインセンター 垣本正哉、森重智子、野坂牧子

発行：読売新聞東京本社



●『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展覧会カタログ

平成20年(2008)年7月2日発行、A4変型(286×230mm)、208ページ、図版カラー134点・白黒41点、6,500部

編集：国立新美術館、宮城県美術館、兵庫県立美術館、青森県立美術館、東京新聞

デザイン：馬面俊之

制作：アイメックス・ファインアート

発行：東京新聞



カタログドイツ語版：『Stillleben aus der Gemäldegalerie des Kunsthistorischen Museums Wien』

A4変型(280×225mm)、56ページ、図版白黒11点、300部

●『アヴァンギャルド・チャイナ—中国当代美術二十年—』

展覧会カタログ

平成20年(2008)年8月20日発行、A4変型(245×225mm)、186ページ、図版カラー93点・白黒12点、9,150部(巡回会場分も含む。当館の使用分4,000部)

編集：中井康之、平芳幸浩、平井章一、長屋光枝、柏木聖子、阿部真弓、古田浩俊、中村史子

テキスト：建畠哲、費大為、平芳幸浩、古田浩俊、中井康之、平井章一、長屋光枝

用語解説：中村史子

文献目録：阿部真弓

年表：柏木聖子

和文英訳：ギャヴィン・フルー、スタンレー N. アンダーソン、クリストファー・スティヴンズ、石木友幸、武知学、奈良葉子

中国語和訳：秋山珠子

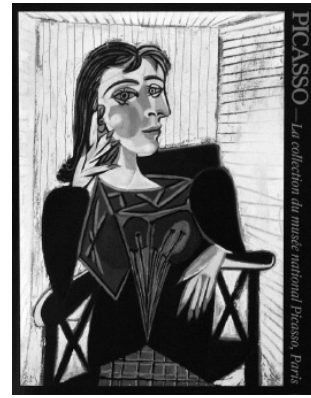
中国語英訳：マヤ・コブスカヤ

デザイン：豊永政史

発行：国立国際美術館、国立新美術館、愛知県美術館、国際交流基金



●『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡／魂のポートレート』展覧会カタログ
 平成20年(2008)年10月4日発行、A4変型(290×227mm)、365ページ、
 図版カラー249点・白黒23点、30,000部
 総監修：アンヌ・バルダサリ(パリ国立ピカソ美術館館長)
 編集：国立新美術館 南雄介、宮島綾子、久保田恭子、桧垣暁子、
 サントリー美術館 富田章(サントリーミュージアム[天保山]
 学芸部長)、土田ルリ子(サントリー美術館学芸員)、
 朝日新聞社事業本部文化事業部
 翻訳監修：大高保二郎(早稲田大学文学学術院教授)
 翻訳：久保田恭子、町田つかさ(早稲田大学大学院文学研究科博士後
 期過程)、松田健児(上智大学講師)、松原典子(上智大学外国
 語学部准教授)、南雄介、米田尚輝(日本学術振興会特別研究
 員)、カトリーヌ・アンスロ
 制作：印象社
 発行：朝日新聞社



●『加山又造展』展覧会カタログ
 平成21年(2009)年1月21日発行、A4変型(250×250mm)、202ページ、
 図版カラー109点・白黒25点、16,500部
 編集：国立新美術館、高松市美術館、日本経済新聞社文化事業部
 翻訳：小川紀久子
 制作・デザイン：美術出版社 石塚肇、川添英昭
 発行：日本経済新聞社



●『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』展覧会カタログ
 ※本カタログは9冊の作家ファイルとイントロダクションによって
 構成されている
 「イントロダクション」
 「ファイル009 ペーター・ボーゲルス」
 「ファイル010 平川滋子」
 「ファイル011 石川直樹」
 「ファイル012 金田実生」
 「ファイル013 宮永愛子」
 「ファイル014 村井進吾」
 「ファイル015 大平實」
 「ファイル016 齋藤芽生」
 「ファイル017 津上みゆき」
 平成21年(2009)年3月4日発行、10分冊、A4変型(280×210mm)、
 箱付き(295×218×40mm)、4,000部
 作家ファイル各32ページ・イントロダクション4ページ(計292ページ)、
 図版カラー331点・白黒55点
 編集：国立新美術館 福永治、本橋弥生、加藤絢
 執筆：福永治、南雄介、平井章一、本橋弥生、加藤絢
 翻訳：クリストファー・スティヴンズ
 デザイン：梯耕治
 発行：国立新美術館



●『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』記録集
 「展覧会ドキュメント」
 平成21(2009)年3月31日発行、A4変型(280×210mm)、48ページ、
 図版カラー27点・白黒19点、2,000部
 編集：国立新美術館 福永治、本橋弥生、加藤絢
 写真：安齊重男、上野則宏
 デザイン：梯耕治
 発行：国立新美術館

●『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』
 平成21年(2009)年3月25日発行、A4変型(298×228mm)、280ページ、
 図版カラー272点・白黒77点、20,000部

エッセイ：ギユメット・アンドルー＝ラノエ(ルーヴル美術館古代
 エジプト美術部長)、ソフィー・クリュザン(ルーヴル美術館
 古代オリエント美術部門学芸員)、アンリ・クリエ(ルーヴル
 美術館古代ギリシャ・エトルリア・ローマ美術部門主任学芸
 員)、エリザベト・アントワヌ(ルーヴル美術館美術工芸品
 部門学芸員)、カトリーヌ・ロワゼル(ルーヴル美術館素描・版
 画部門主任学芸員)、ギレム・シェルフ(ルーヴル美術館彫刻
 部門主任学芸員)、ヴァンサン・ポマレード(ルーヴル美術館
 絵画部長)、大野芳材(青山学院女子短期大学教授)、宮島綾子

資料編集協力：田中佳

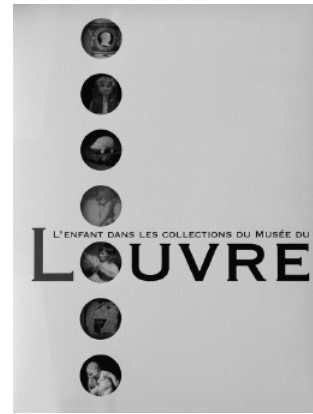
翻訳：阿部真弓、芳賀京子(東北大学准教授)、中島惠、大野芳材、
 田中佳、矢野陽子、小川カミーユ

編集：国立新美術館、朝日新聞社事業本部文化事業部

デザイン：梯耕治

制作：印象社

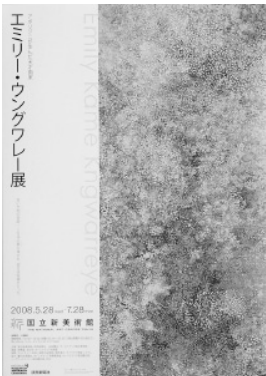
発行：朝日新聞社



ポスター、チラシ Poster and Flier

●『エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家』

ポスター



B1判(1030×728mm)、750部
 他 B2判、11,000部
 B3判、17,000部

チラシ



A4判(297×210mm)、420,000部
 他 先行配布；A4判、250,000部

デザイン：飯田京子(アトリエ・
 ケイ・ディー)

●『アヴァンギャルド・チャイナ—中国当代美術二十年—』

ポスター



B1判(1030×728mm)、1,500部
 他 B3判、4,000部
 B3変型(インターサイズ)、
 1,500部

チラシ



A4判(297×210mm)、100,000部

デザイン：梯耕治

●『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』

ポスター



B1判(1030×728mm)、700部
 他 B2判、2,500部
 B3判、8,000部

チラシ



A4判(297×210mm)、200,000部
 他 先行配布；A4判、340,000部

デザイン：田中久子

●『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡／魂のポートレート』

ポスター



B1判(1030×728mm)、460部
 他 B2判、500部
 B3判、1,170部
 B3変型(インターサイズ)、
 3,960部

チラシ

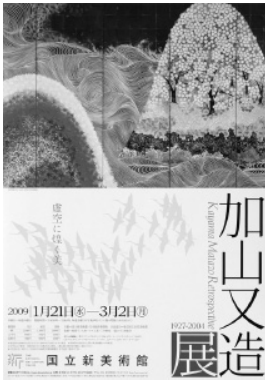


A4判(297×210mm)、400,000部
 他 仕上りB5判、展開サイズ256
 ×728mm、経本折(サントリー
 美術館と共通)、40,000部
 先行配布；仕上りA4判、展開
 サイズ510×420mm、四つ折
 (サントリー美術館と共通)、
 260,000部

デザイン：大溝裕(Glanz)

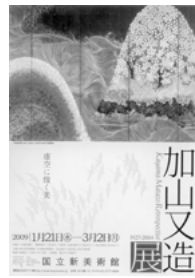
●『加山又造展』

ポスター



B 1 判(1030×728 mm)、250部
他 B 2 判、9,300部

チラシ



A 4 判(297×210 mm)、322,000部

デザイン：梯耕治

●『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』

ポスター



B 1 判(1030×728 mm)、950部



B 3 判、3,000部

デザイン：梯耕治



B 3 変型(インターサイズ)、
1,000部

チラシ



A 4 判(297×210 mm)、100,000部

●『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』

ポスター



B 1 判(1030×728 mm)、170部

他 B 0 判、24部

B 1 判(6種)、各30部

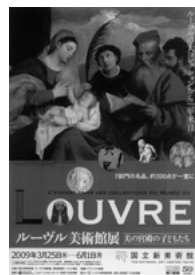
B 2 判、500部

B 3 判まど上・中吊り、3,270部

B 3 変型(インターサイズ)、

3,000部

チラシ



A 4 判(297×210 mm)、300,000部

他 先行配布；A 4 判、200,000部

デザイン：梯耕治

フロアガイド、スケジュール類 Floor Guide, Exhibition Schedule, etc.

●国立新美術館アートライブラリー

仕上り210×100 mm、巻三つ折、30,000部、英語版；10,000部



●JAPAN ART CATALOG プロジェクト

仕上り210×100 mm、巻三つ折、5,000部、英語版；20,000部



●国立新美術館展覧会スケジュール 2008.4 - 9

仕上り210×100 mm、巻三つ折、50,000部



●国立新美術館展覧会スケジュール 2008.10 - 2009.3

仕上り210×100 mm、巻三つ折、150,000部



●国立新美術館施設概要

A4判(297×210 mm)、12ページ、中国語版；2,000部
表紙デザイン：佐藤可士和



美術館ニュース Newsletter

●国立新美術館 美術館ニュース No.6
平成20(2008)年4月30日発行、A4判(297×210 mm)、8ページ、
5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

●国立新美術館 美術館ニュース No.7
平成20(2008)年7月31日発行、A4判(297×210 mm)、8ページ、
5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

●国立新美術館 美術館ニュース No.8
平成20(2008)年10月31日発行、A4判(297×210 mm)、8ページ、
5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

●国立新美術館 美術館ニュース No.9
平成21(2009)年1月30日発行、A4判(297×210 mm)、8ページ、
5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和



年報 Annual Report

●平成19年度 国立新美術館 年報
平成20(2008)年5月23日発行、A4判(297×210 mm)、156ページ、
800部
表紙デザイン：佐藤可士和



ガイドブックその他 Guide Book, etc.

●国立新美術館ガイドブック『アートのとびら Vol. 3』
平成20(2008)年8月20日発行、A5判(210×148 mm)、16ページ、図版
カラー7点、30,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：吉澤菜摘、鳥居茜
デザイン：田中竜介、川上恵莉子



●『ちいさなアーティスト・ファイル2009』
平成21(2009)年3月4日発行、仕上りA5判(210×148 mm)、四つ折、
図版カラー9点、27,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：吉澤菜摘
デザイン：梯耕治



6-2 ホームページ Website

平成20年度においても、国立新美術館ホームページは利用者にわかりやすく情報を伝えることを目指して変化を続けている。9月以降の公募展に関する情報発信の強化(ポスター画像の表示)やメニュー構成の見直しなどを行った。また、11月からはより適時性の高い更新を行うために運用の外部委託を行った。引き続き、より良い情報発信の場となるべく、平成21年度の運用開始を予定している新ホームページの制作を行っている。

Fiscal 2008 saw ongoing changes to the NACT website aimed at communicating information to users in an easy-to-understand format. Revisions included more active publicizing of exhibitions of artist associations starting from September (specifically, displaying images of the exhibitions' posters), as well as a review of the website's navigation. In order to allow for more timely updating, the administration of the website was outsourced in November. Moreover, we are continuing our efforts to provide an even better venue for information dissemination through the development of our new website, which is scheduled to go online in fiscal 2009.

総アクセス数(閲覧されたページ数) : 8, 288, 090件

うち、英語ページ:193, 583件

ドイツ語ページ: 5, 028件

スペイン語ページ: 4, 209件

フランス語ページ: 4, 849件

韓国語ページ: 6, 601件

中国語ページ: 7, 702件



6-3 広報活動 Publicity Activities

国立新美術館を周知するための活動として、メディア各社へ向けて展覧会やイベントの情報を発信した。また、取材対応、展覧会プレスリリースの配信、記者発表会に加え、今年度は展覧会の広報を目的とした、雑誌社との共同イベント企画を実現し、幅広い層への認知度の向上を図った。

NACT kept the media informed about exhibitions, related events, and other activities designed to make the Center better known among various media organizations. In addition to dealing with requests from the press, distributing press releases, and holding press conferences, in fiscal 2008 NACT carried out an event in collaboration with a magazine publisher aimed at publicizing the Center's special exhibitions, thereby increasing our visibility among broad range of fields.

平成20年度掲載記事、放映 Media Publicity April 2008 - March 2009

美術館の紹介及び自主企画展に関する記事を、下記に抽出した。

新聞

No. 紙名	発行	発行日	内容
1 産経新聞	産業経済新聞社	4月14日	『アーティスト・ファイル2008』展
2 東京新聞	中日新聞東京本社	4月24日	『アーティスト・ファイル2008』展
3 朝日新聞 夕刊	朝日新聞社	4月26日	『アーティスト・ファイル2008』展
4 新美術新聞	美術年鑑社	5月21日	アトライブラリー、平井主任研究員インタビュー
5 朝日新聞	朝日新聞社	5月22日	教育普及活動、西野研究員インタビュー
6 朝日新聞	朝日新聞社	8月20日	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
7 朝日新聞	朝日新聞社	8月23日	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
8 読売新聞	読売新聞社	9月10日	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
9 毎日新聞	毎日新聞社	9月17日	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
10 日本経済新聞	日本経済新聞社	9月29日	『アヴァンギャルド・チャイナ』展

他 86件(当館把握件数)

雑誌

No. 誌名	発行	発売号	内容
1 美術手帖	美術出版社	5月号	『アーティスト・ファイル2008』展、白井美穂氏(出品作家)インタビュー
2 Casa BRUTUS	マガジンハウス	5月号	美術館紹介
3 TOKYO1 週間	講談社	5月20日号	『アーティスト・ファイル2008』展、『モディリアーニ展』、レストラン
4 OZmagazine	スターツ出版	7月号	美術館紹介、『アーティスト・ファイル2008』展、『エミリー・ウングワレー展』、ミュージアムショップ
5 Real Design	権出版	9月号	『エミリー・ウングワレー展』、『アヴァンギャルド・チャイナ』展、美術館紹介、ミュージアムショップ、レストラン、カフェ(3ヶ所)
6 Weekly ぴあ	ぴあ	8月28日号	『アヴァンギャルド・チャイナ』展、『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展
7 marie claire	アシェット婦人画報社	10月号	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
8 Pen	阪急コミュニケーションズ	9月15日号	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
9 芸術新潮	新潮社	10月号	『アヴァンギャルド・チャイナ』展、『巨匠ピカソ』展
10 ART iT	アートイット	No.21	美術館紹介
11 日経キッズプラス	日経BP社	3月号	『アーティスト・ファイル2009』展
12 美術の窓	生活の友社	3月号	『アーティスト・ファイル2009』展
13 装苑	文化出版局	4月号	『アーティスト・ファイル2009』展、石川直樹氏(出品作家)インタビュー
他 178件(当館把握件数)			

テレビ

No. 放映番組名	放送局	放映日	内容
1 めざせ!会社の星	NHK 名古屋放送	7月26日	佐藤可士和氏、ロゴ
2 レールに乗って	信越放送(TBS系列)	8月23日	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
3 とくダネ!	フジテレビ	8月26日	黒川紀章氏特集
4 いっつ365	イッツ・コミュニケーションズ	9月4日	『アヴァンギャルド・チャイナ』展
5 はなまるマーケット	TBS	11月28日	六本木アート・トライアングル
他 13件(当館把握件数)			

ラジオ

No. 放送番組名	放送局	放送日	内容
1 Canon presents 「PHOTO WEEKEND」	エフエム東京	4月19日	美術館紹介、『アーティスト・ファイル2008』展
2 MORNING SESSION	J-WAVE	10月28日	『巨匠ピカソ』展南主任研究員インタビュー
3 Suntory Saturday Waiting Bar "AVANTI"	エフエム東京	11月1日	福永副館長インタビュー
4 TOYOTA Drive Your Dreams THE HIDDEN STORY	J-WAVE	11月21日	三木特任研究員インタビュー
5 BOOM TOWN	J-WAVE	3月10日	『アーティスト・ファイル2009』展

その他、フリーペーパー、WEB等の掲載 193件(当館把握件数)

六本木アート・トライアングル

六本木に三角形を描くように位置する、国立新美術館、サントリー美術館、森美術館の3館は、芸術・文化の発展と地域の活性化を目指し、「六本木アート・トライアングル」としてさまざまな連携を図っている。平成20年度は展覧会観覧料の相互割引「あとり割」や、「六本木アート・トライアングルMap + Calendar」の配布を行った。

●六本木アート・トライアングルMap + Calendar 2008. 4-9

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館

平成20(2008)年4月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折

●六本木アート・トライアングルMap + Calendar 2008.10-2009. 3

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館

平成20(2008)年10月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折



福永治 FUKUNAGA Osamu

【執筆】・「金田実生」、「村井進吾」、「大平實」/『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』展覧会カタログ/3月/国立新美術館
・「研究員レポート 美術館の活動と役割」/『国立新美術館ニュース』No.6(4月)/国立新美術館
【講演等】・「天才の謎 エミリーの世界」/『エミリー・ウングワレー展』トークショー(司会)/6月1日/国立新美術館
・「日豪アート交流フォーラム」/6月15日~17日/オーストラリア・カウンシル(シドニー)他
【海外出張】・オーストラリア/6月13日~19日/「日豪アート交流フォーラム」参加並びに国際美術展(第16回シドニー・ビエンナーレ)の調査のため

南雄介 MINAMI Yusuke

【執筆】・「アーティスト・ファイル2008」展の関連イベントについて/『国立新美術館ニュース』No.6(4月)/国立新美術館
・「研究員レポート ルーヴルのヤン・ファールブル変容の天使」/『国立新美術館ニュース』No.7(7月)/国立新美術館
・「中沢研の絵画」/『中沢研展』展覧会カタログ/7月/アンドーギャラリー
・「巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡—2 1925-1934」/『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡/魂のポートレート』展覧会カタログ/10月/朝日新聞社
・「巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡/魂のポートレート」/『新美術新聞』10月21日/美術年鑑社
・「強力な光のイメージ—和田賢一の絵画」/『和田賢一作品集』/2月/和田賢一展および作品集刊行実行委員会
・「平川滋子 光合成の木」、[巻末資料(略歴・展覧会歴・主要文献)]平川滋子/『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』展覧会カタログ/3月/国立新美術館
【翻訳】・アンヌ・バルダサリ「ピカソ、あるべき場所で」/『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡/魂のポートレート』展覧会カタログ/10月/朝日新聞社
【講演等】・「ピカソの芸術について」/11月4日/青山学院女子短期大学
・「巨匠ピカソ」/丸の内アートトーク 展覧会を語るvol.2/10月31日/丸の内カフェ
【海外出張】・スペイン、フランス、イギリス/4月14日~24日/『巨匠ピカソ』展出品作品調査ならびに打ち合わせ、その他企画展、作家等の調査
・ドイツ、フランス、オランダ/1月16日~29日/『シュルレアリスム』展、『マン・レイ』展、『光 松本陽子/野口里佳』展、『アーティスト・ファイル2009』展に関する調査ならびに打ち合わせ、その他の企画展に関する調査

平井章一 HIRAI Shoichi

【執筆】・「追悼 巨星逝く、欧州を驚愕させた白髪一雄」/『アートコレクション』No.9/6月/生活の友社
・「追悼・白髪一雄「具体」メンバーでアクション・ペインター 白髪一雄氏が逝去」/『美術手帖』第60巻 第908号/6月/美術出版社
・「中国現代美術における身体表現」/『アヴァンギャルド・チャイナ—(中国当代美術)二十年—』展覧会カタログ/8月/国立新美術館、国立国際美術館、愛知県美術館、国際交流基金
・「美術史跡をめぐる」/『国立新美術館ニュース』No.8(10月)/国立新美術館
・「情報の宝庫!展覧会カタログを愉しむ」/『文部科学時報』1595号/10月/株式会社ぎょうせい
・「ペーター・ボーゲルス」/『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』展覧会カタログ/3月/国立新美術館
・「1930年代の大阪におけるヨーロッパ前衛絵画の受容と展開—石丸

一と吉原治良を中心に—」/『昭和期美術展覧会の研究 戦前篇』/3月31日/中央公論美術出版

【講演等】・『アヴァンギャルド・チャイナ—(中国当代美術)二十年—』展担当研究員による解説会/10月11日/国立新美術館
【海外出張】・ポーランド/12月11日~18日/アダム・ミツケヴィッチ研究所の招聘によるポーランド国内の美術館、画廊等、現代美術関連施設の調査
・ドイツ、オランダ、イギリス/2月17日~25日/JACプロジェクトのヨーロッパ提携機関の視察およびヨーロッパでの今後の展開についての関係機関との協議

長屋光枝 NAGAYA Mitsue

【執筆】・「作家解説」[張培力][馬六明][楊振中][楊福東]、[各論]「中国現代アートの転換期とビデオ・アート」/『アヴァンギャルド・チャイナ—(中国当代美術)二十年—』展覧会カタログ/8月/国立新美術館、国立国際美術館、愛知県美術館、国際交流基金
・「風能奈々」/『VOCA展2009—新しい平面の作家たち』/3月/上野の森美術館
【講演等】・『アヴァンギャルド・チャイナ—(中国当代美術)二十年—』展担当研究員による解説会/9月15日/国立新美術館

宮島綾子 MIYAJIMA Ayako

【執筆】・「モディリアーニのキャリアティッド」/『国立新美術館ニュース』No.6(4月)/国立新美術館
・「章解説」[巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡—1 1904-1923] /『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡/魂のポートレート』展覧会カタログ/10月/朝日新聞社
・「幼いプッソーをめぐって—プッサン、デュケノワからブーシェへ」/『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』展覧会カタログ/3月/朝日新聞社
【海外出張】・オーストリア/5月11日~18日/平成21年度企画展『THE ハプスブルク』出品作品の調査のため
・フランス、イギリス/6月29日~7月6日/『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』事前協議および出品作品調査、その他の企画展に関する調査のため

西野華子 NISHINO Hanako

【執筆】・「国立新美術館」(「美術館は楽しい」)/『レター』/5月/日本私立学校振興・共済事業団
・「エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家」/『美術の窓』/6月/生活の友社
・「エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家」/『新美術新聞』6月21日/美術年鑑社
・「エミリー・ウングワレー展」/『人間会議』/6月/宣伝会議
・「エミリーの作品が問いかけるもの—アート・フォーラム『インボッシブル・モダニスト』をふりかえって—」/『国立新美術館ニュース』No.7(7月)/国立新美術館
・「エミリー・ウングワレー展—大地への畏敬の念と自然の恵みへの感謝」/『読売ウィークリー』7月13日/読売新聞社
・「エミリー・ウングワレー展—故郷の大地と結びついた最後の『重要な作品』」/『読売ウィークリー』7月27日/読売新聞社
・「加山又造 屏風絵から工芸、デザインへ」、[作品解説]4点/『加山又造展』展覧会カタログ/1月/日本経済新聞社
・「加山又造展」/『芸術新潮』/1月/新潮社
・「加山又造展」/『新美術新聞』2月11日/美術年鑑社
【海外出張】・フランス/6月2日~8日/欧米における美術館運営に関する調査のため

本橋弥生 MOTOHASHI-MÄKI-MANTILA Yayoi

【執筆】・「フィンランドの美術」／百瀬宏、石野裕子編『フィンランドを知るための44章』／7月／明石書店
・「ウィーン美術史美術館所蔵『静物画の秘密』展」(小林明子研究補佐員と共著)／『美術の窓』／7月／生活の友社
・「『静物画の秘密』展」(小林明子研究補佐員と共著)／『国立新美術館ニュース』No.7(7月)／国立新美術館
・「ギャラリートーク【に組】 向かい合い、何を想う」(報告書レポート)／『平成20年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修』／11月／独立行政法人国立美術館
・「であいつながりはじまり」, 「齋藤芽生」, [巻末資料(略歴・展覧会歴・主要文献)]ペーター・ボーゲルス、金田芽生、宮永愛子、大平實、齋藤芽生／『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館

室屋泰三 MUROYA Taizo

【執筆】・「絵画画像における色配置のフラクタル性に着目した複雑さの計量」／日本色彩学会誌(Vol.32, Supplement)／5月／日本色彩学会
・「絵画における画面上の色変化の複雑さの情報量に着目した計量」／カラーフォーラムJAPAN2008論文集／11月／光学四学会幹事会
【研究発表】・「絵画画像における色配置のフラクタル性に着目した複雑さの計量」／日本色彩学会第39回全国大会、日本色彩学会／5月17、18日／福岡工業大学
・「絵画における画面上の色変化の複雑さの情報量に着目した計量」／カラーフォーラムJAPAN2008／11月26、27日／工学院大学

三木哲夫(特任研究員) MIKI Tetsuo(Special Projects Curator)

【執筆分担】・「田中恭吉」[日本創作版画協会][日本版画協会][裕伊の助]／国際版画学会編『浮世絵辞典』／8月／東京堂出版

小林光夫(客員研究員) KOBAYASI Mituo(Visiting Fellow)

【執筆】・「La culture traditionnelle japonaise de la Couleur—Esthétique de la couleur dans la mode traditionnelle japonaise」／9ème Académie d'Eté de la Couleur, proceedings／7月／Association《Couleur & Vie》
・「絵画における画面上の色変化の複雑さの情報量に着目した計量」／カラーフォーラムJAPAN2008論文集／11月／光学四学会幹事会
【研究発表】・「連続スペクトルをもつ色からメタメリックブラックを分離する手法について」／日本色彩学会第39回全国大会、日本色彩学会／5月17、18日／福岡工業大学
・「絵画画像における色配置のフラクタル性に着目した複雑さの計量」／日本色彩学会第39回全国大会、日本色彩学会／5月17、18日／福岡工業大学
・「An Application of Information Theory to the Measurement of Complexity of Color Combination in Paintings」／AIC 2008 Stockholm, Interim Meeting of the International Colour Association／6月15日～18日／Hotel Rival(スウェーデン)
【海外出張】・スウェーデン／6月15日～22日／国際会議出席(AIC2008ストックホルム)
・フランス／7月23日～8月5日／会議出席, 研究資料収集(9ème Académie d'Eté de la Couleur)

8

その他の事業

Other Programs and Events

●SFTギャラリー展示一覧

- ・PUORESUMAN—プロレスマン—SHINKI Tomoyuki
新木友行
平成20(2008)年2月27日(水)～4月21日(月)
- ・minä perhonen TODAY'S ARCHIVES 本日のアーカイブ
4月23日(水)～6月30日(月)
- ・SHIMIZU Hisakazu EXHIBITION アイスベキモノたち
清水久和
7月2日(水)～9月1日(月)
- ・WASARA こころを潤す紙のうつわ
緒方慎一郎、田辺三千代
9月3日(水)～10月20日(月)
- ・お茶碗以上、井ぶり未満
イイホシユミコ、一柳京子、YENWARE、村上躍、広川絵麻、
横山拓也
10月22日(水)～12月23日(火)
- ・FRAMES FUJISHIRO Shigeki
藤城成貴
平成21(2009)年1月14日(水)～3月16日(月)
- ・セツローのものづくり
小野セツロー
3月18日(水)～4月20日(月)

●別館1階展示コーナー

昭和3(1928)年建設の旧陸軍兵舎は、「日」の字型の構造を持ち、アールデコ調のデザインを取り入れた外壁など、ビルディング・タイプのモダンな旧陸軍初の鉄筋コンクリート建築であった。国立新美術館建設に伴い、建物は解体・撤去されることとなったが、建築上の歴史的価値に鑑み、その一部が国立新美術館別館として保存されている。

別館1階の展示コーナーでは、兵舎時代の建物の写真や図面、模型、解体前の調査報告書などを公開している。

開室日：毎週木、金曜日

(木、金曜日が祝日又は休日に当たる場合、及び年末年始は休室)

開室時間：13時～17時

開室日数：98日

利用者数：2,124人

●ロビーコンサート

- ・クリスマスオペラコンサート(制作：新国立劇場)
日時：12月19日(金)17時45分～18時45分
会場：国立新美術館 1階エントランスロビー
出演：新国立劇場オペラ研修所研修生
参加者数：304人
- ・弦楽四重奏コンサート
日時：1月23日(金)17時45分～18時45分
会場：国立新美術館 1階エントランスロビー
出演：フィルハーモニア東京 ストリングクアルテット
参加者数：156人

●六本木アートナイト

主催：東京都、(財)東京都歴史文化財団、六本木アートナイト実行委員会(国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、森美術館、森ビル(株)、六本木商店街振興組合)

日時：3月28日(土)～29日(日)(コアタイム28日 日没～29日 日の出)

開催場所：国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、六本木ヒルズ、六本木地区周辺の一部公共スペースや協力施設

国立新美術館プログラム：

3月28日(土)

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』、『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』を22時まで開館延長

『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』『3つのアートキューブ』の実施

『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』スペシャルライブの実施

『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』の出品作家によるアーティスト・トークの実施

『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』の出品作家による野外での夜間映像投影の実施

参加者数：延べ約578,000人(開催場所全体)



1月23日 ロビーコンサート



3月28日 六本木アートナイト

9-1 入場者数

Number of Visitors

9-2 予算

Expenditure

9-3 企業協賛

Corporate Support

9-4 来館者サービス

Visitor Services

9-5 国際交流

International Exchanges

9-6 展覧会出品リスト

List of Works

9-7 名簿

The NACT Council and Staff List

9 - 1 入場者数 Number of Visitors

国立新美術館展覧会入場者数

年度	企画展			公募展			入場者数合計(人)	入場者数累計(人)
	展覧会数	開催日数(日)	入場者数(人)	展覧会数	開催日数(日)	入場者数(人)		
平成18	4	162	498,694	—	—	—	498,694	498,694
平成19	11	423	1,847,413	69	832	1,317,508	3,164,921	3,663,615
平成20	11	432	1,052,472	69	840	1,309,747	2,362,219	6,025,834

※平成18年度は開館(平成19年1月21日)から年度末(3月31日)までの統計である
 ※開催日数には、年度内に開催された全ての展覧会の開催日数合計を記した

9 - 2 予算 Expenditure

収入

事項	金額(単位:千円)
運営交付金	1,528,136
自己収入	537,515
合計	2,065,651

支出

事項	金額(単位:千円)
一般管理費	732,346
展示事業費	789,821
教育普及費(情報・資料事業費等を含む)	533,587
調査研究費	9,897
合計	2,065,651

※人件費は除く

9 - 3 企業協賛 Corporate Support

企業名	協賛事業
フリッツ・ハンセン	教育普及事業への協賛
東レ株式会社、三井不動産株式会社、住友化学株式会社、鹿島建物総合管理株式会社	海外に向けて美術情報を発信する活動(JACプロジェクト)への協賛
三菱商事株式会社	託児サービス事業への協賛
新日本石油株式会社	コンサート事業への協賛

9 - 4 来館者サービス Visitor Services

● 付属施設

- ・ レストラン: プラッスリー ポール・ボキューズ ミュゼ(3階)
- ・ カフェ: サロン・ド・テ ロンド(2階)
 - カフェ コキュー(1階)
 - カフェテリア カレ(地下1階)
- ・ ミュージアムショップ: スーベニア フロム トーキョー(SFT)
 - SFTギャラリー(地下1階)

● 観覧環境の整備

- ・ 多目的トイレの設置
- ・ 車椅子・ベビーカーの貸出
- ・ オストメイト(人工肛門・人工膀胱)対応トイレの設置
- ・ 身障者用駐車場の整備
- ・ 授乳室(地下1階)の整備
- ・ 補聴器等への磁気誘導無線システムを講堂に設置(専用受信機10台)
- ・ 点字ブロック、展示表示の整備
- ・ 館内ディスプレイでの展覧会や講演会等の情報表示
- ・ 海外6ヶ国語版の利用案内(仕上り220×107mm、二つ折)を配布

●託児サービス

育児支援及び来館者サービスの一環として、託児サービスを実施した。

実施期間：1期5～7月(6回)、2期9～10月(5回)
3期2月～3月(5回) 計16回

受入人数：1期52人、2期31人、3期32人
計115人(全16回)

使用施設：国立新美術館 研修室C



託児サービス

●独立行政法人国立美術館キャンパスメンバーズ

会員法人数：44法人(うち国立新美術館利用法人数；37法人)
国立新美術館利用者数：15,120人

●高校生等の観覧料無料化

・高校生又は18未満の観覧無料観覧会：

『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』

『アヴァンギャルド・チャイナ—(中国当代美術)二十年—』

『未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2008 文化庁芸術家在外研修の成果』

『アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち』

・高校生特別無料招待日を設けた観覧会

『モディリアーニ展』

『エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家』

『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』

『加山又造展』

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』

●クレジットカード及び電子マネーによる観覧券購入対応

クレジットカード：UC、MasterCard、VISA

電子マネー：Suica(スイカ)、PASMO(パスモ)、ICOCA(イコカ)

●ぐるっとパス

平成20(2008)年4月1日～平成21(2009)年3月31日の期間、東京の美術館・博物館等共通入館券「東京・ミュージアム ぐるっとパス2008」に参加した。

9-5 国際交流 International Exchanges

氏名 Name

肩書

国・地域

滞在期間・来館日

来館目的

平成20年度招聘者 Guests April 2008 – March 2009

マーゴ・ニール Margo Neale

オーストラリア国立博物館 シニア・キュレーター

オーストラリア

5月20日、24日、5月27日、6月1日

『エミリー・ウングワレー展』監修、開会式出席、アートフォーラム及び、トークショー出演

エリック・アーチャー Eric Archer

オーストラリア国立博物館 コンサヴェーション・マネジャー

オーストラリア

5月20日～24日

『エミリー・ウングワレー展』作品輸送、展示指導

キャロル・クーパー Carol Cooper

オーストラリア国立博物館 レジストレーション・マネジャー

オーストラリア

5月20日～24日

『エミリー・ウングワレー展』作品輸送、展示指導

カール・ヴィリス Carl Willis

ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア コンサヴァーター

オーストラリア

5月20日～24日

『エミリー・ウングワレー展』作品輸送、展示指導

メラニー・カーライル Melanie Carlisle

ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア コンサヴァーター

オーストラリア

5月20日～24日

『エミリー・ウングワレー展』作品輸送、展示指導

バーバラ・ウィア Barbara Weir

作家

オーストラリア

5月27日

『エミリー・ウングワレー展』開会式出席

クリストファー・ホッジズ Christopher Hodges

作家、ユートピア・アート・シドニー ディレクター

オーストラリア

5月27日、6月1日

『エミリー・ウングワレー展』開会式出席、アートフォーラム出演

サリー・バトラー Sally Butler

クィーンズランド大学講師

オーストラリア

6月1日

『エミリー・ウングワレー展』アートフォーラム出演

パトリック・バウム Patrick Baum
オーストラリア国立博物館 レジストラ
オーストラリア
7月29日～8月1日
『エミリー・ウングワレー展』作品輸送

シャロン・タウンズ Sharon Towns
オーストラリア国立博物館 コンサヴァター
オーストラリア
7月29日～8月1日
『エミリー・ウングワレー展』作品輸送

ジョン・ペイン John Payne
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア コンサヴァター
オーストラリア
7月29日～8月1日
『エミリー・ウングワレー展』作品輸送

ジェルヴェ・バトゥール Gervais Battour
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア コンサヴァター
オーストラリア
7月29日～8月1日
『エミリー・ウングワレー展』作品輸送

ジェーン・マーデン Jane Marsden
オーストラリア国立美術館 レジストラ
オーストラリア
7月29日～8月1日
『エミリー・ウングワレー展』作品輸送

エーファ・ゲッツ Eva Götz
ウィーン美術史美術館 絵画部修復工房
オーストリア
6月24日～7月6日
『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展作品輸送、展示指導

ヴァルター・ウルリッヒ Walter H. Ulrich
コーディネーター
オーストリア
6月24日～7月8日
『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展展示立ち合い

イングリット・ホプフナー Ingrid Hopfner
ウィーン美術史美術館 絵画部修復工房
オーストリア
6月26日～7月2日、9月15日～9月24日
『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展作品輸送、展示指導

ヴィルフリート・ザイベル Wilfried Seipel
ウィーン美術史美術館 館長
オーストリア
6月29日～7月3日
『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展開会式出席

カール・シュッツ Karl Schütz
ウィーン美術史美術館 副館長 絵画部長
オーストリア
6月29日～7月6日
『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展監修、開会式出席、
講演

ウーテ・ハイニシュ Ute Heinisch
ウィーン美術史美術館 絵画部修復工房
オーストリア
9月15日～9月24日
『ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密』展作品輸送、展示指導

グウェン・ビッツ Gwen Bitz
ウォーカー・アート・センター レジストラ
アメリカ
6月23日～24日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展作品輸送、作品点検

丁碩 Ding Shuo
作家アシスタント(孫原・彭禹)
中華人民共和国
8月13日～18日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展展示

張棕楊 Zhang Zongyang
作家アシスタント(孫原・彭禹)
中華人民共和国
8月13日～18日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展展示

孫原 Sun Yuan
現代美術家
中華人民共和国
8月13日～21日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展展示、講演

彭禹 Peng Yu
現代美術家
中華人民共和国
8月13日～21日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展展示、講演

徐文愷 Xu Wenkai
作家アシスタント(楊振中)
中華人民共和国
8月14日～20日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展展示

顧徳新 Gu Dexin
現代美術家
中華人民共和国
8月18日～24日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展講演

王魯炎 Wang Luyan
現代美術家
中華人民共和国
8月18日～24日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展講演

陳少平 Chen Shaoping
現代美術家
中華人民共和国
8月18日～24日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展講演

高名潞 Gao Minglu
ピッツバーグ大学美術史・建築史学部教授、四川美術学院高名潞現代
芸術研究所所長
アメリカ
8月21日～24日
『アヴァンギャルド・チャイナ』展講演

ヴェロニク・バリユ Véronique Balu
パリ国立ピカソ美術館 収蔵品管理 アシスタント
フランス
9月20日、22日～24日
『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

アナベル・テネーズ Anabelle Ténèze

パリ国立ピカソ美術館 学芸員

フランス

9月20日、22日～10月4日、12月15日～18日、21日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

ヴィルジニー・ペルドリゾ Virginie Perdrisot

パリ国立ピカソ美術館 学芸員

フランス

9月23日、24日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

ユベール・ボワスリエ Hubert Boisselier

パリ国立ピカソ美術館 レジストラール

フランス

9月24日、25日、10月1日、2日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

マリー＝クリスティヌ・エンシャイアン Marie-Christine Enchaian

国立文化財研究所 修復部門 版画・素描室長

フランス

9月24日～10月1日、12月16日～18日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

ファビアン・ドケーニュ Fabien Docaigue

パリ国立ピカソ美術館 事務局長

フランス

9月25日、27日、10月1日～3日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

クレール・ベルジョー Claire Bergeaud

絵画修復家/コンサーヴェーションコンサルタント

フランス

9月25日～10月2日、12月16日～18日、20日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

ジャンヌ・イヴェット・シュドウール Jeanne-Yvette Sudour

パリ国立ピカソ美術館 資料担当 研究員

フランス

9月26日～29日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

ヴィダル・ガリド Vidal Garrido

パリ国立ピカソ美術館 作品展示技術者

フランス

9月28日～10月2日、12月15日～19日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

アンヌ・バルダサリ Anne Baldassari

パリ国立ピカソ美術館 館長

フランス

11月10日、11日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展展示視察

ナデージュ・レイモン・クレルグ Nadège Raymond-Clergue

パリ国立ピカソ美術館 資料担当 研究員

フランス

12月16日、17日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

フランク・ベッソン Franck Besson

パリ国立ピカソ美術館 作品展示技術者

フランス

12月16日、17日、22日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

エミリー・オジェ・ベルナル Emilie Augier Bernard

パリ国立ピカソ美術館 収蔵品管理 アシスタント

フランス

12月18日、22日

『巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡』展作品輸送、展示指導

アーサー・ロジャース Arthur Rogers

セントルイス美術館 コンサヴァター

アメリカ

1月17日

『加山又造展』作品輸送、展示指導

ナンシー・ヒュー Nancy Heugh

セントルイス美術館 コンサヴァター

アメリカ

3月3日

『加山又造展』作品輸送、展示指導

平川滋子 HIRAKAWA Shigeko

現代美術家

フランス

2月13日～3月8日

『アーティスト・ファイル2009』展展示指導、講演

大平實 OHIRA Minoru

現代美術家

アメリカ

2月24日～3月9日

『アーティスト・ファイル2009』展展示指導、ワークショップ講師

ペーター・ボーゲルス Peter Bogers

現代美術家

オランダ

2月25日～3月8日

『アーティスト・ファイル2009』展展示指導、講演

アンヌ・クリエ Anne Coulié

ルーヴル美術館 古代ギリシャ・エトルリア・ローマ美術部門

主任学芸員

フランス

3月12日、16日～18日

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』作品輸送、展示指導

ファブリス・ロラン Fabrice Laurent

ルーヴル美術館 古代エジプト美術部門 レジストラール

フランス

3月12日、16日、19日、20日

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』作品輸送、展示指導

エリザベト・アントワヌ Elisabeth Antoine

ルーヴル美術館 美術工芸品部門 学芸員

フランス

3月13日、16日、17日

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』作品輸送、展示指導

カトリーヌ・ロワゼル Catherine Loisel

ルーヴル美術館 素描・版画部門 主任学芸員

フランス

3月13日、16日～18日

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』作品輸送、展示指導

アンヌ・メットタル・ブラン Anne Mettetal Brand

ルーヴル美術館 古代オリエント美術部門 レジストラール

フランス

3月16日

『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』作品輸送、展示指導

バンジャマン・クイヨ Benjamin Couilleaux
『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』コミッショナー補佐
フランス
3月16日～21日、23日～24日
『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』展示指導、開会式出席

ギレム・シェルフ Guilhem Scherf
ルーヴル美術館 彫刻部門 主任学芸員
フランス
3月17日～19日
『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』作品輸送、展示指導

ギユメット・アンドルー＝ラノエ Guillemette Andreu-Lanoë
ルーヴル美術館 古代エジプト美術部長
フランス
3月17日～21日、23日～25日
『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』展示指導、開会式出席、
講演

ジュヌヴィエーヴ・ポンジュ Geneviève Ponge
ルーヴル美術館 絵画部門 調査・資料担当
フランス
3月19日、20日
『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』作品輸送、展示指導

エルヴェ・バルバレ Hervé Barbaret
ルーヴル美術館 副館長
フランス
3月24日
『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』開会式出席

ジュリエット・アルマン Juliette Armand
ルーヴル美術館 文化局長
フランス
3月24日
『ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち』開会式出席

平成20年度来館者 Visitors April 2008-March 2009

アンドレア・ローズ Andrea Rose
ブリティッシュ・カウンシル アート・建築・デザイン部門ディレクター
イギリス
4月25日
視察

高希均 Kao Charles H.C.
遠見雑誌創立者
台湾
5月8日
視察

王力行 Wang Cora
遠見雑誌発行人・CEO
台湾
5月8日
視察

周錫璋 Chou Hiswei
台北県知事
台湾
5月8日
視察

劉忠繼 Liu Zhongji
台北県庁顧問
台湾
5月8日
視察

趙綿池 Zhao Mianchi
上海美術館 党総支書記
中華人民共和国
5月10日
視察

樊曉春 Fan Xiaochun
上海美術館 収蔵部主任助理
中華人民共和国
5月10日
視察

丁建春 Ding Jianchun
上海美術館 総務部設備組長
中華人民共和国
5月10日
視察

オリヴィエ・メレ Olivier Meslay
ルーブル・ランス分館 学術文化責任者
フランス
5月22日
林田館長表敬訪問、視察

ジェラード・ヴォーガン Gerard Vaughan
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア 館長
オーストラリア
5月27日
『エミリー・ウングワレー展』開会式出席、林田館長表敬訪問

キ・ド・ベ Ki-dong Bae
韓国博物館協会長 漢陽大学博物館 館長
韓国
6月9日
林田館長表敬訪問

チェ・ジョンホ Choe Jong-ho
韓国国立文化財大学教授
韓国
6月9日
林田館長表敬訪問

ケヴィン・ラッド Kevin Rudd
オーストラリア連邦首相
オーストラリア
6月10日
『エミリー・ウングワレー展』視察

テレーズ・レイン Thérèse Rein
オーストラリア連邦首相夫人
オーストラリア
6月10日
『エミリー・ウングワレー展』視察

バゼル山本登紀子 Tokiko Y. Bazzell
北米日本研究資料調整協議会 会長、ハワイ大学マノア校 日本研究
専門司書
アメリカ
6月24日
JACプロジェクトに関する意見交換

ヴィクトリア・ライオン・ベスター Victoria Lyon Bestor
北米日本研究資料調整協議会 専務理事
アメリカ
6月24日
JACプロジェクトに関する意見交換

吉村玲子 YOSHIMURA Reiko
国立スミソニアン研究所 フリーア美術館 アーサー・M. サックラー
美術館 図書館長
アメリカ
6月24日
JACプロジェクトに関する意見交換

野口幸生 NOGUCHI Sachie
コロンビア大学 C.V.スター東亞図書館 日本研究司書
アメリカ
6月24日
JACプロジェクトに関する意見交換

スティーヴン・スミス Stephen Smith
オーストラリア外務大臣
オーストラリア
6月26日
『エミリー・ウングワレー展』視察

ギ・コジュヴァル Guy Cogeval
オルセー美術館 館長
フランス
7月1日
林田館長表敬訪問

シルヴィオ・ベルルスコーニ Silvio Berlusconi
イタリア共和国首相
イタリア
7月6日
視察

周功鑫 Chou Kungshin
国立故宮博物院長
台湾
7月11日
林田館長表敬訪問、視察

尤曾家麗 Yau Tsang Carrie Kalai
香港特別行政区政府内政省 事務次官
中華人民共和国
7月17日
林田館長表敬訪問、視察

蘇錦成 So Kamshing
香港特別行政区政府内政省 事務次官補
中華人民共和国
7月17日
林田館長表敬訪問、視察

朱曼鈴 Chu Cathy Manling
香港特別行政区政府内政省 事務次官補
中華人民共和国
7月17日
林田館長表敬訪問、視察

ヴィクトール J.E. モッサウルト Victor J.E. Moussault
マウリッツハイス美術館 副館長
オランダ
7月18日
林田館長表敬訪問、視察

ルバート・マイヤー Rupert Myer
オーストラリア国立美術館 理事長
オーストラリア
7月20日
林田館長表敬訪問、『エミリー・ウングワレー展』視察

コランブ・ブロッセル Colombe Brossel
パリ市文化遺産担当助役
フランス
9月16日
林田館長表敬訪問

フィリップ・フー Philip Hu
セントルイス美術館 アソシエイト・キュレーター(アジア美術)
アメリカ
10月8日
『加山又造展』拝借希望作品についての話し合い、『アヴァンギャルド・
チャイナ』展鑑賞

ヨハン・クレフトナー Johann Kräftner
リヒテンシュタイン美術館 館長
オーストリア
10月15日
林田館長表敬訪問

チェ・クワンシク Choe Kwang-shik
韓国国立中央博物館 館長
韓国
11月5日
林田館長表敬訪問

ルッツ・ディヴェール Lutz Diwell
ドイツ連邦共和国連邦司法省 事務次官
ドイツ
11月5日
視察

モハメッド・ナジブ・ビン・アハマッド・ダワ
Mohamed Najib Bin Ahmad Dawa
マレーシア国立美術館 館長
マレーシア
11月27日
林田館長表敬訪問

フレデリック・ミゲルー Frédéric Migayrou
ポンピドー・センター 国立近代美術館 副館長
フランス
12月12日
林田館長表敬訪問

銭林祥 Qian Linxiang
中国美術館 副館長
中華人民共和国
12月25日
林田館長表敬訪問、視察

アブドゥルラスール・サルマン・イブラヒム
Abdul Rasoul Salman I. Ibrahim
クウェート美術協会 会長
クウェート
2月20日
林田館長表敬訪問、視察

ジル・シャザル Gilles Chazal
パリ市立ブチ・パレ美術館 館長
フランス
3月4日
視察

グザビエ・グレフ Xavier Greffe
パリ第一大学バンテオン-ソルボンヌ 教授
フランス
3月4日
国立新美術館・政策研究大学院大学共催特別セミナー講師

ユ・インチョン Yu In-chon
韓国文化体育観光部 長官
韓国
3月6日
視察

チュン・ハック・テン Ch'ng Huck Theng
マレーシア国立美術館理事会メンバー
マレーシア
3月6日
林田館長表敬訪問

他 多数

9-6 展覧会出品リスト List of Works

モディリアーニ展
出品リスト

1 ピエロの頭部 1907年頃 油彩/カンヴァス 23.5×15 cm 個人蔵	13 カリアティッド 1914年 混合技法/紙 65×50 cm 個人蔵	25 若い娘の肖像(ルイーズ) 1915年 油彩/厚紙 51×37 cm オランダ、トリトン財団
2 二つの頭部 1907年頃 油彩/カンヴァス 23.5×15 cm 個人蔵	14 カリアティッド 1914年 混合技法/新聞紙 62×43 cm 個人蔵	26 ラ・ファンテスカ(使用人の女) 1915年 油彩/カンヴァス 81×46 cm モンテ・カルロ・アート・コレクション
3 ほくろのある女の頭部 1906-1907年 油彩/カンヴァス 33×24 cm 個人蔵	15 大きな赤い胸像 1913年 油彩/厚紙 81.5×51 cm 個人蔵	27 男の頭部(詩人の肖像) 1915年頃 油彩/カンヴァス 46×38.1 cm デトロイト美術館
4 横向きの女の頭部 1907年 油彩/カンヴァス 35.5×29.5 cm 個人蔵	16 カリアティッド(習作) 1913年 油彩/厚紙 81.5×51 cm 個人蔵	28 頭の後ろで両手を組み、 長椅子に横たわる裸婦 1916年 油彩/カンヴァス 60×92 cm 個人蔵
5 帽子をかぶった裸婦 1907-1908年 油彩/カンヴァス 80.6×50.1 cm ハイファ大学付属ヘヒト博物館	17 カリアティッド 1913年 油彩/カンヴァスで裏打ちした紙 92×53 cm ニューヨーク、ジャネット& ジョナサン・ローゼン蔵	29 C.D.夫人 1916年頃 油彩/板 79.5×48.5 cm ポーラ美術館
6 モー・アブランテス 1907-1908年 油彩/カンヴァス 80.6×50.1 cm ハイファ大学付属ヘヒト博物館 * cat.no5《帽子をかぶった裸婦》 の裏面	18 カリアティッド 1914年 混合技法/紙 73.5×49.5 cm 個人蔵	30 画家マニュエル・ウンペール・ エステーヴの肖像 1916年 油彩/カンヴァス 100.2×65.5 cm メルボルン、ヴィクトリア・ ナショナル・ギャラリー
7 嘆きの裸婦 1908年 油彩/カンヴァス 81×54 cm 個人蔵	19 女の肖像 1915年 油彩/厚紙 48.5×29 cm 個人蔵	31 シャイム・スーティン 1916年 油彩/カンヴァス 100×65 cm 個人蔵
8 カリアティッド 1913年 油彩/カンヴァス、板 87.5×67 cm 愛知県美術館	20 クララ 1915年 油彩/カンヴァス 55×38 cm 個人蔵	32 トック帽をかぶったX夫人 (かつらを着けた女) 1916年 油彩/カンヴァス 81×54 cm 個人蔵
9 カリアティッド 1913-1914年 混合技法/紙 45×37.5 cm 個人蔵	21 夫婦 1915年 油彩/厚紙 45×37.5 cm ホセ・メストレ蔵	33 若い娘の肖像 1917年頃 油彩/カンヴァス 80.6×59.7 cm ロンドン、テート
10 カリアティッド 1913年 混合技法/紙 63.5×48 cm 個人蔵	22 右手で頬杖をつく ベアトリス・ヘイスティングス 1914年 混合技法/紙 42×25 cm 個人蔵	S1 タータンチェックのドレスの女 1916年 油彩/カンヴァス 92×60 cm 個人蔵
11 カリアティッド 1913-1914年 混合技法/紙 56×43 cm 個人蔵	23 赤毛の女の頭部 1915年 油彩/カンヴァス 46×38 cm トリノ市立近現代美術館	34 ハンカ・ズボロフスカ 1917年 油彩/カンヴァス 46.5×38.5 cm 個人蔵
12 カリアティッド 1914年 混合技法/紙 48×32 cm ジョエル・D・ホニッグバーグ 夫妻蔵	24 ライモンド 1915年 油彩/紙 51.5×33 cm シカゴ、アルスドルフ・ コレクション	

[凡例]
作品名
制作年
技法/材質
寸法
所蔵

36 女の肖像(通称：マリー・ローランサン) 1917年 油彩/カンヴァス 61×38 cm グレイス・V・アルドウォース・トラスト	49 赤毛の若い娘 (ジャンヌ・エビュテルヌ) 1918年 油彩/カンヴァス 46×29 cm 個人蔵	61 アニー・ビャーネ 1919年 油彩/カンヴァス 100×65 cm 個人蔵	D-12 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
37 ルニア・チェホフスカの肖像 1917年 油彩/カンヴァス 72.8×45 cm ポーラ美術館	50 ジャンヌ・エビュテルヌ 1918年 油彩/カンヴァス 47×33 cm 個人蔵	D-1 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-13 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
38 女の肖像 1917年 油彩/カンヴァス 81×54 cm 個人蔵	51 ブルゴーニュの女 1918年 油彩/カンヴァス 55×38 cm 個人蔵	D-2 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-14 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
39 若い口ロット 1917年 油彩/カンヴァス 92×60 cm 個人蔵	52 大きな帽子をかぶった ジャンヌ・エビュテルヌ 1918年 油彩/カンヴァス 55×38 cm 個人蔵	D-3 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-15 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
41 コンスタン・ルブートル 1917年 油彩/カンヴァス 92×65 cm 個人蔵	53 杖を持つレオポルト・ズボロフスキ 1918年 油彩/カンヴァス 73×50 cm 個人蔵	D-4 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-16 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
42 ピエール＝エドゥアール・バラノフスキ 1918年 油彩/カンヴァス 111×56 cm 個人蔵	54 女の肖像 1919年 油彩/格子張りの板で 裏打ちされた厚紙 66×51 cm 個人蔵	D-5 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-17 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
43 黒いドレスの女 1918年 油彩/カンヴァス 92×60 cm 個人蔵	55 ブロンドの若い娘の胸像 1919年 油彩/カンヴァス 65×46 cm 個人蔵	D-6 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-18 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
44 黒い瞳の女 1918年 油彩/カンヴァス 61×50 cm 個人蔵	56 黒い服の女 1916年 油彩/カンヴァス 79.7×52.7 cm ヒューストン、ジャネット& ポール・ホビー蔵	D-7 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-19 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
45 女の胸像(カフェ・ コンセールの歌手) 1918年 油彩/カンヴァス 61×38.5 cm 個人蔵	57 婦人像 1917年頃 油彩/カンヴァス 73×49.5 cm 個人蔵	D-8 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-20 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵
46 珊瑚の首飾りの女 (マドレーヌ・ヴェルドゥ) 1918年 油彩/カンヴァス 92.8×65.8 cm 個人蔵	58 若い婦人の肖像 1919年 油彩/カンヴァス 65×50 cm ラ・ショール＝ド＝フォン美術館 *5月24日(土)より展示	D-9 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-21 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵
47 少女の肖像(ユゲット) 1918年 油彩/カンヴァス 91.4×60.5 cm アサヒビール株式会社	59 肩をあらわにした ジャンヌ・エビュテルヌ 1919年 油彩/カンヴァス 66×47 cm 個人蔵	D-10 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-22 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵
48 レオポルト・ズボロフスキ 1918年 油彩/カンヴァス 46×27 cm 個人蔵	60 ロジェ・デュティユール 1919年 油彩/カンヴァス 100×65 cm 個人蔵	D-11 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-23 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵

D-24 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-36 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-48 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-61 美しいイギリスの女 1915年 鉛筆/紙 42.5×26.5 cm 個人蔵
D-25 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-37 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-49 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-62 パレットを手にしたベアトリス・ヘイスティングスの肖像 1915年 鉛筆/紙 32×24 cm 個人蔵
D-26 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-38 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵	D-50 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-63 後ろ向きの裸婦 1916年 鉛筆/紙 41.8×25.8 cm 個人蔵
D-27 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-39 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵	D-52 カリアティッド 1910-1912年頃 青鉛筆、黒鉛/紙 61×45.7cm フィラデルフィア美術館	D-64 口髭の男 1916年 鉛筆/紙 41.9×26 cm 個人蔵
D-28 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-40 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-53 カリアティッド 1910-1912年頃 青鉛筆/紙 40×28 cm 個人蔵	D-65 ピンクス・クレマーニュ 1916年 鉛筆/紙 26.5×20.5 cm 個人蔵
D-29 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-41 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵	D-54 前髪のある正面を向いた胸像 1910-1912年頃 鉛筆/紙 47×26 cm 個人蔵	D-66 カパッレロ 1916年 鉛筆/紙 42.2×26 cm 個人蔵
D-30 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-42 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵	D-55 左向きの横顔の頭部 1913年 鉛筆/紙 42.5×26 cm 個人蔵	D-67 ジャンヌ・エビュテルヌ 1916年 鉛筆/紙 42.5×25.5 cm 個人蔵
D-31 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵	D-43 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵	D-56 青のカリアティッド 1913年頃 青鉛筆/紙 56.5×45 cm 個人蔵	D-68 キスリングの肖像 1916-1917年 鉛筆/紙 27.9×21.6 cm 個人蔵
D-32 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-44 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-57 正面を向いた裸婦 1913年 鉛筆/紙 42.8×26.6 cm 個人蔵	D-69 ジャック・リブシッツの肖像 1917年 鉛筆/紙 35×26 cm 個人蔵
D-33 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-45 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-58 ベアトリス・ヘイスティングス 1915年 青鉛筆/紙 22×14 cm 個人蔵	D-70 ポール・ギョームの肖像 1917年 鉛筆/紙 42×25 cm 個人蔵
D-34 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-46 無題 1907年頃 鉛筆/紙 15×23.5 cm 個人蔵	D-59 ディエゴ・リベラ 1914年 青鉛筆/紙 35×23 cm 個人蔵	D-71 シャイム・スーティンの肖像 1917年 鉛筆/紙 26.9×20.6 cm 個人蔵
D-35 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-47 無題 1907年頃 鉛筆/紙 23.5×15 cm 個人蔵	D-60 ブランクーシの肖像 1914年 暗褐色のインク/クリーム色の紙 15.2×11.1 cm 個人蔵	D-72 ジャンヌ・エビュテルヌ 1917年 鉛筆/紙 43×26 cm 個人蔵

D-73
帽子をかぶった女の肖像
1917年
鉛筆/紙
42×26 cm
個人蔵

D-85
風景
1918年
鉛筆/紙
42.5×25.5 cm
個人蔵

D-74
髭のないズボロフスキの肖像
1917年
黒鉛/紙
42×26 cm
個人蔵

D-86
帽子をかぶった肖像
1918年
鉛筆/紙
47×26 cm
個人蔵

D-75
男の肖像
1918年
鉛筆/紙
32×24 cm
個人蔵

D-87
男の肖像
1918年
鉛筆/紙
50.3×32.2 cm
個人蔵

D-76
男の肖像
1918年
鉛筆/紙
48.3×30.3 cm
個人蔵

D-88
女の肖像
1918年
鉛筆/紙
43.3×25.2 cm
個人蔵

D-77
帽子をかぶった男
1918年
鉛筆/紙
41.8×25.8 cm
個人蔵

D-89
自画像
1919年
鉛筆/紙
43×26 cm
個人蔵

D-78
踊るジャンヌ・エビュテルヌ
1918年
鉛筆/紙
43.3×26.4 cm
個人蔵

D-90
肘をつく男性裸体像
1919年
鉛筆/紙
43×26 cm
個人蔵

D-79
帽子をかぶった男
1918年
鉛筆/紙
33.7×25.9 cm
個人蔵

D-91
パイプをくわえた男
1919年
鉛筆/紙
41.8×26.2 cm
個人蔵

D-80
男の肖像
1918年
鉛筆/紙
43.1×26.4 cm
個人蔵

D-92
ジャンヌ・エビュテルヌ
1919年
鉛筆/紙
48.3×30.5 cm
個人蔵

D-81
座る裸婦
1918年
鉛筆/紙
43.1×26.4 cm
個人蔵

D-93
座る女の肖像
1919年
鉛筆/紙
61×30.5 cm
個人蔵

D-82
前髪のある男
1918年
鉛筆/紙
48.6×30.1 cm
個人蔵

D-94
青の自画像
1919年
インク、鉛筆/紙
49×31 cm
個人蔵

D-83
レオボルト・ズボロフスキ
1918年
鉛筆/紙
48.3×30.3 cm
個人蔵

D-84
顎鬚の男(エスキス)
1918年
鉛筆/紙
41.8×25.8 cm
個人蔵

エミリー・ウングワレー展
—アボリジニが生んだ天才画家
出品リスト

原点 | Origins

- 1
無題(ヤムイモ)
1981年
バティック、綿
167.0×86.0 cm
協力：ヴィクトリア博物館協会
- 2
長い布
1981年
バティック、絹
174.0×110.0 cm
オーストラリア国立美術館
- 3
無題
1988年
バティック、絹
1000.0×112.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 4
無題
1989年
バティック、絹
184.0×90.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 5
無題
1989年
バティック、絹
368.0×90.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 6
エミューのドリーミング
1988年
バティック、絹
236.0×117.5 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 7
無題
1988年
バティック、絹
184.0×92.0 cm
パワーハウス博物館
- 8
アウエリエ
1989年
アクリル、カンヴァス
240.0×120.0 cm
エッスル美術館、ウィーン
- 9
エミューの女
1988-89年
アクリル、カンヴァス
92.0×61.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 10
野生オレンジのドリーミング
1988-89年
アクリル、カンヴァス
120.0×89.7 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 11
アウエリエ
1989-90年
アクリル、綿布
66.0×53.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 12
アウエリエ
1989-90年
アクリル、カンヴァス
118.0 cm diameter
ホームズ・ア・コート・コレクション

点描 | Fields of Dots

- 1
無題(アルハルクラ)
1989年
アクリル、カンヴァス
150.1×120.4 cm
レイヴァティ・コレクション
- 2
アウエリエ
1991年
アクリル、カンヴァス
152.2×121.8 cm
サイモン・アンド・ジュリー・フォード
- 3
無題
1989年
アクリル、カンヴァス
54.0×70.7 cm
クイーンズランド州立美術館
- 4
アウエリエ
1989年
アクリル、カンヴァス
37.1×88.8 cm
ジェームス・モリソン
- 5
アルハルクラ
1989年
アクリル、カンヴァス
59.5×52.3 cm
個人蔵
- 6
ヤム(ヤムイモ)
1989年
アクリル、カンヴァス
90.0×60.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 7
ヤム(ヤムイモ)
1989年
アクリル、カンヴァス
90.0×60.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 8
アウエリエ
1989-90年
アクリル、カンヴァス
166.0×128.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション
- 9
無題
1989-90年
アクリル、カンヴァス
127.9×98.5 cm
ジェームス・モリソン
- 10
ソーキッジ・ボア
1990年
アクリル、カンヴァス
150.4×60.5 cm
イアン・ガン
- 11
無題
1990年
アクリル、カンヴァス
212.0×123.0 cm
個人蔵
- 12
野生イモのドリーミング
1990年
アクリル、カンヴァス
212.0×122.5 cm
クイーンズランド州立美術館

13

アルハルクラの故郷
1990年
アクリル、カンヴァス
5点 各150.0×60.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション

14

雨の後
1990年
アクリル、カンヴァス
210.8×121.6 cm
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア

15

無題
1990年
アクリル、カンヴァス
211.0×121.8 cm
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア

16

バラキ(インテクウァ)
1990年
アクリル、カンヴァス
129.0×232.0 cm
アレンス・アーサー・ロビンソン

17

蔓植物の実
1990年
アクリル、カンヴァス
123.0×149.0 cm
ジュディス・アンド・ロン・ビーハン

18

無題
1991年
アクリル、カンヴァス
120.4×151.2 cm
個人蔵

19

無題
1991年
アクリル、カンヴァス
149.2×246.8 cm
個人蔵

20

カーメー 夏のアウエリエ I
1991年
アクリル、カンヴァス
302.0×136.8 cm
個人蔵

21

ムーネ・アーテーク
1991年
アクリル、カンヴァス
299.0×137.4 cm
個人蔵

22

アルハルクラ(私の故郷)
1991年
アクリル、カンヴァス
121.5×302.2 cm
アン・ルイス

23

カーメ
1991年
アクリル、カンヴァス
303.1×137.8 cm
ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア

24

無題
1991年
アクリル、カンヴァス
250.0×150.0 cm
オーストラリア国立美術館

[凡例]
作品名
制作年
技法、材質
サイズ
所蔵

25 無題(アルハルクラ) 1992年 アクリル、カンヴァス 166.0×481.0 cm ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館	4 アルハルクラ V 1992年 アクリル、カンヴァス 228.7×149.5 cm 協力：作家、ガブリエル・ピッツィ画廊	6 無題(アウエリエ) 1994年 アクリル、カンヴァス 152.5×59.7 cm 個人蔵	2 無題 1995年 アクリル、紙 89.5×64.5 cm ジョン・アンド・アニー・ブレン
26 無題 1992年 アクリル、カンヴァス 135.0×135.0 cm 個人蔵	5 無題 1993年 アクリル、カンヴァス 183.0×126.0 cm 個人蔵	7 無題(アウエリエ) 1994年 アクリル、カンヴァス 152.3×59.7 cm 個人蔵	3 無題 1995年 アクリル、カンヴァス 90.0×80.0 cm 個人蔵
27 無題 1992年 アクリル、カンヴァス 134.1×135.3 cm サラ・ド・メイン・カーンズ	6 無題(アルハルクラ) 1993年 アクリル、カンヴァス 186.0×118.0 cm 個人蔵	8 無題(アウエリエ) 1994年 アクリル、カンヴァス 152.3×59.7 cm 個人蔵	4 無題 1995年 アクリル、カンヴァス 90.0×80.0 cm 個人蔵
28 アルハルクラ 1993年 アクリル、カンヴァス 130.2×229.0 cm 協力：作家、ガブリエル・ピッツィ画廊	7 アルハルクラ 1993年 アクリル、カンヴァス 22点 各90.0×120.0 cm オーストラリア国立美術館	9 無題(アウエリエ) 1994年 アクリル、カンヴァス 3点 各152.0×60.0 cm 個人蔵	5 無題 1995年 アクリル、カンヴァス 110.0×200.6 cm スティーヴン・ブッシュ
29 無題 1993年 アクリル、カンヴァス 234.2×79.2 cm 個人蔵	8 私の故郷 1993年 アクリル、カンヴァス 133.5×370.0 cm サー・エルトン・ジョン	10 無題(アウエリエ) 1995年 アクリル、カンヴァス 3点 各149.0×30.0 cm ジュディス・アンド・ロン・ビーハン	6 ヤム(ヤムイモ) 1995年 アクリル、カンヴァス 202.5×89.2 cm 個人蔵
30 無題 1993年 アクリル、カンヴァス 234.2×80.7 cm 個人蔵	9 大地の創造 1994年 アクリル、カンヴァス 4点 各275.0×160.0 cm ムバンチュア・ギャラリー	11 ボディ・マーキング(I-IV) 1994年 アクリル、カンヴァス 4点の内3点 各152.0×61.0 cm ホームズ・ア・コート・コレクション	7 無題(ヤムイモ) 1995年 アクリル、カンヴァス 92.0×122.0 cm 個人蔵
31 無題 1993年 アクリル、カンヴァス 232.5×79.1 cm 協力：ユートピア・アート・シドニー	10 無題 1992年 アクリル、カンヴァス 164.0×228.0 cm スティーヴン・ブッシュ	12 無題(アウエリエ) 1995年 アクリル、カンヴァス 193.0×89.0 cm 個人蔵	8 無題(ヤムイモ) 1995年 アクリル、カンヴァス 92.0×122.0 cm 個人蔵
32 無題 1993年 アクリル、カンヴァス 233.5×79.8 cm ニューキャッスル地方美術館	身体に描かれた線 Body Lines 1 無題(アウエリエ) 1994年 アクリル、カンヴァス 6点 各190.0×56.7 cm 個人蔵	13 無題 1996年 アクリル、カンヴァス 5点 各121.0×91.0 cm アン・ルイス	9 ヤムイモのドリーミング 1996年 アクリル、カンヴァス 100.4×126.4 cm 個人蔵
33 無題 1993年 アクリル、カンヴァス 232.4×80.4 cm フィリップ・アンド・ジェニー・ローレンス	2 ボディ・ペイント(I-V) 1994年 アクリル、カンヴァス 5点 各38.3×30.9 cm ホームズ・ア・コート・コレクション	14 ユートピア・パネル 1996年 アクリル、カンヴァス 18点の内6点 各263.2×87.0 cm クイーンズランド州立美術館	10 ヤムイモのドリーミング 1996年 アクリル、カンヴァス 100.4×126.6 cm 個人蔵
色彩主義 Colorism	3 ボディ・ペイント(VI) 1994年 アクリル、カンヴァス 38.2×30.9 cm 個人蔵	15 ユートピア・パネル 1996年 アクリル、カンヴァス 18点の内4点 各263.2×87.0 cm クイーンズランド州立美術館	11 ビッグ・ヤム・ドリーミング 1995年 アクリル、カンヴァス 291.1×801.8 cm ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア
1 無題 1992年 アクリル、カンヴァス 165.0×165.0 cm 個人蔵	4 無題(アウエリエ) 1994年 アクリル、紙、カンヴァス 3点 各70.4×100.9 cm/全体 211.2×100.9 cm ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館	16 無題 1995年 アクリル、カンヴァス 152.0×120.8 cm 個人蔵	12 ビッグ・ヤム 1996年 アクリル、カンヴァス 4点 122.4×200.4, 122.5×200.6, 122.5×200.3 cm(×2) ナショナル・ギャラリー・オブ・ヴィクトリア
2 アルハルクラ I 1992年 アクリル、カンヴァス 163.0×297.0 cm ホームズ・ア・コート・コレクション	5 無題 1994年 アクリル、カンヴァス 15点 各51.5×38.1 cm 個人蔵	ヤムイモ Yam 1 無題 1994年 アクリル、紙 76.0×56.0 cm 個人蔵	13 ヤムイモのドリーミング 1995年 アクリル、カンヴァス 213.6×122.5 cm 個人蔵

神聖な草 | Sacred Grasses

1
無題
1995年
アクリル、カンヴァス
190.4×106.8 cm
個人蔵

2
無題
1996年
アクリル、カンヴァス
152.3×91.7 cm
レイヴァティ・コレクション

3
無題
1995年
アクリル、カンヴァス
6点 各192.5×37.5 cm
個人蔵

4
ヤムイモのアウエリエ
1995年
アクリル、カンヴァス
150.0×491.0 cm
オーストラリア国立美術館

5
無題
1996年
アクリル、カンヴァス
194.0×375.3 cm
個人蔵

6
無題
1996年
アクリル、紙、カンヴァス
183.0×136.3 cm
個人蔵

ラスト・シリーズ | Last Series

1
私の故郷
1996年
アクリル、カンヴァス
58.0×87.5 cm
アマンダ・ハウ

2
私の故郷
1996年
アクリル、カンヴァス
55.5×76.5 cm
個人蔵

3
私の故郷 #20
1996年
アクリル、カンヴァス
81.1×71.8 cm
フレッド・トレス・コレクション

4
無題(アルハルクラ)
1996年
アクリル、カンヴァス
120.0×107.0 cm
エベス・コレクション

5
無題(アルハルクラ)
1996年
アクリル、カンヴァス
87.0×56.0 cm
エベス・コレクション

ユートピア | Utopia

1
エミュー
1990年
アクリル、亜麻布、板
54.3×85.0 cm
個人蔵

2
アウエリエ
1990年
アクリル、板
30.2×45.0 cm
個人蔵

3
ボディ・デザイン
1995年
天然顔料、亜麻布、板
12点の内5点 各51.0×40.5 cm
ローソン=メンジース・コレクション

4
無題
1994年
アクリル、紙
38.0×27.0 cm
フリンダース大学美術館

5
無題
1994年
アクリル、紙
38.0×27.0 cm
フリンダース大学美術館

6
無題(踊りのためのスティック)
1989-90年
アクリル、木材
40.0×4.0 cm, 50.0×5.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション

7
無題(インネンチャの男)
1989-90年
アクリル、木材
53.0×10.0×9.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション

8
クーラモン
1990年
アクリル、木材
38.0×10.5×9.0 cm
個人蔵

9
クーラモン
1992年
アクリル、木材
53.0×12.0×16.0 cm
個人蔵

(参考出品)
クアターチャ
ビリー・ベチャーリ
1988年
アクリル、木材
89.0×25.0×19.0 cm
協力：クリストファー・ホッジズ、ヘレン・イーガー

アウエリエ
ラッキー・ウングワレー
2001年
アクリル、木材
67.0×15.5×16.0 cm
オーストラリア国立博物館

人像
ジャニス・ウングワレー、ウォリー・プーラ
1989-90年
アクリル、木材
119.0×23.0×23.0 cm
ホームズ・ア・コート・コレクション

アウエリエ
エーダ・パナンカ
1993年
アクリル、木材
45.5×15.0×15.0 cm
オーストラリア国立博物館

人像
作者不詳
1993年
アクリル、木材
65.0×15.0×11.0 cm
オーストラリア国立博物館

ポッサム
ラッキー・ウングワレー
1989年
アクリル、木材
15.0×71.0×14.0 cm
協力：クリストファー・ホッジズ、ヘレン・イーガー

イキドナ
ジャニス・ウングワレー
1989年
アクリル、木材
17.0×48.5×16.0 cm
個人蔵

カンガルー
ルイ・プーラ
1989年
アクリル、木材
76.0×48.0×29.0 cm
個人蔵

ゴアナ
作者不詳
1989-90年
アクリル、木材
8.0×80.0×5.0 cm
個人蔵

ドリームタイムの子犬
ルビー・ウングワレー
1993年
アクリル、木材
17.0×49.0×13.5 cm
協力：アミィ・ホッジズ

梟
作者不詳
1993年
アクリル、木材
41.0×16.0×13.0 cm
協力：クリストファー・ホッジズ、ヘレン・イーガー

ドリームタイムの子犬
ルビー・ウングワレー
1993年
アクリル、木材
21.0×60.0×15.0 cm
個人蔵

岩(ユートピアの岩石)
オーストラリア国立博物館(寄贈)、
協力：リンジー・バード・ベチャーニ

磨臼
11.0×31.0×44.0 cm
オーストラリア国立博物館(寄贈)

種のビーズ首飾り
種、毛糸
126.0 cm
協力：ユートピア・アート・シドニー

毛髪の紐
毛髪
9.0×21.0(全長約760 cm)
協力：ユートピア・アート・シドニー

カンガルーの毛でできた腰巻
カンガルーの毛
オーストラリア国立博物館

ウォンバットの毛でできたベルト
ミナミケバナウォンバットの毛、赤い布
オーストラリア国立博物館

毛髪でできた腰紐
毛髪
オーストラリア国立博物館

ユートピアのエミリーの墓の周辺の砂
オーストラリア国立博物館

ウィーン美術史美術館所蔵
静物画の秘密
出品リスト

第1章 市場・台所 ^{ヴァニタス} ・虚栄の静物	第2章 狩猟・果実・豪華な品々・花の静物	28
1 マルテン・ファン・クレーヴ 解体された雄牛 1566年 油彩・オーク板 68×53.5 cm	14 ヤン・フェイト 死んだ野鳥 1641年以降 油彩・キャンヴァス 49×68 cm	アブラーハム・ファン・ペイエレ 魚と蟹のある静物 17世紀第3四半世紀 油彩・キャンヴァス 61×74.5 cm
2 ヤン・バプティスト・サイフェ(父) 果物市場(9月-10月) 1590年 油彩・キャンヴァス 108×220 cm	15 フィリップ・フェルディナント・デ・ハミルトン 豹と禿鷲 1722年 油彩・キャンヴァス 88×120 cm	29 カーレル・ファン・フォーヘラールに帰属 果物のある静物 17世紀第4四半世紀 油彩・キャンヴァス 112×84.2 cm
3 ヤン・バプティスト・サイフェ(父) 肉市場(11月-12月) 1590年 油彩・キャンヴァス 111×213.5 cm	16 ヨーハネス・レーマンズ周辺の画家 狩猟用具 1660年頃 油彩・キャンヴァス 117.5×167.3 cm	30 ユリアーン・ファン・ストレーク 鸚鵡貝の高杯と生姜壺のある静物 17世紀第3四半世紀 油彩・キャンヴァス 49.5×41.5 cm
4 フレデリク・ファン・ファルケンボルフ 一世の工房 花市場(春) 1610年頃 油彩・キャンヴァス 120×210 cm	17 ダーフィット・デ・コーニンクに帰属 死んだ野鴨 1696年頃 油彩・キャンヴァス 55×75 cm	31 オランダの画家に帰属 オマール海老のある静物 17世紀後半 油彩・キャンヴァス 48×41.5 cm
5 フレデリク・ファン・ファルケンボルフ 一世の工房 果物市場(夏) 1610年頃 油彩・キャンヴァス 123.5×208.5 cm	18 ヤン・ウェーニクス 死んだ野兎 1690年 油彩・キャンヴァス 113.5×94.5 cm	32 ゴットフリート・リバルト 果物のある静物 1655/60年頃 油彩・キャンヴァス 95×125 cm
6 ローベルト・ファン・デン・フーケ 日用品のある静物 1645年 油彩・オーク板 30×23 cm	19 フランツ・ヴェルナー・タム 猟犬と獲物 1706年 油彩・キャンヴァス 136.5×185 cm	33 ゲオルク・フレーゲルの工房 果物、ワイングラス、花瓶のある静物 1614年以降 油彩・キャンヴァス 41.5×49.2 cm
7 ヤーコブ・オホテルフェルト 魚市場 1668/1669年頃 油彩・キャンヴァス 85×73.5 cm	20 ウィレム・クラスゾーン・ヘーダ 蓋付高杯のある朝食場 1634年 油彩・板 60.4×49 cm	34 アンブロシウス・ボスハールト(父) 花束 1609年 油彩・マホガニー板(?) 50.2×35.3 cm
8 フランドルの画家に帰属 巻貝と二枚貝のある静物 17世紀後半 油彩・キャンヴァス 88.5×156 cm	21 コルネーリス・デ・ヘーム 朝食図 1660-69年頃 油彩・オーク板 34×41.5 cm	35 ヤン・ブリュエゲル(父) 青い花瓶の花束 1608年頃 油彩・オーク板 66×50.5 cm
9 ゼバスティアン・シュトスコプフ(?) 魚のある静物 1650年頃 油彩・キャンヴァス 65×35 cm	22 クリスティアン・ストリープ 朝食図 17世紀第3四半世紀 油彩・キャンヴァス 78.5×60.8 cm	36 マルゲリータ・カッフィあるいはエリザベッタ・マルキオーニ 花籠と籠 17世紀後半 油彩・キャンヴァス 45×57 cm
10 チェザーレ・ダンディーニ 巻き薬酒瓶のある静物 1640年頃 油彩・楓材 41×32.5 cm	23 バルトロメオ・ベッテラ 楽器、楽譜、書物のある静物 17世紀後半 油彩・キャンヴァス 94×131 cm	37 ガスバレ・ロベス、通称ロベス・デイ・フィオーリ(「花のロベス」) 泉の上で紋章を持つブット像のある庭園風景と花 1720年頃 油彩・銅板 26×45 cm
11 ピーテル・クラスゾーン・ヴァニタス 1656年 油彩・オーク板 39.5×60.5 cm	24 エヴァリスト・バスケニス 静物：楽器、地球儀、天球儀 17世紀 油彩・キャンヴァス 78×118 cm	38 ガスバレ・ロベス、通称ロベス・デイ・フィオーリ(「花のロベス」) 戦士の胸像のある庭園風景と花 1720年頃 油彩・銅板 26×45 cm
12 ピーテル・ヘリッツゾーン・ファン・ルストラーテン ヴァニタス 17世紀後半 油彩・キャンヴァス 58×75 cm	25 ジュゼッペ・ヴォロ、通称ヴィンチェンツィーノ 果物のある静物 1700年頃 油彩・キャンヴァス 92.5×69 cm	39 ヤン・アントン・ファン・デル・バーレン ガラス器の薔薇 1659年以降 油彩・羊皮紙 40×30 cm
13 アントニオ・デ・ベレダ・イ・サルガド 静物：虚栄 1634年頃 油彩・キャンヴァス 139.5×174 cm	26 ロンバルディア派、ジャコモ・チェルレティに帰属 籠入り瓶のある果物の静物 1750年頃(?) 油彩・キャンヴァス 74.5×98 cm	40 ヤン・ファン・デン・ヘッケ 花束 1650年頃 油彩・キャンヴァス 40×30 cm
	27 ヨーリス・デ・ソン周辺の画家 果物のある静物 1650年頃 油彩・キャンヴァス 81×59.5 cm	41 ヤン・ファン・デン・ヘッケ 花瓶の花とグラウフェリンゲンの包圍戦 1652年 油彩・キャンヴァス 65.8×38.7 cm

[凡例]
作家名
作品名
制作年
技法、材質 サイズ

42
ヤン・ファン・デン・ヘッケに帰属
花籠
17世紀
油彩・キャンヴァス 35×49 cm

43
ヨーハン・ミヒャエル・プレトシュナイダー
四季の花束
17世紀後半
油彩・キャンヴァス 69×52 cm

第3章 宗教・季節・自然と静物

44
ヤン・アントン・ファン・デル・バーレン
花環で飾られた石造りの壁龕の聖体顯示台
1650/59年頃
油彩・キャンヴァス 96×67 cm

45
ヤン・アントン・ファン・デル・バーレン
御公現の寓意
1650/1659年頃
油彩・キャンヴァス 71×74 cm

46
ネーデルラントの画家に帰属
春(愛)
1600年頃
油彩・キャンヴァス 120×240 cm

47
ヤン・ブリュエゲル(父)
ヘンドリック・ファン・バーレン
大地女神ケレスと四大元素
1604年
油彩・銅板 42×71 cm

48
レアンドロ・ダ・ボンテ、通称レアンドロ・
パッサーノ
6月
1580年代
油彩・キャンヴァス 145×216 cm

49
フランチェスコ・デ・ローザ、通称バチエ
ーコ・デ・ローザ
花神フローラ
1645/50年頃
油彩・キャンヴァス 103.5×86 cm

50
ピーテル・ファン・アフント
ヤン・ブリュエゲル(子)
庭園の花神フローラ
1730年代
油彩・銅板 47.8×70.4 cm

51
フェルディナント・ファン・ケッセル
ヨーロッパ
1689年
油彩・キャンヴァス 52×72 cm(中央画
面)

52
ヨーハン・ケーニヒ
春(庭園の宴)
17世紀前半
油彩・銅板 19×28 cm

53
ヨーハン・ケーニヒ
夏(小麦の収穫)
17世紀前半
油彩・銅板 19×28 cm

54
ヨーハン・ケーニヒ
秋(葡萄酒造り)
17世紀前半
油彩・銅板 19×28 cm

55
ヨーハン・ケーニヒ
冬(蕪の皮剥きと亜麻糸造り)
17世紀前半
油彩・銅板 19×28 cm

第4章 風俗・肖像と静物

56
ヤン・ブリュエゲル(父)
小作人見舞い
1597年頃
油彩・銅板 27×36 cm

57
ペーテル・パウル・ルーベンス
チモーネとエフィジェニア
1617年頃
油彩・キャンヴァス 208×282 cm

58
ヤン・シーベレヒツ
浅瀬
1664/1665年頃
油彩・キャンヴァス 115×90 cm

59
ダーフィット・テニールス(子)
老人と使用人の女
1672年
油彩・キャンヴァス 45×72.5 cm

60
ダーフィット・テニールス(子)
ソーセージ作り
1651年以前(?)
油彩・キャンヴァス 54.5×64.5 cm

61
ヒリス・ファン・ティルボルフ
農民の食堂
17世紀
油彩・キャンヴァス 84×115 cm

62
ヤン・ステーン
逆さまの世界
1663年
油彩・キャンヴァス 105×145 cm

63
ヤン・ステーン
農民の婚礼(欺かれた花婿)
1670年頃
油彩・キャンヴァス 57×68 cm

64
ヘーラルト・ダウ
医師
1653年
油彩・オーク板 49.3×36.6 cm

65
ヘーラルト・ダウ
花に水をやる窓辺の老婦人
1660/65年頃
油彩・オーク板 28.3×22.8 cm

66
コルネーリス・サフトレーフェン
掃除女と山羊のいる納屋
1630/35年頃
油彩・板 40.8×56 cm

67
マルティーン・ディヒトル
台所道具を磨く女
1665年頃
油彩・キャンヴァス 80×100 cm

68
マルティーン・ディヒトル
酒を飲む二人の男
1665年
油彩・キャンヴァス 80×100 cm

69
アントニオ・ブーガ
オレンジの花を持って笑う男
1640年頃
油彩・キャンヴァス 83×64 cm

70
ティベリオ・ティネッリに帰属
貴婦人の肖像
1620/25年頃
油彩・キャンヴァス 205×115 cm

71
ヤン・ファン・デン・ヘッケ
果実の花糸で飾られた女性像
1645/1650年頃
油彩・キャンヴァス 58×42 cm

72
ヤン・リーフェンス
ヤン・ファン・デン・ヘッケ
花環で飾られた若い男の肖像
1642/1644年頃
油彩・オーク板 50.5×46 cm

73
フェルディナント・ボル
リラ・ダ・ガンバを持つ女
1653年
油彩・キャンヴァス 111×87 cm

74
オットマル・エリガー(子)
高杯を持つ窓辺の女
1714年
油彩・キャンヴァス 35.5×26.3 cm

75
ディエゴ・ロドリゲス・シルバ・イ・
ベラスケス
薔薇色の衣裳のマルガリータ女王
1653/54年頃
油彩・キャンヴァス 128.5×100 cm

アヴァンギャルド・チャイナ
—〈中国当代美術〉二十年—
出品リスト

- 1
黄 永砵
無規則な指示通りに制作された四枚の絵画
1985年
油彩・カンヴァス、黒鉛、色鉛筆・紙
絵画：各213.4×152.4 cm(4点組)
素描：各25.4×20.0 cm(8点組)
アニー・ウォン・アート・ファンデーション蔵
- 2
黄 永砵
円盤
1985年
木、彩色、銅
91.4×91.4×91.4 cm
アニー・ウォン・アート・ファンデーション蔵
- 3
黄 永砵
『中国絵画史』と『現代絵画簡史』を洗濯機で2分間攪拌した
1987/1993年再制作
茶箱、紙バルブ、ガラス
76.8×48.3×69.9 cm
ウォーカー・アート・センター蔵
- 4
黄 永砵
ダヴィデ
1987年
油彩・カンヴァス、オフセット・紙、
インク・紙、インク・マイラー
210.8×127.0 cm
作家蔵
- 5
黄 永砵
爆竹のついたズボン
1987年
ズボン、紙片、厚紙、白黒写真
80.0×104.1×5.1 cm
作家蔵
- 6
黄 永砵
中国美術館を引っ張る
1988年
インク、カラー写真、紙
各29.5×21.0 cm(2点組)
ウォーカー・アート・センター蔵
- 7
黄 永砵
108枚のカード
1993年
厚紙チューブ、印刷された紙
6.9×20.9×6.9 cm
作家蔵
- 8
王 広義
ポスト古典—同時的受胎告知
1986年
油彩・カンヴァス
160.0×200.0 cm
王魯炎氏蔵
- 9
王 広義
無題(赤い格子の後ろの聖母)
1987年
油彩・カンヴァス
90.0×64.0 cm
ガイ&ミリアム・ユーレンス基金蔵
- 10
王 広義
工業用速乾性オイルで覆われた名画No. 1
1989年
ミクストメディア
19.5×15.0 cm
作家蔵
- 11
王 広義
工業用速乾性オイルで覆われた名画No. 2
1989年
ミクストメディア
21.5×16.0 cm
作家蔵
- 12
王 広義
工業用速乾性オイルで覆われた名画No. 3
1989年
ミクストメディア
22.0×18.0 cm
作家蔵
- 13
王 広義
工業用速乾性オイルで覆われた名画No. 7
1989年
ミクストメディア
19.0×23.0 cm
作家蔵
- 14
王 広義
工業用速乾性オイルで覆われた名画No. 8
1989年
ミクストメディア
18.0×25.0 cm
作家蔵
- 15
王 広義
大批判：尼康(ニコン)
1992年
油彩・カンヴァス
148.0×119.0 cm
個人蔵
- 16
王 広義
大批判：邦迪(バンドエイド)
1992年
油彩・カンヴァス
148.0×119.0 cm
個人蔵
- 17
王 広義
唯物主義者
2002年
FRP
200.0×150.0×80.0 cm
アラリオ・ギャラリー蔵
- 18
王 広義
唯物主義者
2002年
FRP
180.0×180.0×80.0 cm
アラリオ・ギャラリー蔵
- 19
張 培力
30×30 cm
1988年
ビデオ
約32分
ユーレンス センター フォー コンテポラリー アート
- 20
張 培力
ドキュメント：衛生No. 3
1991年
ビデオ
約37分
福岡アジア美術館蔵
- 21
張 培力
いいようのない快感
1996年
ビデオ
約30分
福岡アジア美術館蔵
- 22
丁 乙
十示 2008-21
2008年
アクリル・タータン布地
3点：各150×150 cm 2点：各80×80 cm(5点)
作家蔵
- 23
張 曉剛
手記：三号之一、二、三、四、五
1991年
油彩・カンヴァス
一、五：各179.0×110.0 cm
二、三、四：各179.0×114.0 cm
個人蔵
- 24
張 曉剛
血縁：母子(若い娘としての母と画家)
1993年
油彩・カンヴァス
148.5×178.5 cm
福岡アジア美術館蔵
- 25
張 曉剛
血縁：大家庭(ファミリー・ポートレート《全家福》)
1993年
油彩・カンヴァス
99.7×129.3 cm
徳島県立近代美術館蔵
- 26
張 曉剛
血縁：大家庭之四
1995年
油彩・カンヴァス
180.0×230.0 cm
個人蔵
- 27
方 力鈞
シリーズ 1 No. 7
1990-1991年
油彩・カンヴァス
99.4×99.4 cm
沖縄県立博物館・美術館蔵
- 28
方 力鈞
シリーズ 2 No. 3
1992年
油彩・カンヴァス
200.0×200.0 cm
福岡アジア美術館蔵
- 29
方 力鈞
シリーズ 2 No. 8
1991-1992年
油彩・カンヴァス
89.7×116.0 cm
沖縄県立博物館・美術館蔵
- 30
方 力鈞
1993 No.11
1993年
油彩・カンヴァス
180.0×230.0 cm
東京都現代美術館蔵
- 31
方 力鈞
1996 No. 1
1996年
油彩・カンヴァス
230.0×180.0 cm
広島市現代美術館蔵

【凡例】
作家名
作品名
制作年
技法、材質
サイズ
所蔵

32
触覚小組
触覚芸術
1988年
写真
各16.5×16.5 cm(10点組)
管芸氏蔵

33
新刻度小組
新刻度1988-1995
1988-1995年
冊子
作家蔵

34
顧 徳新
1996年8月24日
1996年
写真
サイズ可変(10点組)
作家蔵

35
馬 六明
芬-馬六明
1993年
写真
各92.0×62.0 cm(12点組)
作家蔵

36
馬 六明
芬-馬六明の午餐 I
1994年
ビデオ
約11分
作家蔵

37
馬 六明
芬-馬六明の午餐 II
1994年
写真
92.0×62.0 cm
作家蔵

38
馬 六明
フィッシュ・チャイルド
1996年
ビデオ
約16分
作家蔵

39
張 洹
12mí
1994年
パフォーマンス、中国・北京、ビデオ
約3分
作家蔵

40
張 洹
65KG
1994年
パフォーマンス、中国・北京、ビデオ
約3分30秒
作家蔵

41
張 洹
池の水位を上げる
1997年
パフォーマンス、中国・北京、ビデオ
約6分
作家蔵

42
孫原・彭禹
老人ホーム
2007年
13組の電動車椅子とそれに乗った人物大
の樹脂製の人形
展示サイズ可変
作家蔵

43
楊 振中
アイ・ウィル・ダイ
2000-2005年
ビデオ
10チャンネル、10スクリーン
作家蔵

44
楊 福東
断橋無雪
2006年
ビデオ・インスタレーション
約11分
作家蔵

45
曹 斐
ラビッド・ドッグス
2002年
ビデオ
約8分
協力：ツァオ・フェイ、ビタミン・ク
リエイティヴ・スペース

46
曹 斐
ヒップ・ホップ 広州
2003年
ビデオ
約3分
協力：ツァオ・フェイ、ビタミン・ク
リエイティヴ・スペース

47
徐 震
最後に残ったわかずかな蚊
2005年
インスタレーション
各4.0×5.0×5.0 cm(3点)
作家蔵

48
徐 震
フィットネス
2008年
ミクストメディア
展示サイズ可変(4点)
作家蔵

巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡
出品リスト

N1 マドレーヌ 1904年 バリ パステル、グワッシュ/厚紙 67×51.5 cm MP1990-54	N13 《森の中の水浴の女たち》のための習作 1908年春 バリ 黒鉛による線描、グワッシュ/紙 48.4×62.7 cm MP605	N25 マックス・ジャコブ[聖マトレル] 1911年刊 版元：D-H・カーンワイラー、 パリ エッチング4葉 20×13.9 cm MP1992-8/1~4
N2 ラ・セレスティーナ 1904年 バルセロナ 油彩/カンヴァス 74.5×58.5 cm MP1989-5	N14 《三人の女》のための習作：左の女の頭部 1908年春 バリ グワッシュ/紙 62.7×48 cm MP576	N26 ギター「私はエヴァを愛す」 1912年夏 ソルグ 油彩/カンヴァス 35×27 cm MP37
N3 二人の兄弟 1906年夏 ゴゾル グワッシュ/厚紙 80×59 cm MP7	N15 緑の布と花瓶のある静物 1908年春から夏[パリ] 油彩/板 27.1×21.3 cm MP27	N27 バイオリンと楽譜 1912年秋 バリ グワッシュ、色紙と楽譜を糊付け/厚紙 78×63.5 cm MP368
N4 立つ裸婦(《アヴィニヨンの娘たち》の ための習作) 1906年秋 バリ 木炭/紙 63×48 cm MP1990-55	N16 二人の人物のいる風景 1908年秋[パリ] 油彩/カンヴァス 60×73 cm MP28	N28 ギターを持つ女 [1912-1913年] ペン、墨/紙 30.7×19.6 cm MP692
N5 横向きの歩く裸婦 1906-1907年冬 バリ 木炭、黒鉛筆/紙 63×48 cm MP523	N17 革砥のある静物 1909年 油彩/カンヴァス 55×40.5 cm MP1980-1	N29 ギター [1913年春] [セレ] 油彩/板に貼ったカンヴァス 87×47.5 cm MP38
N6 座る裸婦(《アヴィニヨンの娘たち》の ための習作) [1906-1907年冬] バリ 油彩/カンヴァス 121×93.5 cm MP10	N18 《女の頭部(フェルナンド)》のための習作 1909年夏 オルタ・デ・エプロ 木炭、黒鉛筆によるハイライト/紙 63.2×48 cm MP641	N30 ギター [1913年春] [セレ] 色紙、彩色した紙、新聞の断片、木炭、 黒鉛/厚紙 44×32.7 cm MP372
N7 女の胸像(《アヴィニヨンの娘たち》の ための習作) 1907年春 バリ 油彩/カンヴァス 58.5×46.5 cm MP18	N19 女の頭部(フェルナンド) 1909年秋 バリ ブロンズ 40.5×23×26 cm MP243	N31 円卓上のグラス 1913年 セレ 貼り付けてピンで留めた紙、油彩/カン ヴァス 20.5×20.5 cm MP378
N8 《アヴィニヨンの娘たち》のための習作： カーテンを開ける裸婦 1907年5-6月 バリ 木炭/紙 63.4×48 cm MP541	N20 サクレ=クール寺院 1909-1910年冬 バリ 油彩/カンヴァス 92.5×65 cm MP30	N32 セレの風景 1913年春 セレ 色紙、彩色してピンで留めた紙、木炭、 チョーク/薄紫色のアングル紙 38×38.5 cm MP374
N9 木陰の三人の人物 1907-1908年冬 バリ 油彩/カンヴァス 99×99 cm MP1986-2	N21 グラス、リンゴ、本 1911年春 バリ 油彩/カンヴァス 22.5×45.5 cm MP31	N33 楕円形のテーブルの上のギター(立体構 成のための草案) 1913年 褐色クレヨン、黒鉛、墨/紙 27×17.9 cm MP724
N10 《友愛》のための習作 1907-1908年冬 バリ 木炭による線描、グワッシュ/紙 62.8×48 cm MP559	N22 肘掛け椅子に座る女 1911年[夏] [セレ] ペン、褐色インク/方眼紙 27.3×20.8 cm MP663	N34 ギターとバスの瓶 1913年春から秋 バリ 部分的に彩色したモミの木片、バビエ・ コレ、木炭による線描、釘/板 89.5×80×14 cm MP246
N11 《立つ裸婦》のための習作 1908年初頭 バリ 黒鉛による線描、グワッシュ/紙 32.6×24.9 cm MP569	N23 新聞、マッチ箱、パイプ、グラス 1911年[秋] バリ 油彩/カンヴァス 26.8×21.8 cm MP32	N35 マックス・ジャコブ[エルサレム攻囲] 1914年刊 版元：D-H・カーンワイラー、 パリ エッチング3葉 16×10.9 cm MP1992-9/1~3
N12 《森の中の水浴の女たち》のための習作 1908年春 バリ 墨、木炭/紙 37×48.2 cm MP602	N24 マンドリンを持つ男 1911年秋 バリ 油彩/カンヴァス 162×71 cm MP35	

[凡例]
作品名
制作年 制作地(ただし[]内は推定によるもの)
素材・技法
寸法
パリ国立ピカソ美術館所蔵番号

N36 ワインの瓶とグラス 1914年[春] バリ 木炭/紙 47.5×63.5 cm MP763(r)	N47 アニス・デル・モーノの瓶と葡萄の房を 盛った鉢 1915年[秋] バリ 立体構成：モミと松の木片、ブリキ、 釘、木炭による線描 35.5×27.5×26 cm MP254	N59 グラスとタバコの箱 1921年 バリ 裁断し、折り曲げ、彩色した銅板、針金 14.7×49.2×16.3 cm MP259	N71 海辺の人物たち 1931年 1月12日 バリ 油彩/カンヴァス 130×195 cm MP131
N37 グラスとパイプ、数字と文字 [1914年春][バリ] 油彩、木炭/カンヴァス 14×29 cm MP41	N48 バイオリン [1915年] バリ 立体構成：裁断し、折り曲げ、彩色した 銅板、針金 100×63.7×18 cm MP255	N60 手紙を読む 1921年[バリ] 油彩/カンヴァス 184×105 cm MP72	N72 オウィディウス[変身譚] 1930-1931年制作 ボワジュール 1931年刊 版元：アルベール・スキラ、 ローザンヌ エッチング 31.2×22.3 cm MP3553/10、MP3553/20、MP3553/22、 MP3553/26、MP3553/27、MP3553/28
N38 バスの瓶、グラス、新聞 1914年春 バリ 立体構成：裁断・彩色したブリキ、砂、 針金、紙 20.7×14×8.5 cm MP249	N49 肘掛け椅子に座るオルガの肖像 1918年春 モンルージュ 油彩/カンヴァス 130×88.8 cm MP55	N61 ビエール・ルヴェルディ『紋首縄』 1922年刊 版元：ノール＝シュド、バリ エッチング 11.8×8.8 cm BIB1434/1～3	N73 円卓の上の大きな静物 1931年 3月11日 バリ 油彩/カンヴァス 195×130.5 cm MP134
N39 グラス、新聞、骰子 1914年春 バリ 裁断・彩色したブリキ、砂、針金(背景 板と額は再構成) 20.6×19×9.5 cm MP251	N50 グラスとパイプ 1918年[バリ] 油彩、砂/カンヴァス 45.7×55 cm MP59	N62 接吻 1925年夏 ジュアン＝レ＝バン 油彩/カンヴァス 130.5×97.7 cm MP85	N74 水浴の女 1931年 ボワジュール ブロンズ(1体のみ鑄造) 70×40.2×31.5 cm MP289
N40 グラスと骰子 1914年春 バリ 立体構成：彩色した松の木片 17×16.2×5.5 cm MP252	N51 水差しとリンゴのある静物 1919年 バリ 油彩/カンヴァス 65×43 cm MP64	N63 画家とモデル 1926年[バリ] 油彩/カンヴァス 172×256 cm MP96	N75 横たわる水浴の女 1931年 ボワジュール ブロンズ(1体のみ鑄造) 23×72×31 cm MP290
N41 画家とモデル 1914年夏 アヴィニオン 油彩、鉛筆/カンヴァス 58×55.9 cm MP53	N52 三人の踊り子 1919-1920年 グラフィット鉛筆/透かし入りの紙(3枚継 ぎ) 37.6×32.6 cm MP840	N64 襟飾りの女 1926年夏 ジュアン＝レ＝バン 油彩/カンヴァス 35×27 cm MP97	N76 女の胸像 1931年 ボワジュール ブロンズ(1体のみ鑄造) 62.5×28×41.5 cm MP294
N42 グラス 1914年夏 アヴィニオン 黒鉛、グワッシュ/切り取られた本の頁 (裏面) 15.8×12.7 cm MP739	N53 肘掛け椅子に座って手紙を読むオルガ 1920年 7月31日 ジュアン＝レ＝バン 黒鉛/紙 42.5×27.7 cm MP928	N65 肘掛け椅子の女 1927年夏 カンヌ 油彩/カンヴァス 130×97 cm MP99	N77 女の頭部 1931年 ボワジュール ブロンズ 86×32×48.5 cm MP300
N43 グラス、新聞、骰子 1914年夏 アヴィニオン 彩色した木片とブリキ片、針金/油彩で 描かれた背景板 17.4×13.5×3 cm MP45	N54 ジュアン＝レ＝バンの風景 1920年夏 ジュアン＝レ＝バン 油彩/カンヴァス 52×70 cm MP68	N66 白い背景の裸婦 1927年 バリ 油彩/カンヴァス 130×97 cm MP102	N78 女の頭部 1931年 ボワジュール ブロンズ(1体のみ鑄造) 128.5×54.5×62.5 cm MP302
N44 グラス、新聞、骰子 1914年夏 アヴィニオン 彩色した木片、砂/油彩で描かれた背景 板 17.5×15.2×3 cm MP46	N55 座る女 1920年 バリ 油彩/カンヴァス 92×65 cm MP67	N67 人物 1928年秋 バリ 針金、銅板 60.5×15×34 cm MP265	N79 短剣を持つ女 1931年12月19-25日[バリ] 油彩/カンヴァス 46.5×61.5 cm MP136
N45 グラス、パイプ、クラブのエース、骰子 1914年夏 アヴィニオン 彩色した木片と金属片/油彩で描かれた 背景板 直径34 cm、奥行き8.5 cm MP48	N56 エチュード(習作) 1920年 バリ 油彩/カンヴァス 100×81 cm MP65	N68 大きな水浴の女 1929年 5月26日 バリ 油彩/カンヴァス 195×130 cm MP115	N80 読書 1932年 1月2日 ボワジュール 油彩/カンヴァス 130×97.5 cm MP137
N46 静物：ギター、新聞、グラス、クラブの エース [1914年][バリ] 油彩/カンヴァス 41×27 cm MP52	N57 フォンテーヌブローのサロン：ピアノに 向かうオルガ 1921年 7月6日 フォンテーヌブロー 黒鉛/紙 49×64 cm MP970	N69 女の頭部 1929-1930年 彩色した鉄、銅板、スプリング、水切り ボウル 100×37×59 cm MP270	N81 赤い肘掛け椅子の女 1932年 1月27日 ボワジュール 油彩/カンヴァス 130.2×97 cm MP138
	N58 泉 1921年夏 フォンテーヌブロー 油性クレヨン/カンヴァス 153.5×201 cm MP75	N70 磔刑 1930年 2月7日 バリ 油彩/合板 51.5×66.5 cm MP122	N82 赤い肘掛け椅子に座る女 1932年 ボワジュール 油彩/カンヴァス 130×97.5 cm MP139

N83 カップル(交接) 1933年4月18日 ボワジュール グラフィイト鉛筆/紙 34.4×51.5 cm MP1103	N95 青い葉飾りのある妻わら帽子 1936年5月1日 ジュアン＝レ＝バン 油彩/カンヴァス 61×50 cm MP155	N107 人形を抱くマヤ 1938年1月16日 パリ 油彩/カンヴァス 73.5×60 cm MP170	N119 ジョルジュ・ユニエ『スイカズラ』 1943年刊 版元：ロベール＝J・ゴデ、パリ ジンコグラフィ(凸版) 26.7×21.4 cm BIB1242
N84 女を凌辱するミノタウロス 1933年 ボワジュール ペン、墨、淡彩/紙 47×62 cm MP1115	N96 マリー＝テレーズの肖像 1937年1月6日 [パリ] 油彩/カンヴァス 100×81 cm MP159	N108 頬杖をついた女の頭部 1939年1月14日 パリ グラフィイト鉛筆/紙 75×61 cm MP1216	N120 ロベール・デスノス『国』 1944年刊 版元：ロベール＝J・ゴデ、パリ エッチング 24.5×13.1 cm MP2003.17
N85 オレンジを持つ女 1934年 ボワジュール ブロンズ 180.5×75×67.5 cm MP327	N97 フランコの夢と嘘 第1葉 1937年1月8日 パリ 銅版エッチング、シュガー・アクアチント 31.8×42.2 cm 1937年パリ刊『フランコの夢と嘘』所収 MP3554/1	N109 横になって本を読む女 1939年1月21日 ル・トランブレ＝シュル ＝モルドル 油彩/カンヴァス 96.5×130 cm MP177	N121 座る女 1945年3月5日 パリ 油彩/カンヴァス 131.5×81 cm MP196
N86 アイリスの花束と鏡のある裸婦 1934年5月22日 ボワジュール 油彩/カンヴァス 162×130 cm MP147	N98 フランコの夢と嘘 第2葉 1937年1月8、9日-6月7日 パリ 銅版エッチング、シュガー・アクアチント、 スクレイパー 31.8×42.2 cm 1937年パリ刊『フランコの夢と嘘』所収 MP3554/2	N110 鳥をくわえた猫 1939年4月22日 パリ 油彩/カンヴァス 81×100 cm MP178	N122 フランソワーズの肖像 1946年4月22日 パリ グラフィイト鉛筆、擦筆/紙 65.8×50.6 cm MP1347
N87 女闘牛士 V 1934年6月22日 パリ 銅版エッチング 23.8×29.9 cm (版面) MP1990-118	N99 読書する大きな水浴の女 1937年2月18日 パリ 油彩、パステル、木炭/カンヴァス 130×97.5 cm MP160	N111 青い帽子の女 1939年10月3日 ロワイヤン 油彩/カンヴァス 65.5×50 cm MP181	N123 フランソワーズの肖像 1946年5月25日 パリ グラフィイト鉛筆/紙 66×50.5 cm MP1352
N88 蠟燭を持つ女、牡牛と馬の闘い 1934年7月24日 ボワジュール ペン、墨、褐色クレヨン/合板に糊付け されたカンヴァス 31.5×40.5 cm MP1136	N100 窓の前に座る女 1937年3月11日 [ル・トランブレ＝シュ ル＝モルドル] 油彩、パステル/カンヴァス 130×97.3 cm MP161	N112 女の頭部 1939年10月4日 ロワイヤン 油彩/カンヴァス 65.5×54.5 cm MP182	N124 フランソワーズの肖像 1946年6月30日 パリ パステル/紙 66×50.5 cm MP1367
N89 庭の中の裸婦 1934年8月4日 ボワジュール 油彩/カンヴァス 162×130 cm MP148	N101 浜辺の二人の裸婦 1937年5月1日 パリ 墨、グワッシュ/板 22×27 cm MP163	N113 ロワイヤンのカフェ 1940年8月15日 ロワイヤン 油彩/カンヴァス 97×130 cm MP187	N125 包帯を巻いたフランソワーズ 1946年7月5日 パリ グラフィイト鉛筆/紙 65.5×50.5 cm MP1370
N90 夜、鳩を抱いた少女に導かれる盲目のミ ノタウロス 1934年12月 パリ 銅版アクアチント、メジチント、ドライ ポイント、エングレーヴィング 第4ステート(一版多色凹版刷り、手彩色) 24.7×34.8 cm (版面) MP2702	N102 泣く女 1937年7月1日 パリ 銅版ドライポイント、アクアチント、 エッチング、スクレイパー 第6ステート 69.2×49.5 cm (版面) MP2748	N114 ジョルジュ・ユニエ『バプロ・ピカソ』 1941年 パリ ジンコグラフィ(凸版) 6面(1枚の両面に 印刷) 各9.4×14.5 cm BIB3158/1～6	N126 包帯を巻いたフランソワーズ 1946年7月5日 パリ グラフィイト鉛筆/紙 66×50.5 cm MP1372
N91 読書する女 1935年1月9日 パリ 油彩/カンヴァス 162×113 cm MP149	N103 泣く女 1937年10月18日 パリ 油彩/カンヴァス 55.3×46.3 cm MP165	N115 牡牛の頭部 1942年春 自転車のサドルとハンドル(皮、金属) 33.5×43.5×19 cm MP330	N127 室内のフクロウ 1946年12月7日 パリ 油彩/合板 81×100 cm MP199
N92 ラ・ミノトーロマシー 1935年3月23日 パリ 銅版エッチング、スクレイパー、エンゲ レーヴィング 第2ステート 49.8×69.3 cm (版面) MP2727	N104 ドラ・マールの肖像 1937年11月23日 パリ 油彩/カンヴァス 55.3×46.3 cm MP166	N116 ジョルジュ・ユニエ『望みを持たず』 1942年刊 版元：ジャンヌ・ピュシエ、パリ ジンコグラフィ(凸版) 14.8×11.85 cm；16.8×11.3 cm；16.7× 10.9 cm；14.2×11.2 cm；16.1×11.4 cm BIB3555	N128 ラモン・レベントス『二つの物語』 1947年刊 版元：アルポール、パリ/バル セロナ エングレーヴィング 30.9×25.7 cm BIB1436/1～4
N93 鎧戸のそばで眠る女 1936年4月25日 ジュアン＝レ＝バン 油彩、木炭/カンヴァス 54.5×65.2 cm MP152	N105 ドラ・マールの肖像 1937年[パリ] 油彩/カンヴァス 92×65 cm MP158	N117 大きな横たわる裸婦 1943年6月28日 パリ 油彩/カンヴァス 130×195.3 cm MP191	N129 ラモン・レベントス『二つの物語』 1947年刊 版元：アルポール、パリ/バル セロナ ドライポイント 37.9×25.7 cm BIB1437/1～4
N94 頭部 1936年5月1日 ジュアン＝レ＝バン 油彩/カンヴァス 61×50 cm MP154	N106 マリー＝テレーズの肖像 1937年12月4日 パリ 油彩、クレヨン/カンヴァス 46×38 cm MP167	N118 髑髏 1943年 パリ ブロンズ、銅 25×21×31 cm MP326	N130 ルイス・デ・ゴンゴラ・イ・アルゴテ 『二十の詩』 1948年刊 版元：レ・グラン・バントル・ モデルヌ・エ・ル・リーヴル、パリ エッチング、アクアチント 37.5×27.5 cm MP3557/2、MP3557/3、MP3557/12、 MP3557/16、MP3557/22、MP3557/28

- N131
ピエール・ルヴェルディ『死者の歌』
1948年刊 版元：テリアード、パリ
赤単色のリトグラフ125葉
42.5×32.5 cm
BIB1450
- N132
ポール・エリュアール(著)/ミシェル・シマ(写真)『アンティープのピカソ』
1948年刊 版元：ドルアン、パリ
書籍
25.5×34 cm
BIB682
- N133
ダニエル＝ヘンリー・カーンワイラー(著)/ブラッサイ(写真)『ピカソの彫刻』
1949年刊 版元：デュ・シェーヌ、パリ
作品集
24.5×32 cm
BIB409
- N134
エメ・セゼール『失われた肉体』
1949年12月15日制作 ヴァロリス
1950年刊 版元：フラグラン、パリ
銅版ドライポイントおよびスクレイパー、
40.9×30.8 cm; シュガー・アクアチント、
40.8×30.7 cm
MP3558/2 および 6
- N135
雌ヤギ
1950年 ヴァロリス
ブロンズ
120.5×72×144 cm
MP340
- N136
朝鮮の虐殺
1951年1月18日 ヴァロリス
油彩/合板
110×210 cm
MP203
- N137
ヤギの頭蓋骨、瓶、蠟燭
1951-1953年 ヴァロリス
彩色したブロンズ
79×93×54 cm
MP341
- N138
ヤギの頭蓋骨、瓶、蠟燭
1952年3月25日 パリ
油彩/カンヴァス
89×116 cm
MP206
- N139
アドリアン・ド・モンリュク『瘦せた女』
1951年4月13日制作
1952年刊 版元：ル・ドゥグレ・キャラン
テアン、パリ
ドライポイント、スクレイパー
40.7×23.2 cm
MP3560/1 および10
- N140
トラックの玩具で遊ぶ子ども
1953年12月27日 ヴァロリス
油彩/カンヴァス
130×96.5 cm
MP1990-25
- N141
デッサンするクロード、フランソワーズ、パロマ
1954年5月17日 ヴァロリス
油彩/カンヴァス
116×89 cm
MP209
- N142
膝をかかえるジャクリーヌ
1954年6月3日 ヴァロリス
油彩/カンヴァス
116×88.5 cm
MP1990-26
- N143
『詩とリトグラフ』
1954年 パリ
リトグラフ
64.5×48.5 cm
MP1988-8/3、MP1988-8/6、MP1988-8/12、MP1988-8/13、MP1988-8/14
- N144
ラ・カリフォルニー荘のアトリエ
1956年3月30日 カンヌ
油彩/カンヴァス
114×146 cm
MP211
- N145
ロック・グレイ『真夜中の馬』
1956年刊 版元：ル・ドゥグレ・キャラン
テアン、パリ
エングレーヴィング
23.1×15.4 cm
MP3565/1 および13
- N146
カンヌ湾
1958年4月19日-6月9日 カンヌ
油彩/カンヴァス
130×195 cm
MP212
- N147
トリスタン・ツァラ『バラと犬』
1958年刊 版元：P・A・ブノワ、アレス
ドライポイント、エングレーヴィング
27.6×18.9 cm
MP3586
- N148
ホセ・デルガード『ラ・タウロマキア』
1957年制作
1959年刊 版元：グスタボ・ジリ、バルセ
ロナ
アクアチント26葉
19.9×29.9 cm
MP1982-167/1~26
- N149
ヴォーヴナルグの食器棚
1959年3月23日-1960年1月23日 カンヌ/
ヴォーヴナルグ
油彩/カンヴァス
195×280 cm
MP214
- N150
ルネ・シャール『なぜ星は飛ぶのか』
1960年制作 カンヌ
1960年刊 版元：P・A・ブノワ、アレス
セルロイド版ドライポイント
3.1×10.5 cm
MP3572
- N151
ピエール・アンドレ・ブノワ『一生』
1960年制作 カンヌ
1960年刊 版元：P・A・ブノワ、アレス
セルロイド版ドライポイント
14.6×1.1 cm
MP3573
- N152
ピンダロス『ビュティア祝勝歌第八歌』
1960年制作 カンヌ
1960年刊 版元：P・A・ブノワ、アレス
セルロイド版ドライポイント
39.7×21.8 cm
MP3574/2
- N153
草上の昼食(マネに基づく)
1961年7月12日 ムージャン
油彩/カンヴァス
81×99.8 cm
MP216
- N154
椅子
1961年 カンヌ
裁断し、折り曲げ、彩色した銅板
111.5×114.5×89 cm
MP359
- N155
ルネ・シャールほか『1961年10月25日』
1961年制作 カンヌ
1961年刊 版元：P・A・ブノワ、アレス
セルロイド版ドライポイント
5.4×8.4 cm
MP2287
- N156
ルイス・ドミンギン『牡牛と闘牛士』
1961年刊 版元：セルクル・ダール、パリ
1959年のスケッチブックの複製
書籍寸法 37×27 cm
BIB64
- N157
ジャック・ブレヴェール『一昼夜』
(写真：アンドレ・ヴィレール)
1962年刊 版元：ベルグラン、パリ
コロタイプ
41×31.5 cm
BIB65
- N158
顔
(写真：アンドレ・ヴィレール)
1954-1961年 カンヌ/ヴァロリス
フォトグラム
30.3×23.8 cm
APPH2280
- N159
カミーロ・ホセ・セーラ『愛なき寓話の束』
1962年刊 版元：ロス・パペレス・デ・ソ
ン・アルマダンス、バルマ・デ・マジ
ョルカ
ジンク版ドライポイント
35×25.4 cm
MP2002.1
- N160
プロスペル・メリメ『カルメン』
1964年刊 版元：フランセ・レウニ、パリ
アクアチント、40.7×30.5 cm
リトグラフ、34×23 cm
書籍寸法 40.7×30.5 cm
BIB1432/3 および 6
- N161
ピエール・ルヴェルディ『流砂』
1964年2月8日制作 版元：レイ・プロデ、
パリ
アクアチント
38.2×27.6 cm
MP3577/1、MP3577/4、MP3577/9、
MP3577/10
- N162
ルネ・シャール『透明な人たち』
1967年刊 版元：P・A・ブノワ、アレス
カルタレグラフィ(セルロイド版)
書籍寸法 24.7×18.6 cm
MP3579/1~5
- N163
家族
1970年9月30日 ムージャン
油彩/カンヴァス
162×130 cm
MP222
- N164
母と子
1971年8月30日 ムージャン
油彩/カンヴァス
162×130 cm
MP226
- N165
フェルナンド・デ・ロハース『ラ・セレ
スティーナ』
1971年刊 版元：アトリエ・クロムラン
ク、パリ
エッチング、アクアチント
書籍寸法 21.7×17.5 cm
MP1989-6
- N166
フェルナンド・デ・ロハース『ラ・セレ
スティーナ』より
挿画66葉の別刷り
1970年刊 版元：アトリエ・クロムラン
ク、パリ
エッチング、アクアチント
図版寸法 74.8×105 cm
MP3053
- N167
風景
1972年3月31日 ムージャン
油彩/カンヴァス
130×162 cm
MP227

未来を担うアーティストたち
DOMANI・明日展 2008
文化庁芸術家在外研修の成果
出品リスト

中井貞次	原直久	13
1	1	8-03440 1982/8/11 BARI ITALIA 1982年 45.0×55.0 cm プラチナプリント
日蝕 1987年 170.0×170.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-00350 1974/8/2 10:01 Rue de la BOULANGERIE St.Denis France 1974年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	14
2	2	8-03591 1982/8/23 10:27 RUE DU L'OUEST Paris 14e France 1982年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
祈りの空間 1988年 170.0×170.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-00532 1974/9/3 14:51 Les Halles Centrales Paris France 1974年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	15
3	3	8-03702 1982/8/26 12:17 RUE DE PALL-KAO Paris 20e France 1982年 45.0×55.0 cm プラチナプリント
先島へ 1991年 170.0×170.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-00963 1976/12/10 14:35 Rue de TANGER Paris 19e France 1976年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	16
4	4	8-04320 1984/6/7 17:42 RIVELLO ITALIA 1984年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
樹座 1999年 170.0×170.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-01011 1976/12/16 14:49 Passage des TAILLANDIERS Paris 11e France 1976年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	17
5	5	8-04630 1984/6/25 9:59 CORTE DEL CAFETIER VENEZIA ITALIA 1984年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
桂林の月 2001年 140.0×70.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-01181 1977/1/16 10:59 45 Rue BASFROI Paris 11e France 1977年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	18
6	6	8-04771 1984/7/20 10:36 62 AV.DE BRETEUIL Paris 7e France 1984年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
狼煙台 2003年 170.0×170.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-01203 1977/1/24 15:52 Rue CHARLEMAGNE Paris 4e France 1977年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	19
7	7	8-04893 1984/7/29 11:54 PASSAGE THIERS Paris 11e France 1984年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
桂林只中 2005年 138.0×158.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-01231 1977/1/28 18:34 CATHEDRALE NOTRE-DAME la nuit Paris 4e France 1977年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	20
8	8	8-05076 1984/8/19 8:50 Metro VANEAU.RUE DE SEVRES Paris 7e France 1984年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
森の間 2007年 138.0×158.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-01380 1977/2/24 10:48 Square Ver Galant Paris 1e France 1977年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	21
9	9	8-05246 1984/9/13 16:30 GALLICANO NEL LAZIO ITALIA 1984年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
独樹 2007年 138.0×158.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-01474 1977/3/9 13:26 Canal St.MARTIN Quai de VALMY Paris 19e France 1977年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	22
10	10	8-05566 1984/10/4 13:20 PELLESTRINA VENEZIA ITALIA 1984年 45.0×55.0 cm プラチナプリント
凜と 2008年 138.0×158.0 cm 蠟防染、麻布藍染、浸染法	8-01509 1977/3/13 17:15 51 Rue de CHARONNE Paris 11e France 1977年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	23
田中信太郎	11	8-05930 1984/12/8 10:22 VEZAC FRANCE 1984年 45.0×55.0 cm プラチナプリント
1	11	8-03042 1981/8/22 14:30 VIA DEL PORTICO D'OTTAVIA ROMA ITALIA 1981年 55.0×45.0 cm プラチナプリント
Born(誕生) 2000年 130.0×Φ60.0 cm F.R.P	8-03329 1982/8/4 10:23 CANALE GRANDE VENEZIA ITALIA 1982年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	24
2	12	
Basilica、あるいは無域のマリア 2002年 50.0×400.0×400.0 cm ガラス、アルミ、石膏、ハロゲンラン プ、寒冷紗		
3		
MIRACLE(奇跡) 2005年 500.0×Φ130.0 cm 鉄、石		

[凡例]
作家名
No.
作品タイトル
制作年
サイズ (H×W×D)
素材・技法

25 8-06412 1985/ 4 / 2 9:05 GUADIX ESPANIA 1985年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	7 飛翔 2000-03年 85.0×110.0 cm マルチカラーマルチチャンネルホログラム、アクリル	山本富章 1 Delta 6 2000年 h 121.0×Φ61.0 cm(1個)、 h 111.0×Φ61.0 cm(2個)、 h 101.0×Φ61.0 cm(1個)、 h 91.0×Φ61.0 cm(1個)、 h 81.0×Φ61.0 cm(1個) アクリル、木	9 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
26 8-08873 1993/ 8 / 23 11:18 Iglesia de San Agustin Belchite ESPANIA 1993年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	8 America-America 2000-03年 85.0×110.0 cm マルチカラーマルチチャンネルホログラム、アクリル	2 円筒状に-12の月 2003年 h 61.0×Φ51.0 cm(4個)、 h 51.0×Φ51.0 cm(4個)、 h 41.0×Φ51.0 cm(4個) アクリル、木	10 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
27 8-08955 1993/ 8 / 28 14:31 SOTOPORTEGO SECONDO VENEZIA ITALIA 1993年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	舟越桂 1 水に映る月蝕 2003年 90.0×55.0×47.0 cm 楠に彩色、大理石	3 2007 2007年 300.0×75.0×100.0 cm アクリル、木	11 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
28 8-08980 1993/ 8 / 28 20:22-23 PIAZZA S.MARCO VENEZIA ITALIA 1993年 45.0×55.0 cm プラチナプリント	2 言葉をつかむ手 2004年 98.0×62.0×42.0 cm 楠に彩色、大理石	ヒグマ春夫 1 DIFFERENCE 2008 2008年 ビデオ・インスタレーション	12 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
29 8-09084 1993/ 8 / 30 19:56-20:00 PIAZZA S.MARCO VENEZIA ITALIA 1993年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	3 戦争をみるスフィンクス 2005年 100.0×49.0×33.0 cm 楠に彩色、大理石、革	馬場磨貴 1 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	13 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
30 8-10134 1999/ 9 / 1 17:52 FONDAMENTA DE LE VESTE VENEZIA ITALIA 1999年 55.0×45.0 cm プラチナプリント	4 森に浮くスフィンクス 2006年 227.5×98.0×106.0 cm 楠に彩色、大理石、革、雑木、鉄	2 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	14 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
石井勢津子 1 もうひとつの窓 1995年 Φ180.0×10.0 cm 反射型ホログラム、ガラス、木	5 見晴らし台のスフィンクス 2008年 115.0×55.0×35.5 cm 楠に彩色、大理石、革	3 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	15 Absence 2005年 140.0×60.0 cm インクジェットプリント
2 アクエウスのつぶやきT-96 1996年 215.0×110.0×270.0 cm 2点 マルチカラーレインボウホログラム、 ガラス、ミラー、鉄	6 幅跳びの裸婦 2002年 105.0×89.0 cm 鉛筆、紙	4 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	16 Absence 2005年 140.0×60.0 cm インクジェットプリント
3 Floating 1 1997年 120.0×130.0 cm マルチカラーアニメーションホログラム、アクリル	7 「水に映る月蝕」のためのドローイング 2003年 98.0×90.0 cm 鉛筆、紙	5 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	17 Absence 2005年 60.0×140.0 cm インクジェットプリント
4 Floating 2 1997年 120.0×130.0 cm マルチカラーアニメーションホログラム、アクリル	8 「森に浮くスフィンクス」のための習作 2006年 43.5×31.0 cm インク、水彩、修正液、紙	4 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	18 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
5 Self-portrait - Body With Fabric 1 2000-03年 110.0×130.0 cm マルチカラーマルチチャンネルホログラム、アクリル	9 スフィンクス習作 2007年 55.0×39.5 cm インク、紙	6 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	19 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
6 Self-portrait - Body With Fabric 2 2000-03年 110.0×130.0 cm マルチカラーマルチチャンネルホログラム、アクリル	10 「見晴らし台のスフィンクス」のためのドローイング 2008年 111.5×90.5 cm 鉛筆、紙	7 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	20 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント
		8 Absence 2005年 70.0×70.0 cm インクジェットプリント	21 Cocue el dolado 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩
			22 Cocue poseidon 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩
			23 Cocue diva 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩

24 Cocue epicurean 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩	2 顔 1994年1月1日 — ∞ 1994年 - 現在 インスタレーション	12 スコラ宇宙の回転 2008年 207.0×147.0 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	4 白い雨 2007年 116.7×116.7 cm 顔料、箔、麻紙
25 Cocue crystal maria 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩	駒形克哉 1 フラウィウス朝風の金堂 2003年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	13 16の風景と日々 2008年 (各)51.5×36.4 cm 16枚 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	5 水のほとり 2007年 101.0×181.8 cm 顔料、麻紙
26 Cocue babel tower 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩	2 夜空を飛ぶ昆虫たち 2003年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	14 エコーの森3 SILVA ECHUSⅢ(シルワ・エクス・トレース) 2008年 (各)103.0×72.8 cm 10枚 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	6 過去の森 現在の海 2007年 80.3×116.7 cm 顔料、箔、麻紙
27 Cocue gigi 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩	3 黄金の鳥籠の憶い出 2005年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	15 幾何学の寓意 2008年 (各)45.5×33.3 cm 3枚 油彩、キャンバス	7 ゆれるかげ 2007年 181.8×227.3 cm 顔料、麻紙
28 Cocue cosmos 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩	4 楽園の小鳥:楽園の小鳥は小鳥の楽園に住まっているのでしょうか。漸く見つけた幸せの小鳥を連れて帰ってくる用意してあった黄金の鳥籠にはもう別の小鳥が住まっているではありませんか。あなたは誰と小鳥に問いかけても私によく似た顔でびよびよきゅるとと囁るばかりです。 2005年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	16 生命の樹(金の生る樹) 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	8 Holy Water 2008年 91.0×145.7 cm 顔料、麻紙
29 Cocue eve 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩	5 エコーの森 SILVA ECHUS(シルワ・エクス) 2007年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	17 日本国十円金貨(偽金作りシリーズI) 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	9 記憶の雫 2008年 181.8×227.3 cm 顔料、箔、麻紙
30 Cocue single 2008年 49.0×36.0 cm プラチナシルバープリント、銀塩	小林浩 1 定言命法 2008年 135.0×270.0 cm アクリル絵具、キャンバス	18 16枚の金貨(偽金作りシリーズII) 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	山本晶 1 実をうかす 2008年 218.2×259.9 cm 油彩、キャンバス
2 上昇気流 2008年 259.0×194.0 cm アクリル絵具、キャンバス	6 エコーの森2 SILVA ECHUSⅡ(シルワ・エクス・ドゥオ) 2007年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	19 格子 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	2 音をたつ 2008年 194.0×162.0 cm 油彩、キャンバス
3 沐浴 2008年 130.5×194.0 cm アクリル絵具、キャンバス	7 黄金の小鳥の憶い出 2007年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	20 為替の連祷 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	3 かまえる 2008年 194.0×162.0 cm 油彩、キャンバス
4 城 2008年 194.0×259.0 cm アクリル絵具、キャンバス	8 見えない星空と秘密の16夜 2007年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	21 龍舌蘭 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	4 そらのランドマーク 2008年 162.1×162.1 cm 油彩、キャンバス
5 観測気球 2008年 162.0×259.0 cm アクリル絵具、キャンバス	9 TERRAE MOTUS 地震:盲目の統治の寓意 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	22 洋服 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	5 チェイス 2008年 162.1×162.1 cm 油彩、キャンバス
6 休憩時間 2008年 145.5×145.5 cm アクリル絵具、キャンバス	10 EXIENS CUM PEGMA SURCULIS GRAMATICA AQUAM TEMPLO FORTUNAE DAT RHETORICAE (運命神神殿をリフトで退出する擬人化された「文法」が「修辞」の芽に水をやる) 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	伴戸玲伊子 1 つらなる土地 2003年 114.0×363.0 cm 顔料、箔、麻紙	小山利枝子 1 おだやかな夢の香り 2002年 227.5×437.0 cm アクリル絵具、キャンバス
開発好明 1 レシート日記 1992年 - 現在 インスタレーション	11 逃げる生きもの 2008年 103.0×72.8 cm 黄金切り紙細工/金紙、人造宝石、硝子	2 やわらかい泥 2003年 227.3×181.8 cm 顔料、箔、麻紙	2 種子の秘密 2003年 162.1×227.0 cm アクリル絵具、キャンバス
		3 夜明け前 2007年 72.7×91.0 cm 顔料、箔、麻紙	3 すべては満ち溢れる 2004年 227.5×437.0 cm アクリル絵具、キャンバス

4
ひかりの底
2006年
194.0×162.0 cm
アクリル絵具、キャンバス

5
シャクヤク
2007年
91.0×117.0 cm
アクリル絵具、キャンバス

6
Petunia
2007年
91.0×65.5 cm
アクリル絵具、キャンバス

7
百日草
2007年
73.0×61.0 cm
アクリル絵具、キャンバス

8
胎動
2008年
227.5×437.0 cm
アクリル絵具、キャンバス

9
月
2008年
97.0×164.0 cm
アクリル絵具、キャンバス

10
アメジストの夜
2008年
97.0×164.0 cm
アクリル絵具、キャンバス

菱山裕子

1
空飛ぶ男
2000年
245.0×380.0×600.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

2
見えるものと見えないもの
2000年
89.0×56.0×38.5 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

3
Reaching for Your Heart
2002年
168.0×78.0×80.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

4
INDEED-sign-
2002年
250.0×220.0×600.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

5
いちじく
2003年
102.0×35.0×48.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

6
約束
2003年
91.0×20.0×24.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

7
あの日の空
2003年
97.0×40.0×40.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

8
WOOF!
2006年
62.5×43.0×65.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

9
FLOWER FANCY
2006年
106.0×40.0×30.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレス
スチール、木

10
on his journey
2006年
106.0×40.0×30.0 cm
立体/アルミニウム、ステンレススチール、
木

11
I'M A BIRD!
2006年
25.0×72.0×22.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

12
I'm not looking.
2006年
26.0×30.0×31.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

13
Koochie Koochie Koo!
2006年
26.0×30.0×31.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

14
Singing
2006年
49.0×35.0×33.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

15
SAFE
2006年
40.0×50.0×37.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

16
Oh,dear! Deer?
2006年
25.0×66.0×21.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

17
Dance
2006年
50.0×35.0×21.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

18
THIS BIG?
2006年
50.0×48.0×20.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、木、コラーージュ

19
ゆり
2008年
300.0×300.0×90.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、他

20
時計草
2008年
300.0×300.0×90.0 cm
レリーフ/アルミニウム、ステンレス
スチール、他

加山又造展
出品リスト

第1章 動物たち、あるいは生きる悲しみ — 様式化の試み	18 木枯 1959(昭和34) 紙本彩色/額装 長谷川町子美術館	36 はなふぶき 1986(昭和61) 紙本彩色/四曲一隻屏風 個人蔵
1 原始時代 1951(昭和26) 紙本彩色/額装 東京藝術大学	19 キリン 1960(昭和35) 紙本彩色/額装 東京都現代美術館	第4章 花鳥画の世界 — 「いのち」のかたち
3 月と犀 1953(昭和28) 紙本彩色/額装 東京国立近代美術館	第2章 時間と空間を超えて — 無限の宇宙を求めて	37 紅白梅 1965(昭和40) 紙本彩色/額装 個人蔵
5 月と縞馬 1954(昭和29) 紙本彩色/額装 個人蔵	20 奥入瀬 1962(昭和37) 絹本彩色/六曲一雙屏風 個人蔵	38 彌生屏風 1969(昭和44) 絹本彩色/六曲一雙屏風 個人蔵
6 迷える鹿 1954(昭和29) 紙本彩色/額装 個人蔵	22 華扇屏風 1966(昭和41) 絹本彩色/六曲一雙屏風 個人蔵	39 音 1972(昭和47) 紙本彩色/額装 メナード美術館
7 悲しき鹿 1954(昭和29) 紙本彩色/額装 東京国立近代美術館	23 春秋波濤 1966(昭和41) 絹本彩色/六曲一隻屏風 東京国立近代美術館	40 華と猫 1973(昭和48) 紙本彩色/額装
8 ひるね 1955(昭和30) 紙本彩色/額装 個人蔵	24 雪月光 1967(昭和42) 絹本彩色/六曲一隻屏風 個人蔵	41 満月光 1973(昭和48) 紙本彩色/六曲一隻屏風 山種美術館
9 狼 1956(昭和31) 紙本彩色/六曲一隻屏風 個人蔵	25 天の川 1968(昭和43) 絹本彩色/六曲一雙屏風 個人蔵	43 雪 1978(昭和53) 紙本彩色/額装 東京国立近代美術館
11 黒い鳥 1957(昭和32) 紙本彩色/額装 愛知県美術館	26 七夕屏風 1968(昭和43) 絹本彩色/六曲一隻屏風 セントルイス美術館(アメリカ)	44 月 1978(昭和53) 紙本彩色/額装 東京国立近代美術館
12 冬 1957(昭和32) 紙本彩色/額装 東京国立近代美術館	27 千羽鶴 1970(昭和45) 絹本彩色/六曲一雙屏風 東京国立近代美術館	45 花 1978(昭和53) 紙本彩色/額装 東京国立近代美術館
13 冬 1957(昭和32) 紙本彩色/額装	第3章 線描の裸婦たち — 永遠のエロティシズム	46 牡丹 1979(昭和54) 紙本墨画彩色/四曲一隻屏風 富山県水墨美術館
14 紅鶴 1957(昭和32) 紙本彩色/額装 個人蔵	29 裸婦習作(黒いレース) 1975(昭和50) 紙本彩色/二曲一隻屏風 東京国立近代美術館	47 夜桜 1982(昭和57) 紙本彩色/四曲一雙屏風 光記念館
15 月と駱駝 1957(昭和32) 紙本彩色/額装 新潟県立近代美術館・万代島美術館	30 裸婦習作(白いレース) 1975(昭和50) 紙本彩色/二曲一隻屏風 東京国立近代美術館	48 不二 1984(昭和59) 紙本彩色/軸装 個人蔵
16 動物園 キリン 1957(昭和32)頃 紙本彩色/額装 個人蔵	31 黒い薔薇の裸婦 1976(昭和51) 紙本彩色/四曲一隻屏風 東京国立近代美術館	49 秋草 1988(昭和63) 紙本彩色/四曲一隻屏風 財団法人 駒形十吉記念美術館
17 動物園 象 1957(昭和32)頃 紙本彩色/額装 医療法人社団 水野内科クリニック	32 白い薔薇の裸婦 1976(昭和51) 紙本彩色/四曲一隻屏風 東京国立近代美術館	50 華と猫 1991(平成3) 紙本彩色/額装 個人蔵
	35 はなびら 1986(昭和61) 紙本彩色/四曲一隻屏風 個人蔵	

[凡例]
Cat.no.
作品名
制作年
技法・材質/形状
所蔵

51 月と秋草 1996(平成8) 紙本彩色/四曲一隻屏風 奈良県立万葉文化館	68 鉄赤絵白梅文大鉢 1978(昭和53) 陶器(作陶: 番浦史郎) 個人蔵	82 はぎ 1985(昭和60) 金、ダイヤモンド、プラチナ/ネックレス、 アームレット、イヤリング、指輪 個人蔵	96 下水引壱番「飛天奏楽」東西南北 2000(平成12)～2001(平成13) 絹、金糸、銀糸 財団法人 南観音山保存会
52 夜桜 1998(平成10) 紙本彩色/六曲一隻屏風 個人蔵	69 鉄赤絵金彩芥子文大鉢 1978(昭和53) 陶器(作陶: 番浦史郎) 鳳琳カントリー倶楽部	83 宝飾デザイン下絵(はぎ) 1985(昭和60) 紙本彩色 個人蔵	97 御山格天井「四季草花図」原画 1994(平成6)～2002(平成14) 紙本彩色 財団法人 南観音山保存会
第5章 水墨画 — 色彩を超えた「色」	70 鉄赤絵金彩波鶴文大鉢 1978(昭和53) 陶器(作陶: 番浦史郎) 個人蔵	84 はなびら 1985(昭和60) 金、ダイヤモンド、プラチナ/ネックレス、 パレット、イヤリング、指輪 個人蔵	98 『新潮』表紙絵 1971(昭和46) 紙本彩色/画帖 個人蔵
53 風 1974(昭和49) 紙本彩色/軸装 個人蔵	71 鉄赤絵金銀彩白牡丹文大鉢 1982(昭和57) 陶器(作陶: 番浦史郎) 個人蔵	85 宝飾デザイン下絵(はなびら) 1985(昭和60) 紙本彩色 個人蔵	99 鹿 1955(昭和30) 1974(昭和49) エッチング、雁皮刷、1版、ヴェラン・ アルシュ、雁皮紙 個人蔵
54 水墨山水図 1978(昭和53) 紙本墨画/六曲一双屏風 財団法人 駒形十吉記念美術館	72 鉄絵銀彩篇文大鉢 1982(昭和57) 陶器(作陶: 番浦史郎) 鳳琳カントリー倶楽部	86 銀色摺箔波文振袖 1980(昭和55) 絹/着物 個人蔵	100 狼 1955(昭和30) 1974(昭和49) エッチング、雁皮刷、1版、ヴェラン・ アルシュ、雁皮紙 個人蔵
55 月光波濤 1979(昭和54) 紙本墨画/四曲一双屏風 個人蔵	73 銀彩篇文重箱 1982(昭和57) 陶器(作陶: 番浦史郎) 個人蔵	87 黒地銀泥笹文打掛 1982(昭和57) 絹/着物 個人蔵	101 冬 1968(昭和43) 1968(昭和43): 第1刷 1978(昭和53): 第2刷 メジチント、ビュラン、雁皮刷、1版、 ヴェラン・アルシュ、雁皮紙 個人蔵
56 啼 1980(昭和55) 紙本墨画/四曲一隻屏風 財団法人 駒形十吉記念美術館	74 金銀彩撫子文茶盃 1985(昭和60) 陶器(作陶: 金重素山) 個人蔵	88 綸子色地柳桜文訪問着 1985(昭和60) 絹/着物 個人蔵	102 カラス 1970(昭和45) メジチント、ビュラン、1版、BFK 個人蔵
57 翔 1980(昭和55) 紙本墨画/四曲一隻屏風 財団法人 駒形十吉記念美術館	75 金銀彩鶴日輪文茶盃 1985(昭和60) 陶器(作陶: 金重素山) 個人蔵	89 上布篇付立訪問着 1985(昭和60) 麻(越後上布)/着物 個人蔵	103 玉虫 1970(昭和45) メジチント、5版、BFK 個人蔵
58 凍れる月光 1981(昭和56) 紙本墨画/四曲一隻屏風 富山県水墨美術館	76 志野桔梗文湯呑 1989(平成元) 陶器(作陶: 鈴木蔵) 個人蔵	90 銀摺箔墨絵牡丹訪問着 1985(昭和60) 絹/着物 美裳三松	104 ほね貝と千鳥 1972(昭和47) メジチント、ビュラン、4版、ヴェラ ン・アルシュ 個人蔵
59 黄山煙雨 1982(昭和57) 紙本墨画/二曲一隻屏風 個人蔵	77 志野鳥文小皿 1989(平成元) 陶器(作陶: 鈴木蔵) 個人蔵	91 錦紗豊後紅梅染千羽鶴文色留袖 1986(昭和61) 絹/着物(染織: 志村ふくみ) 個人蔵	105 熱帯魚 1977(昭和52) メジチント、ビュラン、4版、ヴェラ ン・アルシュ 個人蔵
62 龍図 1988(昭和63) 絹本墨画彩色/六曲一双屏風 光記念館	78 デミタスカップ&ソーサー「Cat」 2001(平成13) 磁器(大倉陶園製) 個人蔵	92 白梅図羽子板 1983(昭和58) 桐製/羽子板(板制作: 駒沢利斎) 個人蔵	106 メタモルフォーシス 1979(昭和54) メジチント、ビュラン、4版、ヴェラ ン・アルシュ 個人蔵
63 仿北宋水墨山水雪景 1989(平成元) 絹本墨画/四曲一隻屏風 多摩美術大学美術館	79 デミタス碗皿「春夏秋冬」 1990年代後半 磁器(大倉陶園製)/デミタス碗皿(大)各1客、 デミタス碗皿(小)各1客、ブチケーキ皿各2枚 個人蔵	93 紅梅図羽子板 1983(昭和58) 桐製/羽子板(板制作: 駒沢利斎) 個人蔵	107 翡翠 1990 1990(平成2) メジチント、ビュラン、4版、ヴェラ ン・アルシュ 個人蔵
64 仿北宋寒林雪山 1992(平成4) 紙本墨画/六曲一隻屏風 個人蔵	80 洋食器セット「撫子」 1992(平成4) 磁器(ノリタケ製)/ミート皿、フィッシュ皿、 パン皿、深皿、フルーツ皿、ブイヨンカップ& ソーサー、ティーカップ&ソーサー 個人蔵	94 雲龍図羽子板 1983(昭和58) 桐製/羽子板(板制作: 駒沢利斎) 個人蔵	108 KAKI 1990(平成2) メジチント、ビュラン、4版、ヴェラ ン・アルシュ 個人蔵
第6章 生活の中に生きる「美」	81 洋食器セット「萩」 1991(平成3) 磁器(ノリタケ製)/ミート皿、フィッシュ皿、 パン皿、深皿、フルーツ皿、ブイヨンカップ& ソーサー、ティーカップ&ソーサー 個人蔵	95 祇園祭山鉾南観音山見送り「龍王渡海」 1988(昭和63) 綴織、絹(制作: 川島織物) 財団法人 南観音山保存会	109 1990(平成2) メジチント、ビュラン、4版、ヴェラ ン・アルシュ 個人蔵
66 鉄絵金銀彩篇文俎皿 1978(昭和53) 陶器(作陶: 番浦史郎) 個人蔵	67 搔落桜文俎皿 1978(昭和53) 陶器(作陶: 番浦史郎) 個人蔵		

平成20年度[第12回]
文化庁メディア芸術祭
出品リスト

Oups! Marcio AMBROSIO アート部門 大賞 インスタレーション 実物 2007	shadows 片岡 純也 アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 映像紹介 2008	タイブトレース道～舞城王太郎之巻 遠藤 拓己/ドミニク チェン/舞城 王太郎 アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 実物 2007
touched echo Markus KISON アート部門 優秀賞 インタラクティブ 実物 2007	Through Time Tunnel Miseong LEE/Tek-jin NAM アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 映像紹介 2007	サーチエンジン 安野 太郎(方法マシン) アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 映像紹介 2008
Touch the Invisibles 渡邊 淳司/草地 映介/安藤 英由樹 アート部門 優秀賞 インタラクティブ 実物 2008	虫HOW? 松尾 佳菜子(たまごちゃん) アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 映像紹介 2007	COMPONENT YANG Jung Ae アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008
Moment – performatives spazieren 田口 行弘 アート部門 優秀賞 映像 映像+静止画 2008	A wave make the wave 鈴木 浩之 アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 映像紹介 2008	Photon 泉川 健二 アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008
OUTSIDE Alexander MENDELEVICH アート部門 優秀賞 静止画 実物 2008	Bloodline of the Buddhas Chris LOUKES アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 映像 2008	Resight 平川 祐樹 アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007
insider outsider 海老原 優 アート部門 奨励賞 インスタレーション 実物 2008	Breaking The News – Be a News – Jockey Marc LEE アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 作品集内紹介 2007	Swimming Moon 牧 奈歩美 アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008
don't, stop Julie GENDRON/Emma HENDRIX アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 映像紹介 2007	Kinetic Sculpture for the new BMW Museum in Munich Joachim SAUTER / Patrick KOCHLIK / Susanne TRÄGER (ART+COM) アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 映像 2008	vomPunktzurLiniezurFlaechezumRaumin derZeit (fromPointtoLinetoPlanetoSpacei nTime) Tobias DAEMGEN アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008
Flow 5.0 Daan ROOSEGAARDE アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 映像紹介 2007	Standard Time Mark FORMANEK アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 映像 2007	water drawing—ファンタム— 大崎 のぶゆき アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008
Hull Loss Nova JIANG アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 実物 2008	STEREO SHADOW 五島 一浩 アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 実物 2008	お話の力学 重田 佑介 アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008
Image Fulgurator Julius VON BISMARCK アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 作品集内紹介 2008	The Telephone Eulogies Joe HISCOTT アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 映像紹介 2008	記憶全景 横田 将士 アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008
Oasis II Yunsil HEO/Hyunwoo BANG アート部門 審査委員会推薦作品 インタラクティブ 実物 2008	計算の庭 佐藤 雅彦+桐山 孝司 アート部門 審査委員会推薦作品 インスタレーション 映像 2007	誓い 箭内 道彦(ロックンロール食堂) アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007

[凡例]
作品名
作者名
部門名
賞名
作品形式
展示形態
制作年

まばたく、 牧 かほり/南 志保 アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	東京コンポジション 岡崎 真理子 アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2008	Wii Fit [Wii Fit]開発チーム代表 宮本 茂 エンターテインメント部門 優秀賞 ゲーム 実機体験+PC展示 2007	アフリカ Project AFRIKA代表 立川 勝基 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
リンカーネーション 串田 壮史 アート部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	BODY IN BITS AND PIECES Carolien HERMANS アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2007	君の身体を変換してみよ展 佐藤雅彦研究室+桐山孝司研究室/ユー フラテス エンターテインメント部門 優秀賞 展覧会 映像 2008	大合奏！バンドブラザーズDX [大合奏！バンドブラザーズDX]開発チー ム代表 北村 典子 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
1 of pattern 松丸 宗裕 アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2008	JICAボランティア WORLD REPORTER/ ワールドレポーター 竹内 和彦 アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2007	Carbon Footprint [Carbon Footprint]製作チーム代表 Matt CHANDLER エンターテインメント部門 優秀賞 映像 映像 2007	ドラゴンクエストⅣ 導かれし者たち 堀井 雄二 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007
Green Island 田口 亮 アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2008	REC YOU 伊藤 直樹 アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2007	FONTPARK 2.0 中村 勇吾 エンターテインメント部門 優秀賞 Web PC展示+映像展示 2008	ドラゴンクエストⅤ 天空の花嫁 堀井 雄二 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
I Love NY Junk アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007	Ten Thousand Cents アロン コ布林/川島 高 アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2008	Gyorol [Gyorol]制作チーム代表 朴 正義 エンターテインメント部門 奨励賞 Web 体験展示 2008	ナイツ・イン・ザ・ナイトメア 伊藤 真一 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
mekureru 佐藤 俊一 (shun&you) アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2008	(the tender indifference) Jorn EBNER アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2008	AQUANAUT'S HOLIDAY ～隠された記 録～ 山口 洋一 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008	PixelJunk™ Eden [PixelJunk™ Eden]開発チーム代表 ディラン カスバート エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
MORE Helle Vibeke JENSEN アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2008	コンク 片山 義幸 アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2007	Bikeware [Bikeware]プロジェクト代表 安田 俊平 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 映像紹介 2008	ポケットモンスター ブラチナ [ポケットモンスター ブラチナ]開発チー ム代表 川内丸 武史 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
traveler Tango YUEN アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2008	そらいろー きょうの、日本の天気 アラカワケンスケ アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2008	Devil May Cry 4 [Devil May Cry 4]開発チーム代表 小 林 裕幸 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008	無限回廊 鈴木 達也 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
「空間生態」2008イタリアーサンセビリー ノ マルケー 加賀谷 武 アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007	博報堂ブランドデザイン [博報堂ブランドデザイン]制作チーム代 表 太田 伸志 アート部門 審査委員会推薦作品 ウェブ PC展示 2008	DS文学全集 [DS文学全集]開発チーム代表 山上 仁 志 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007	龍が如く 見参！ 名越 稔洋 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2008
時間も 距離も 空間も 柿沼 周史 アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2008	TENORI-ON 岩井 俊雄/[TENORI-ON]開発チーム代表 西堀 佑 エンターテインメント部門 大賞 電子楽器 実機体験+映像展示 2007	levelHead Julian OLIVER エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 ゲーム 実物 2008	時雨 takram design engineering/IDE Hiroaki エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 遊具 映像紹介 2007
十二支/TWELVE ANIMALS 長井 健太郎 アート部門 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007			

ふるまい takram design engineering/SATOH Taku /water project エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 遊具 映像紹介 2007	キューピーマヨネーズ「Central Park」篇 秋山 晶 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	カルピスソーダ学園/カルピスソーダ カップ ウェブサイト 石井 雄樹/小松 季弘/平 知己 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2008	コードギアス 反逆のルルーシュ R2 谷口 悟朗 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008
ペンギン爆弾 中村 開己 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 遊具 実物展示 2008	この街で働きたい 澤本 嘉光 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007	月刊剣道時代プロゲパーツ 阿部 晶人 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2008	さよなら絶望先生 新房 昭之 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2007
カミロポ 安居 智博 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 キャラクター 実物展示+パネル 2008	食料の未来を確かなものにするために groovisions エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	マインド・ラボ 「マインド・ラボ」制作チーム代表 入道 隆行 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2008	ステファンの恩返し 内藤 まろ/すずき ゆきひろ/青木 純/ 恵土 敦 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2007
閃考会議室 「閃考会議室」プロジェクト代表 植木 淳 朗 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 オフィスシステム 映像紹介 2008	ストリートファイターⅣ 大橋 聡雄 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	つみきのいえ 加藤 久仁生 アニメーション部門 大賞 短編 映像+原画 2007	ストライクウィッチーズ 高村 和宏 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008
Drop Michael RUSSOFF/Caroline PAY エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	プロダクトイノベーション Chris HUTCHINSON/Driscoll REID エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	カイバ 湯浅 政明 アニメーション部門 優秀賞 TV・OVA 映像+原画 2008	ソウルイーター 五十嵐 卓哉(監督) アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008
i-volution 加藤 友之(クリエイティブ・ ディレクター/プランナー)/ Kuntzel+Deygas(ディレクター) エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007	「リゲイン的出社風景」篇 山田 和正 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007	DREAMS 荒井 知恵 アニメーション部門 優秀賞 短編 映像+原画 2008	鉄腕バーディー DECODE 赤根 和樹 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008
Jemapur : Maledict Car Music Video 関根 光才/Eric CRUZ エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007	AXE WAKE-UP SERVICE INC. 朴 正義 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2008	KUDAN 木村 卓 アニメーション部門 優秀賞 短編 映像+原画 2008	東京マーブルチョココレート 塩谷 直義 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2007
Plugged 古賀 庸郎/山本 信一 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2008	driveeverydrop.com Eric CRUZ エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2008	こどもの形而上学 山村 浩二 アニメーション部門 優秀賞 短編 映像+原画 2007	のらみみ 湖山 禎崇 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008
エスコート 江口 カン エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007	prototype 1000 佐藤 ねじ エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2008	ALGOL 岡本 憲昭 アニメーション部門 奨励賞 短編 映像+原画 2008	墓場鬼太郎 地岡 公俊(監督) アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008
きまぐれロボット 辻川 幸一郎 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 映像 映像 2007	あなたの近くにある会社 佐野 勝彦 エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2007	劇場版 空の境界 俯瞰風景 あおき えい アニメーション部門 審査委員会推薦作品 劇場公開 映像 2007	ヘルズ エンジェルス 山川 吉樹 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008
	いきものみつけ 「いきものみつけ」キャンペーン代表 マエキタ ミヤコ エンターテインメント部門 審査委員会推薦作品 Web PC展示 2008	スカイ・クロラ The Sky Crawlers 押井 守 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 劇場公開 映像 2008	みなみけ 太田 雅彦 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2007

やさいようせい第5話「ピアノがいなくなっちゃった」 天野 喜孝 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 TV・OVA 映像 2008	校長先生とクジラ 山村 浩二 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2007	宗教授異考録 星野之宣 マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+原画+パネル 2007	聖☆おにいさん 中村 光 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007
BUILDINGS 上甲 トモヨシ アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	コルネリス 中田 彩郁 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	Cartoon 2008 菊池 正文 マンガ部門 奨励賞 一コママンガ 単行本+原画+パネル 2008	のだめカンタービレ 二ノ宮 知子 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007
CHRISTIAN BAUER-Tree of Life 橋本 ダイスケ アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	スケッチブック〜華屋八兵衛 ノ巻 竹内 僚平 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	Ns'あおい こしのりょう マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	ハチワンダイバー 柴田 ヨクサル マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007
DEVOUR DINNER 水江 未来 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	忠告 李 傑 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	犬夜叉 高橋 留美子 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	秘密 - トップ・シークレット - 清水 玲子 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007
Omstart Cornelius/辻川 幸一郎 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	ニヤッキ! ふみきり 伊藤 有壹 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	雨柳堂夢咄 波津 彬子 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	星守る犬 村上 たかし マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2008
shift 八木 智子 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	バンク直し 岡本 将徳 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	美味しんぼ 雁屋 哲(原作)/花咲 アキラ(画) マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	木造迷宮 アサミ・マート マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2008
Syscapes # Interlude Eric SCHOCKMEL アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	福来町、トンネル路地の男 岩井澤 健治 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	オトメン(乙男) 菅野 文 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	もやしもん 石川 雅之 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007
swimming 平山 志保 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	ピアノの森 一色 まこと マンガ部門 大賞 ストーリーマンガ 単行本+原画+パネル 2007	ギャラクシー銀座 長尾 謙一郎 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	臨死!!江古田ちゃん 瀧波 ユカリ マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007
王さまものがたり 3 三角 芳子 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	Real Clothes 横村 さとる マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+原画+パネル 2007	この世界の片隅に こうの 史代 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	NEKO NO HANGA 藤宮 史 マンガ部門 審査委員会推薦作品 自主制作マンガ 実物展示 2008
オーケストラ 奥田 昌輝/小川 雄太郎/大川原 亮 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2008	葉と紙魚子 諸星 大二郎 マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+原画+パネル 2007	上京アフロ田中 のりつけ雅春 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	悪魔学園 小松 佑将 マンガ部門 審査委員会推薦作品 自主制作マンガ 実物展示 2008
ギンガムチェックの小鳥 長井 勝見 アニメーション部門 審査委員会推薦作品 短編 映像 2007	マエストロ さそう あきら マンガ部門 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本+原画+パネル 2008	新宿スワン 和久井 健 マンガ部門 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007	大風呂敷漫画 蛸麵博 筑濱 カズコ(筑濱 健一(構成)/筑濱 和子(作画)) マンガ部門 審査委員会推薦作品 自主制作マンガ 実物展示 2008

かきなぐり漫画
すかしっぺ夫婦(すかしペー子/すかし
ペー夫)
マンガ部門
審査委員会推薦作品
自主制作マンガ
実物展示
2008

カゲロー
四宮 義俊
マンガ部門
審査委員会推薦作品
自主制作マンガ
実物展示
2008

ヒトリゴトノシロ
柴本 翔
マンガ部門
審査委員会推薦作品
自主制作マンガ
実物展示
2008

僕らは見ている。
濱田 亮
マンガ部門
審査委員会推薦作品
自主制作マンガ
実物展示
2008

minus.
Ryan ARMAND
マンガ部門
審査委員会推薦作品
Webマンガ
PC展示
2008

オシゴトじかん
市松
マンガ部門
審査委員会推薦作品
Webマンガ
PC展示
2008

ハック・トゥ・ザ・ブレイン
萱島 雄太
マンガ部門
審査委員会推薦作品
Webマンガ
PC展示
2008

ほのぼの日和
薄 雄大
マンガ部門
審査委員会推薦作品
Webマンガ
携帯電話実機展示
2008

ヤクゼン！ 韓国美少女の挑戦
チェ ヘウング
マンガ部門
審査委員会推薦作品
Webマンガ
PC展示
2008

アーティスト・ファイル2009
—現代の作家たち
出品リスト

ペーター・ボーゲルス | Peter BOGERS

1
《共有された瞬間》
2002年
ビデオインスタレーション
23分00秒

2
《統一場》
2006年
ビデオインスタレーション
20分00秒

*
《カII》
1996/2009年
ビデオループ

*
《結合》
2003/2009年
ビデオループ

*
《ブレインフィールドII》
2008/2009年
ビデオループ

*
《犠牲》
1994/2009年
ビデオループ

平川滋子 | HIRAKAWA Shigeko

1
《光合成の木》
2009年
直径22cmのプラスチック円盤、フォト
クロミック・ビグメント

2
《光合成の木 東京2009》
2009年
ビデオ

石川直樹 | ISHIKAWA Naoki

1
《POLAR》
2007年
各76×93 cm
タイプCプリント
作家蔵
協力：SCAI THE BATHHOUSE

1-1 《Ilulissat/ GREENLAND # 1》
2006年(2点1組)

1-2 《Dog sled/ Ilulissat # 1》
2006年

1-3 《Dog sled/ Ilulissat # 2》
2006年

1-4 《Dog sled/ Ilulissat # 4》
2006年

1-5 《Ilulissat/ GREENLAND # 5》
2006年

1-6 《Graveyard/ Ilulissat》
2006年

1-* 《Ilulissat/ GREENLAND # 2》
2006年

1-* 《Ilulissat/ GREENLAND # 3》
2006年

2
《NEW DIMENSION》
2007年
各200×250 cm
タイプCプリント
作家蔵
協力：SCAI THE BATHHOUSE

2-1 《NEW DIMENSION #260》
2-2 《NEW DIMENSION #278》

3
《Mt. Fuji》
2008年
各90×112 cm
タイプCプリント
作家蔵
協力：SCAI THE BATHHOUSE

3-1 《Mt. Fuji #38》
3-2 《Mt. Fuji #48》
3-3 《Mt. Fuji #80》
3-4 《Mt. Fuji #55》
3-5 《Mt. Fuji #54》
3-6 《Mt. Fuji #79》

4
《VERNACULAR》
2008年
各59×48 cm
タイプCプリント
作家蔵
協力：SCAI THE BATHHOUSE

4-1 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE #33》

4-2 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE # 2》

4-3 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE # 1》

4-4 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE #15》

4-5 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE # 9》

4-6 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE # 6》

4-7 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE #38》

4-8 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE #10》

4-9 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE # 3》

4-10 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE #12》

4-11 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE #13》

4-12 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE # 5》

4-13 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE # 7》

4-14 《VERNACULAR-Dordogne, FRANCE #24》

金田実生 | KANEDA Mio

1
《空とバラの32日 2000年 5月》
2000年
32×23×2 cm
素描(スケッチブック)
水溶性クレヨン、鉛筆/紙
作家蔵

2
《空とバラの31日 2001年 5月》
2001年
32×41 cm(13枚組)
素描
水溶性クレヨン、鉛筆、水彩/紙
作家蔵

3
《夜の動作》
2002年
155×165 cm
油彩/紙
作家蔵

4
《冬の呼吸》
2004年
155×174 cm
水溶性クレヨン、鉛筆/紙
群馬県立館林美術館

5
《夜が少しづつ降りる》
2005年
154×165 cm
油彩/紙
群馬県立館林美術館

6
《恵みを見上げる》
2005年
162×162 cm
油彩/カンヴァス
作家蔵

7
《人がなぞる形》
2008年
162×130.4 cm
油彩/カンヴァス
協力：GALLERY CAPTION

8
《インディアン・イエローは手についた
花粉の色》
2008年
153.5×134 cm
油彩、水溶性クレヨン、花粉/紙
作家蔵

9
《息で曇る》
2009年
155×169 cm
油彩/紙
作家蔵

10
《なつかしい匂い》
2009年
162×162 cm
油彩/カンヴァス
作家蔵

11
《近道と道草》
2009年
155×165 cm
油彩/紙
作家蔵

村井進吾 | MURAI Shingo

1
《半分の水 3》
2002年
80×55×240 cm
黒御影石、水
作家蔵

2
《半分の水 4》
2002年
80×55×240 cm
黒御影石、水
作家蔵

3
《SOLID AB-BA》
2002年
各70×70×70 cm(二点組)
黒御影石
作家蔵

4
《個体 1》
2003年
153×60×60 cm
黒御影石
作家蔵

[凡例]
作品番号
作品名
制作年
寸法
素材・技法
所蔵

シリーズは〈 〉で示した
*は参考作品

5 《個体 2》 2003年 153×60×60 cm 黒御影石 作家蔵	3 《地上の雲》 2008年 490×190×190 cm 割って折った廃材、楓とブナ科コナラ属の木によるフレーム 作家蔵	4-8《レインボー》 作家蔵 4-9《デラシネ》 個人蔵 4-10《大都会》 個人蔵 4-11《二十五時》 個人蔵 4-12《砂塵》 作家蔵 4-13《鴉》 作家蔵 4-14《赤と黒》 作家蔵	8-5《脂百合》 作家蔵 8-6《母不要》 個人蔵 8-7《湯女蓮》 個人蔵 8-8《不挿草》 作家蔵 8-9《花形冠と黒衣蜘蛛》 個人蔵 8-10《斜陽葵》 金正のどか氏蔵 8-11《恋消菖》 作家蔵
6 《個体0501》 2005年 80×55×55 cm 黒御影石 作家蔵	4 《砂漠の木》 2008年 180×180×450 cm 割って折った廃材、楓とブナ科コナラ属の木によるフレーム 作家蔵	5 《名も無き東京人のための花輪》 2005年 各85×50 cm アクリル、綿布、顔料、炭酸カルシウム、膠、木製パネル 個人蔵 協力：レオ・キャステリ・ギャラリー	9 四畳半みくじ 2008年 インスタレーション 作家蔵
7 《個体0502》 2005年 80×55×55 cm 黒御影石 作家蔵	* 《風の器》 2004年 割って折った廃材、楓の木によるフレーム 作家蔵	5-1《油袋色悪》 5-2《鶯谷聖娼》 5-3《新宿人狼》 5-4《砂町天使》 5-5《蒲田棄児》	10 《花輪其の五・君待つ宿》 1999/2009年 インクジェットプリント/布 制作協力：エブソン販売株式会社
8 《破辺体・2》 2007年 60.5×60.5×60.5 cm 黒御影石 作家蔵	齋藤芽生 SAITO Meo 1 百花一言絶句 1993-95年 各21×29.7 cm アクリル/紙 作家蔵	6 《晒野団地四畳半詣》 2006年 各40×40 cm アクリル/紙	10-1《彼誰茶屋》 10-2《荒波ホテル》 10-3《朝霧溪谷》 10-4《甚五郎宿》
9 《破辺体・6》 2007年 各50×50×50 cm(二点組) 黒御影石 作家蔵	2 《毒花図鑑》 1993年 各57.5×40.2 cm アクリル/紙 ギャラリー・アートアンリミテッド蔵	6-1《姥捨小町鉄の浮橋》 山下裕二氏蔵 6-2《晒野団地花御堂》 個人蔵 6-3《夜薫る女心の寝殿》 金正のどか氏蔵 6-4《母待号棟賽の神》 個人蔵 6-5《緋装束花嫁巡礼》 個人蔵 6-6《独寝の海の送り舟》 個人蔵 6-7《花咲翁の色褪せぬ神木》 個人蔵 6-8《暮れ泥む主婦の壇》 個人蔵 6-9《晒野団地金色堂》 個人蔵 6-10《愛され過ぎた狒犬の祠》 個人蔵 6-11《蒼白き虚無の盆棚》 個人蔵 6-12《闇を往く娘達の願》 個人蔵	津上みゆき TSUGAMI Miyuki 1 《View – “Cycle” 26 Feb.-10 Apr.05(Way)》 2005年 260×194 cm 顔料、膠、アクリル、鉛筆/パネルに綿布 財団法人大原美術館 2 《View – “Cycle” 26 Feb.-10 Apr.05(Ground)》 2005年 260×194 cm 顔料、膠、アクリル、鉛筆/パネルに綿布 財団法人大原美術館 3 《View – “Cycle” 26 Feb.-10 Apr.05(Water)》 2005年 260×194 cm 顔料、膠、アクリル、鉛筆/パネルに綿布 財団法人大原美術館 4 《View – “Cycle” 26 Feb.-10 Apr.05(Places)》 2005年 260×194 cm 顔料、膠、アクリル、鉛筆/パネルに綿布 財団法人大原美術館
10 《1002》 2007年 62.5×62.8×65 cm 黒御影石 作家蔵	2-1《カソクソウ(デッド・ダイビング・レーサー)》 2-2《サバキノ・カラバリーナ》 2-3《ザンゲーノ・フルーゴ・ザンシタ》 2-4《カミノオンチヲタマワリソウ》 2-5《ウットーリ・ハルシオネーラ》 2-6《チャンピオンズ・ブルー・ホビー》 2-7《ヒバナノヒトケシ》 2-8《監禁バラ》 2-9《デマワリ》 2-10《ナガカラーミン・マチワービン》 2-11《センジョーラ・ミノフォビーナ》 2-12《フタマタカキツバタ》 2-13《トリカエーゼラ》 2-14《イマワノキワヒトリシズカ》	7 《徒花園》 2008年 各60×33 cm アクリル/紙 軸装：高橋正子	7 《View – 24 seasons, 2005-08》 2005-2008年 各194×130.5 cm(24点一組) 顔料、膠、アクリル、その他/カンヴァス 作家蔵 協力：ギャラリー・ハシモト ※会期中展示替えあり 《No.01》～《No.12》：前期(3月4日～4月6日) 《No.13》～《No.24》：後期(4月8日～5月6日)
11 《Work-D1.黒体》 2007年 39.5×27×27 cm 黒御影石 作家蔵	3 《花輪其の六・名前の無い街》 1999年 各190×100 cm アクリル、綿布、顔料、炭酸カルシウム、膠、木製パネル	8 《徒花園図鑑》 2008年 各44×33 cm アクリル/紙	8 《View – lucent, Oct., 07-08》 2008年 112×145.5 cm 顔料、膠、アクリル、その他/カンヴァス 作家蔵 協力：ギャラリー・ハシモト
12 《黒体》 2008年 155×74×44 cm 黒御影石 作家蔵	3-1《跨線橋》 個人蔵 3-2《立体交差》 東京藝術大学所蔵 3-3《高層住宅》 作家蔵	8-1《其奥草》 個人蔵 8-2《間男蔓》 個人蔵 8-3《他不見草》 個人蔵 8-4《芥々塊》 個人蔵	
13 《黒体》 2009年 170×53×53 cm 黒御影石 作家蔵	4 《踊場酒場》 2003年 各45×45 cm アクリル/紙		
14 《破辺体》 2009年 169.5×52.5×52.5 cm 黒御影石 作家蔵	4-1《夕鶴》 個人蔵 4-2《狭き門》 作家蔵 4-3《嵐が丘》 個人蔵 4-4《女王蜂》 作家蔵 4-5《マナスル》 作家蔵 4-6《臙》 個人蔵 4-7《ハワイ》 個人蔵		
大平 實 OHIRA Minoru 1 《家》 2007年 180×180×125 cm 割って折った廃材、楓の木によるフレーム 作家蔵			
2 《サンタ・アナの風》 2007年 180×270×350 cm 割って折った廃材、楓の木によるフレーム 作家蔵			

7

《View – at 11:50 a.m., 15 Nov., 07》

2008年

194×259 cm

顔料、膠、アクリル、その他/カンヴァス

個人蔵

8

《View – at 11:15 a.m., 30 Mar., 06-09》

2009年

162.2×259 cm

顔料、膠、アクリル、その他/カンヴァス

作家蔵

協力：ギャラリー・ハシモト

評議員名簿 The NACT Council

新井光風	(社)日展理事、謙慎書道会理事長、書家
梅原幸雄	東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻教授、日本画家
奥谷禮子	(株)ザ・アール代表取締役社長
熊倉純子	東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科准教授
小林真理	東京大学大学院人文社会系研究科准教授
酒井忠康	世田谷美術館長
桜井 武	熊本市現代美術館長
澄川喜一	(社)日本美術家連盟理事、島根県芸術文化センター長、彫刻家
高階秀爾	大原美術館長、西洋美術振興財団理事長
高橋信也	森美術館ジェネラルマネージャー、森ビル株式会社取締役
塗師祥一郎	(社)日展常務理事、日洋会常任委員、洋画家
塙 義一	日産自動車株式会社名誉会長
馬淵明子	日本女子大学人間社会学部文化学科教授
山本 貞	(社)二紀会理事長、(社)日本美術家連盟常任理事、洋画家
横里幸一	(株)NHK プロモーション代表取締役社長
若林 覚	サントリー美術館顧問

平成21(2009)年3月末現在 16名

職員名簿 Staff

館長	林田英樹
副館長/学芸課長	福永 治

[庶務課]	[学芸課]
庶務課長/室長(管理)	企画室長(主任研究員) 南 雄介
係長(庶務)	主任研究員(企画) 長屋光枝
一般職員(庶務)	主任研究員(企画) 宮島綾子
事務補佐員	研究補佐員 長谷川珠緒
事務補佐員	研究補佐員 加藤 絢
係長(会計)	研究補佐員 柏木聖子
一般職員(会計)	研究補佐員 阿部真弓
事務補佐員	研究補佐員 小林明子
事務補佐員	研究補佐員 桧垣暁子
事務補佐員	事務補佐員 小島 佳
室長(運営)/係長(事業)	事務補佐員 滝沢麻衣
一般職員(事業)	事務補佐員 野々下美和
事務補佐員	事務補佐員 西野華子
事務補佐員	教育普及室長(主任研究員) 本橋弥生
事務補佐員	研究員(教育普及) 吉澤菜摘
	研究補佐員 鳥居 茜
	情報資料室長(主任研究員) 平井章一
	主任研究員(情報資料) 室屋泰三
	研究補佐員 白鳥真理子
	研究補佐員 橘川英規
	研究補佐員 宮田有香
	研究補佐員 力丸彩子
	研究補佐員 高橋麻衣子
	事務補佐員 奥村嘉子
	情報研究補佐員 尾形泰三
	客員研究員 小林光夫
	特任研究員 三木哲夫

平成21(2009)年3月末現在 44名

平成20年度 国立新美術館 活動報告

発行者：林田英樹
発行：国立新美術館
東京都港区六本木7-22-2
電話03-6812-9900

印刷：株式会社 太陽美術
発行日：平成21年 5 月20日 (非売品)

NACT REPORT
April 2008 - March 2009
The National Art Center, Tokyo

Publisher: HAYASHIDA Hideki
Published by: The National Art Center, Tokyo ©2009
7-22-2 Roppongi, Minato-ku, Tokyo, 106-8558, Japan
Printed by: Taiyou Bijutsu Co., Ltd.

新 国立新美術館
THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO